

**ブルキナファソ国  
中央プラトー地方給水施設管理・  
衛生改善プロジェクト**

**終了時評価調査  
報告書**

平成 25 年 8 月  
(2013 年)

独立行政法人 国際協力機構  
地球環境部

環境
JR
13-189



**ブルキナファソ国  
中央プラトー地方給水施設管理・  
衛生改善プロジェクト**

**終了時評価調査  
報告書**

平成 25 年 8 月  
(2013 年)

独立行政法人 国際協力機構  
地球環境部



# 目 次

目 次

略語表

評価調査結果要約表

<b>第1章 終了時評価調査の概要</b> .....	<b>1-1</b>
1-1 終了時評価調査の背景・目的.....	1-1
1-2 調査団構成.....	1-1
1-3 調査日程.....	1-2
1-4 調査のデザイン.....	1-2
1-5 データ収集.....	1-3
1-6 プロジェクトの概要.....	1-3
<b>第2章 プロジェクトの実績</b> .....	<b>2-1</b>
2-1 投入実績.....	2-1
2-2 成果の達成状況.....	2-1
2-2-1 成果0の達成状況.....	2-1
2-2-2 成果1の達成状況.....	2-2
2-2-3 成果2の達成状況.....	2-3
2-2-4 成果3の達成状況.....	2-5
2-2-5 成果4の達成状況.....	2-5
2-2-6 成果5の達成状況.....	2-8
2-3 プロジェクト目標の達成状況.....	2-9
2-4 上位目標の達成見込み.....	2-10
2-5 実施プロセス.....	2-12
2-5-1 活動の進捗状況.....	2-12
2-5-2 プロジェクトの実施過程で生じている問題.....	2-12
2-5-3 コミュニケーション・モニタリング.....	2-14
2-5-4 中間レビュー調査における提言への取り組み状況.....	2-14
<b>第3章 評価5項目による評価結果</b> .....	<b>3-1</b>
3-1 妥当性.....	3-1
3-2 有効性.....	3-1
3-3 効率性.....	3-2
3-4 インパクト.....	3-2
3-5 持続性.....	3-2
<b>第4章 結論</b> .....	<b>4-1</b>
<b>第5章 提言と教訓</b> .....	<b>5-1</b>

5-1 提言 .....	5-1
5-2 教訓 .....	5-2

**【添付資料】**

1. 調査日程
2. 主な面談者
3. PDM
4. 投入実績
5. 評価グリッド結果
6. セミナー・研修開催実績一覧
7. 合同評価報告書（仏語版）

## 略 語 表

ABS	セクター財政支援予算
AUE	水利用者組合
C/P	カウンターパート
CPE	水場委員会
DGAEUE	農業水利省 衛生・汚水・廃棄物総局
DGRE	農業水利省 水資源総局
DPAH	農業水利省 県支局
DRAH	農業水利省 地方支局
DRAH/PCL	農業水利省 中央プラトー地方局
FCFA	フラン・セーファ
GDP	国内総生産
JCC	合同調整委員会
JICA	(独) 国際協力機構
M/M	協議議事録
MAH	農業水利省
MDGs	ミレニアム開発目標
NGO	非政府組織
ODA	政府開発援助
PHAST	参加型衛生改善
PN-AEPA	飲料水・衛生供給国家計画
PRSP	貧困削減戦略ペーパー
R/D	討議議事録
SCADD	持続的な開発及び成長の加速化戦略文書
UAT	技術指導ユニット
ZAT	技術支援ゾーン

## 評価調査結果要約表

<b>1. 案件の概要</b>	
国名：ブルキナファソ国	案件名：中央プラトー地方給水施設管理・衛生改善プロジェクト
分野：水資源・防災	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：地球環境部	協力金額（2013年3月末現在）：計：483,057千円
協力期間： 2009年6月～2013年5月	先方関係機関：農業水利省水資源総局、同省衛生・污水・廃棄物総局、同省中央プラトー地方局
	日本側協力機関名：無し
<b>1-1 協力の背景と概要</b>	
<p>ブルキナファソ国（以下「ブ」国）政府は、2003年に貧困削減戦略ペーパー（PRSP）を承認し、2010年には新貧困削減戦略ペーパーである「持続的な開発及び成長の加速化戦略文書（SCADD）」を策定している。SCADDにおいて、水・衛生分野は4つの戦略的基軸の1つに位置づけられ、安全な水や衛生へのアクセス率改善を図るとしている。しかし、「ブ」国統計によると、2011年の都市部における給水率は80.0%であるのに対し、村落部では58.5%に留まっており、都市部と村落部に大きな格差が認められる。また、衛生分野に関しても、村落部では衛生施設へのアクセス率が僅か0.8%に留まっており、都市部の21.5%を大幅に下回っている（2010年の実態調査に基づく）。こうした状況の中、「ブ」国政府は、「2015年に向けた給水と衛生に関する国家プログラム」（PN-AEPA）を作成し、ミレニアム開発目標（MDGs）に従って、2005年時点で飲料水や衛生の供給を受けられない人々の割合を2015年までに半減させるという目標を設定した。</p> <p>PN-AEPA 実現に向け、「ブ」国政府は我が国に対し、それまで支援が実施されていなかった中央プラトー地方および南部中央地方を対象として、水供給施設建設にかかる無償資金協力「中央プラトー及び南部中央地方飲料水供給計画」を2005年に要請した。同計画は2009年より開始され2012年に無事完了しており、現在、第二次計画が開始されるところである。また、上記2地方において、住民による水供給施設の維持管理と衛生行動の改善を図るため、「ブ」国政府は本技術協力プロジェクトを2006年に要請した。同要請を受け、JICAは2007年7月に事前調査団を派遣し、R/D案について「ブ」国側と合意したが、本プロジェクトと連携が期待されていた上述の無償資金協力の枠組み修正等により2008年12月に再度事前調査を行い、対象地域を中央プラトー地方とした上で2009年3月30日にR/Dを署名し、同年6月よりプロジェクトが開始された。今回の終了時評価調査は、ブルキナファソ側と合同で、これまでのプロジェクト活動の達成度を把握するとともに、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の観点から総合的評価を行うこと、更には今後のプロジェクト活動及び給水管理システムに関わる提言を行うことを目的として実施した。</p>	
<b>1-2 協力内容</b>	
(1) 上位目標：中央プラトー地方における保健・衛生環境が改善される。	
(2) プロジェクト目標：対象コミュニティの給水施設維持管理状況及び住民の衛生行動が改善される。	
(3) 成果：	
成果1：対象コミュニティで維持管理システムの改革に則った組織体制が整う。	
成果2：村落組織の給水施設運営維持管理能力が強化される。	
成果3：給水施設運営維持管理に係るスペアパーツ供給及び修理体制が改善される。	
成果4：中央プラトー地方のパイロット3コミュニティにおける村落住民の衛生行動が改善される。	
成果5：各県のDPAHが給水衛生状況のモニタリング・評価を実施し、コミュニティに対し支援が行えるようになる。	
<b>1-3 投入（2012年8月まで）</b>	
日本側：	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 専門家：12名の日本側専門家（総括、組織能力強化、村落給水、衛生改善計画・教育、給水施設運営維持管理、研修監理、業務調整の各分野）が派遣された。</li> <li>◆ 本邦研修：9名の研修員が本邦研修に参加した。</li> <li>◆ 資機材供与：バイク、無停電電源装置、パソコン、プリンター、コピー機、プロジェクターなどの資機材が供与された。</li> </ul>	

- ◆ ローカルコスト：2012年12月末時点までにローカルコストとして164,151,195円が支出された。ブルキナファソ側：
  - ◆ C/Pの配置：中央・地方で計70名が本プロジェクトのカウンターパートとして配置されている。
  - ◆ 施設の提供：ワガドグ及びジニアレの農業水利省内に事務所スペースが確保され、備品が提供されている。
  - ◆ ローカルコスト：2012年12月末時点までにローカルコスト（C/P手当、機材管理費、消耗品費）として69,228,609 FCFA（約1,291万円）が支出された。また、上記事務所の光熱費・水道代を負担している。

## 2. 終了時評価調査団の概要

調査者	<JICA>		
	総括	今井 達也	JICA 地球環境部水資源第二課課長
	協力企画	影山 正	JICA 地球環境部水資源第二課
	評価分析	久保 英之	グローバルリンクマネジメント株式会社
	通訳	森田 俊之	日本国際協力センター
	<ブルキナファソ側>		
		Mr. Trinita Zongo	農業水利省 調査計画局
		Mr. Mr. Oubda Jean	農業水利省 水資源総局 給水部
調査期間	2013年1月24日～2013年2月14日 (現地調査期間)	評価種類：終了時評価	

## 3. 評価結果の概要

### 3-1 実績の確認

#### 成果1：

成果1は達成されている。対象9コミュニティにおけるAUEの形成、コミュニティ・AUE間での協定締結、コミュニティ・修理業者間での委託契約締結、及び、追加11コミュニティにおけるAUE形成がほぼ完了していることから、維持管理システムの改革に則った組織体制は既に整ったと判断できる。

#### 成果2：

水利用者組合（AUE）の給水施設運営維持管理能力は、会議開催、資金管理、ポンプの故障修理対応が出来るようになるなど着実に強化されているが、資金の徴収体制が十分には整っていないため（各AUEは一年間に住民から徴収する水料金の総額（最低水料金）を設定しているが、2011年～2012年の二年間で、最低水料金の7割を収集したAUEの数はパイロット3コミュニティで18%、パイロットコミュニティを除く対象6コミュニティで6%となっている）、成果2が達成されたという段階には到達していない。

#### 成果3：

成果3はおおむね達成されている。全コミュニティがスペアパーツの交換に必要な情報を所有しており、修理業者による保守点検及び軽微な修理は期待された水準以上で実施されている（但し、水・衛生分野の担当者が配置されているコミュニティ行政は限られており、所有情報がAUEによって有効活用される体制が整うまでには至っていない）。また、中央プラトー地方の3県では修理工組合が組織されており、修理業者間でのスペアパーツ供給に関する情報共有も進められている。従って、スペアパーツの供給及びポンプの修理体制は改善されつつあると判断できる。

#### 成果4：

成果4は達成されている。パイロット3コミュニティにおいて、10項目の衛生行動のうち6項目以上が改善された村落の数は全体の72%にのぼることから、村落住民の衛生行動は改善されていると判断できる。

#### 成果5：

成果5に関し、DPAHが担うモニタリング・評価活動については、8割以上のスタッフが年2回以上モニタリング活動を実施しており（2012年）、成果は達成されたと判断できる。また、後半の「コミュニティに対し支援が行えるようになる」については、記述に具体性がなく、関連指標もないことから、本終了時評価調査においては判断することができない。

#### プロジェクト目標：

プロジェクト目標は達成されている。対象 9 コミューンにおける給水施設の稼働率は Loumbila コミューンを除き改善しており、住民の衛生行動についても成果 4 で述べた通り改善している（Loumbila コミューンでは、井戸に代わり、ダム湖の水を利用した給水設備が普及しつつある）。このため、基本的には本終了時評価調査時点においてプロジェクト目標は既に達成されていると判断できる。

#### 上位目標：

本終了時評価調査実施時点において、プロジェクト目標達成の効果として上位目標が達成される可能性は一定程度見込まれる。農業水利省の中央プラトー地方局では、既に 2013 年のプロジェクト C/P 予算として 5600 万 CFAF を確保していることから、プロジェクト終了後も当面は普及員が AUE 支援を継続する見込みはある。2014 年以降については、現時点で未定であるが、既に中央プラトー地方局長は農業水利省に対して予算申請依頼を行っており、セクター財政支援予算（ABS）から資金配分がなされる可能性はある。このため、プロジェクト終了後も、AUE の活動を通じて深井戸ポンプが常時稼働し、中央プラトー地方 20 コミューンにおいて住民が安全な水にアクセスできる可能性は一定程度見込まれる。

### 3-2 実施のプロセス

#### (1) 活動の進捗状況

計画されたプロジェクト活動は全般的に計画通り進められており、特段の問題は見られない。

#### (2) プロジェクトの実施過程で生じている問題

##### ➤ AUE における水料金徴収について

成果 2 のところで、AUE における水料金徴収が課題となっていることを指摘したが、本終了時評価調査中にインタビューを行った 12 の AUE のうち、2012 年に全員が支払った AUE は 1 組合、未払い住民が 5-10%であった AUE は 6 組合、全員が未払いだった AUE は 5 組合であった。一部住民が未払いだった 6 組合については、給水施設維持管理制度改革（リフォーム）の意義を理解していないことが未払いの最大要因であり、普及員を通じてリフォームの意義を周知することが極めて重要であるという指摘が当該 AUE 役員よりなされた。

##### ➤ 劣化度の高い給水ポンプについて

AUE における年間必要徴収金額は、現在、給水ポンプ一基あたり 10 万 CFAF を基準として計算されている。この金額は日常の小規模な故障に際しては対応可能であるが、対象地域には既に設置後数十年が経過し、劣化が進んでいる給水ポンプも多く、このようなポンプが大規模な故障をした際には AUE が修繕費用を全額負担することはできない。

#### (3) コミュニケーション及びマネージメント

プロジェクト関係者間のコミュニケーションは良好である。プロジェクトの進捗に関する情報は関係者間で共有され、状況認識にも基本的に差異がない。モニタリングについては、中央レベルにおいてプロジェクト合同調整委員会がこれまでに五回開催され、活動報告及び計画・予算が協議されている。また、地方レベルでは、農業水利省中央プラトー地方局（DRAH）が招集する月例会において、プロジェクト対象地 3 県の水担当者がプロジェクト活動の進捗報告を行うと同時に、日本人専門家がマネージメント等に関わる諸事項を報告している。

### 3-3 評価結果の要約

#### (1) 妥当性

本プロジェクトは、「ブ」国の開発政策及び日本の対「ブ」国援助方針との整合性、安全な飲料水及び衛生設備へのアクセスという国内ニーズとの合致、さらにはプロジェクトのデザインの適切さという観点から見て、妥当性は高い。

「ブ」国政府は給水施設維持管理制度改革（リフォーム）政策を推進しているが、本プロジェクトは、実質的に中央プラトー地方においてリフォームを実施する事業であり、その結果として飲料水供給率を向上させ、かつ住民の衛生行動を改善することを目指していることから、「ブ」国の開発政策及び国内ニーズに直接貢献するものである。また、プロジェクト開始時点において、水・衛生分野は日本の対ブルキナファソ国援助重点分野の一つであった（但し、本終了時評価調査時点において、水・衛生分野はブルキナファソ国における重点分野から外れている）。

本プロジェクトのデザインは、1) AUE の能力強化、AUE・コミュニティ行政・修理業者間の連携を通じて給水ポンプの修理体制を整える、2) 住民の衛生行動を改善する、という二本柱に加え、3) これらの活動推進のため農業水利省の現場事務所が AUE 及びコミュニティ行政を支援する、という構成になっている。リフォームは、設置されて間もないコミュニティ行政に給水施設の維持管理権を移譲するものであるから、既存の普及体制（農業水利省の現場普及員）を利用して施設維持管理の体制整備及び AUE・コミュニティ行政の能力強化を図るというデザインは適切である。

#### (2) 有効性

プロジェクト目標の達成見込みという観点から見て、有効性は高い。

AUE を主体とした給水ポンプの維持管理体制は、対象 9 コミュニティにおいて機能しており、リフォーム導入前と比較して給水稼働率は向上している。また、パイロット 3 コミュニティにおける住民の衛生行動も着実に改善している。さらには、追加 11 コミュニティにおいても AUE の形成は成功裏に完了している。このように、本終了時評価調査時点において、プロジェクト活動の実施及び成果の達成を通じてプロジェクト目標は既に達成されている。

#### (3) 効率性

投入の実施状況及び活用という観点から見て、効率性はやや高い。

基本的に投入は計画通り実施され、AUE の形成、ポンプ修理工を中心とした修理体制の整備、住民の衛生行動改善、DPAH によるモニタリング・評価活動に関わる成果は達成されている。また、対象 9 コミュニティにおける AUE の能力強化も一定程度達成されている。水料金徴収については未だ十分な状況にはないが、金銭に絡む行動変容は、より長い時間軸で捉えるのが適切と考えられる。

#### (4) インパクト

上位目標の達成見込み及び波及効果という観点から見て、インパクトはやや高い。

本終了時評価調査時点において、AUE は機能し、給水ポンプの稼働率は向上しているが、2015 年の時点で深井戸にアクセスできる住民の割合及び給水ポンプの稼働率が中央プラトー州レベルで改善するためには、プロジェクト終了後も普及員による AUE 支援が継続されることが不可欠である。現在、2013 年のリフォーム実施予算はプロジェクトの C/P 予算として一部確保されているが、2014 年以降については、中央プラトー地方局によってセクター財政援助予算への申請が行われているものの、予算確保については未定である。

また、波及効果として、本プロジェクトで作成した衛生啓発・教育教材が衛生・汚水・廃棄物総局の意向によって全国的に普及していくことが計画されている。また、水資源総局においても、本プロジェクトが現在作成しているマニュアルを改訂する形でリフォーム推進に関わる全国版のマニュアルを策定し、全国に普及していく意向を持っている。なお、負のインパクトは特に観察されていない。

#### (5) 持続性

協力終了後におけるプロジェクト効果の発現維持という観点から見て、持続性は中庸である。

政策面に関し、「ブ」国政府が進めているリフォームは、今後も村落の給水セクターにおける主要政策として推進され続けるものと推察される。

技術面に関し、給水ポンプの修理自体は既に長年にわたって地域の修理工が担ってきており、本プロジェクトを通じて実施された諸研修による技術力改善を含め、特段の課題は見られない。

組織・財政面について、AUE の能力強化は進んではいるがまだ十分ではなく、またコミュニティ行政による AUE の支援体制も整備されていない。AUE の組織的持続性は、リフォームに対する理解が住民の間で共有されることで成立するが、対象 9 コミュニティではリフォーム導入後まだ二年しか経過していないため、大半の AUE ではリフォームを理解しない住民が一定数存在する。彼らは、水料金を支払わずに水を利用することから、他の住民の支払い意欲を減退させる。このため、全住民がリフォームに対する理解を共有する段階に達するまでは、普及員による AUE 支援の継続が欠かせない。

### 3-4 結論

本プロジェクトの実施を通じて、中央プラトー地方の全 20 コミュニティにおいて AUE が形成され、このうちの対象 9 コミュニティにおいてコミュニティ行政と AUE、コミュニティ行政と修理業者間で給水施設の維持管理及び修理に関する契約が締結された。また、給水施設の維持管理及び修理に関する AUE 及び修理

業者の能力が強化された。但し、AUE の能力は期待された水準に達している訳ではなく、支払い能力のあるすべての住民がリフォームの意義を理解し、AUE が水料金を適切に徴収できるよう引き続き能力強化が必要である。また、対象コミュニティのうちのパイロット3コミュニティでは、住民の衛生行動が改善された。モニタリングに関しては、農業水利省の普及員による AUE 訪問を通じた情報収集・助言などの活動が実施されるようになった。

評価5項目については、妥当性・有効性が高く、効率性・インパクトはやや高いと判断した。持続性については、AUE の能力強化のため引き続き普及員による支援が必要であるものの、本調査時点では普及員支援に関する2014年以降の予算措置が不透明であり、コミュニティ行政による AUE 支援体制も整備されていないことから、中庸であると判断した。

### 3-5 提言

評価結果を踏まえ、本終了時評価調査団はプロジェクト関係者に対して以下の提言を行った。

#### (1) プロジェクト成果の共有

本プロジェクトでは、AUE 形成や衛生行動改善の方法論など、リフォーム実施プロセスにおいて必要となる有用な知見を生み出している。そして、これらの知見をマニュアルとして取り纏めるべく、既に作業が進められている。プロジェクト関係者は、これらの知見が各地方におけるリフォーム実施主体と共有され、有効活用されるよう、プロジェクト成果及びマニュアル作成に関する情報を関係機関に対して伝達していくことが期待される。また、今後のリフォーム実施の中で現れる課題に対する解決方法についても、Lessons Learned の形でマニュアルに取り込まれていくことが期待される。

#### (2) 2014年以降の予算確保に向けた働きかけ

上述した通り、AUE が組織的持続性を確保するためには、全住民がリフォームの意義を共有し、支払い能力を持つ全住民による水料金支払いが習慣化するまで、普及員（ZAT/UAT など）による村落訪問を通じた啓蒙活動が必要である。プロジェクト終了後、2013年については既に ZAT/UAT の活動支援予算が確保されているが、2014年度以降の予算確保については今後の課題となっている。水資源総局をはじめとする農業水利省関係部局は、2014年度以降についても中央プラトー地方におけるリフォーム予算が確保されるよう関係諸機関に対して働きかけを行うことが期待される。

#### (3) 衛生啓発を担う住民アニメーターへのインセンティブ

パイロット3コミュニティの各村落では、既に住民の衛生行動が変容しているが、新しい衛生行動が習慣として定着するためには、育成された住民アニメーターがプロジェクト終了後も活動を続けることが望ましい。このため、農業水利省、国民教育・識字化省、保健省などの関係省庁は、コミュニティ行政と連携して、例えば衛生コンクールの開催など、住民アニメーターの意欲を維持する活動を支援することが望ましい。

#### (4) 衛生啓発活動の拡大

プロジェクトで作成された衛生啓発マニュアルは、今後、全国普及版として改訂される予定であるが、今後は同マニュアルの活用を通じて、他コミュニティや他州において衛生啓発活動が実施されることを期待する。また、学校レベルでの衛生活動については、国民教育・識字省と連携しつつ、学校運営委員会を活用した衛生啓発活動の実施が期待される。

#### (5) コミュニティの強化

コミュニティ行政に関しては、一部でドナー/NGO の資金支援によって水・衛生課が設置されているものの、コミュニティ予算による水・衛生分野での人材配置及び活動実施はまだ行われていない。リフォームは、本来、コミュニティに対して給水施設維持管理権を移譲するものであるため、今後は、関係各機関がコミュニティにおける水・衛生分野の担当課設置・人材配置・予算配分・活動計画/実施に向けた支援を行うことが望まれる。その際、中央政府から派遣されているフォーカルポイントなど、既存の有為な人材を活かすことが期待される。

### 3-6 教訓

本プロジェクトの経験を通じ、類似の他案件にも適用し得ると考えられる教訓は以下のとおりである。

#### (1) 人々の習慣及び行動の変容を必要とするプロジェクトは成果産出までに時間を要する

本プロジェクトは、形式的には、水管理組合を形成して組合による給水施設の維持管理を推進するもの

であるが、住民の立場から見ると、「井戸水はタダで、近所の人々で利用するもの」という習慣の中で生活してきた彼らに対して、「井戸水は有料で、村落全体で管理するもの」という新たな認識・行動様式を求めるものであると捉えることが出来る。このような人々の行動変容を必要とするプロジェクトは、人々が新しいメカニズムの意義を理解し、かつ日常の習慣として定着することで持続性を確保することが出来ると考えられるが、これには時間がかかる。

本終了時評価調査では、AUE による水料金の徴収が十分に出来ていないため、成果 2 については達成されたという段階には達していない、と判断された。しかし、対象 9 コミュニンの AUE が、水料金の徴収を含め、実質的に給水施設管理活動を開始したのは 2011 年からであり、水料金の徴収という金銭に絡む行動様式を二年という期間（すなわち、水料金の徴収二回）で変容させるのは容易なことではない。従って、このような人々の習慣や行動の変容を前提とする成果は、行動変容を前提としない成果よりも長い時間軸で成果産出を捉えるべきである。

## (2) 本邦研修の多面的な意義

農業水利省幹部による本邦研修の成果については、C/P 及び専門家の双方から大変に高い評価が与えられた。これは、本邦研修中、日本人専門家が C/P と共に行動し、プロジェクトの意義や内容について意見交換を行い、高い水準で共有出来たことによるが、その結果、両者間の意思疎通は格段に高まり、プロジェクト運営が大変にスムーズになった。ブルキナファソ国内でも同様な意見交換は行われていたが、本邦研修中によるコミュニケーションという状況設定が効果をもたらしたものと思われる。

## Summary of Terminal Evaluation

<b>1. Outline of the Project</b>	
<b>Country</b> : Burkina Faso	<b>Project Title</b> : Project for the management of water supply facilities and the improvement of hygiene in Central Plateau.
<b>Issue/Sector</b> : Water Resources and Disaster Management	<b>Cooperation Scheme</b> : Technical Cooperation
<b>Division in Charge</b> : Global Environment Department	<b>Total cost</b> (up to the end of March 2013) : 483,057,000 yen
<b>Period of Cooperation</b> : June 2009 – May 2013	<b>Partner Country's Implementing Organization</b> : Ministry of Agriculture and Hydrology
	<b>Supporting Organization in Japan</b> : None
<p><b>1-1 Background of the Project</b></p> <p>The government of Burkina Faso drafted Poverty Reduction Strategy Paper (PRSP) in 2003 and Strategy Paper for Accelerating Sustainable Development and Growth (SCADD) in 2010. The water and hygiene sector was identified as one of four strategic sectors in the country. According to the national statistics, water supply rate is 58.5% in rural area while 80.0% in urban area, and the access to hygiene system is only 0.8% in rural area while 21.5% in urban area. The government developed National Program on Water Supply and Hygiene towards 2015 (PN-AEPA) and set the target that the number of people who do not have access to clean water and hygiene should be halved by 2015 compared to the figure in 2005.</p> <p>The government of Burkina Faso requested the government of Japan the grant aid of “Water Supply Plan in Central Plateau and Central-South regions” in 2005 in order to realize the target of PN-AEPA. This project started in 2009 and ended in 2012 and is currently shifting to the second phase. At the same time, the government of Burkina Faso requested this technical cooperation project for the management of water supply facilities and the improvement of hygiene in 2006. JICA dispatched a project preparation mission in 2007 and agreed with the government of Burkina Faso on the draft R/D. However, as the scope of the grant aid was modified, JICA dispatched the second mission in 2008 and signed on R/D in 2009 in which the target area was identified as in Central Plateau region. The project started in June 2009.</p> <p><b>1-2 Project Overview</b></p> <p>(1) Overall Goal: Health and hygiene environment is improved in the Central Plateau region.</p> <p>(2) Project Purpose: Management of water supply facilities and hygiene behavior of local people in the target communes are improved.</p> <p>(3) Outputs:</p> <p>Output 1: Organizational set-up is realized following the REFORM policy in the target communes.</p> <p>Output 2: Capacity of local organizations on the management of water supply facilities is strengthened.</p> <p>Output 3: Supply chain of spare parts and response for repairing on the management of water supply facilities are improved.</p> <p>Output 4: Hygiene behavior of local people is improved in the pilot three communes in the Central Plateau region.</p> <p>Output 5: Provincial DPAHs implement monitoring and evaluation on the status of water supply and hygiene and become able to provide assistance to commune administration.</p> <p><b>1-3 Inputs (As of August 2012)</b></p> <p>&lt; Japan side &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Experts: Totally 12 experts have been dispatched (their field of expertise include organizational capacity building, rural water, hygiene behavior and management of water supply facilities)</li> <li>◆ Training of C/P in Japan: Totally 9 C/P have participated in training courses in Japan.</li> <li>◆ Provision of equipment: Various equipment is provided including motorbike, computer, printer, photocopy machine and others.</li> <li>◆ Operational costs: JYen 164,151,195 was contributed as of the end of 2012.</li> </ul> <p>&lt; Burkina Faso side &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Assignment of C/P: Totally 70 C/P have been assigned.</li> <li>◆ Provision of office and facilities: Project offices have been provided both in Ougadougou and Ziniare.</li> <li>◆ Budgetary allocation: As of the end of 2012, 69,228,609 FCFA was contributed for C/P honorarium, maintenance of facilities and equipment and consumer goods. In addition, around 10,000,000 FCFA was contributed to cover water and electricity costs of the project offices.</li> </ul>	

<b>2. Evaluation Team</b>		
<b>Members of Evaluation Team</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. IMAI Tatsuya (Mission Chief), Directeur, 2nde Division de la gestion des ressources en eau, Département de l'environnement global, JICA</li> <li>2. KAGEYAMA Tadashi (Cooperation Planning), 2nde Division de la gestion des ressources en eau, Département de l'environnement global, JICA</li> <li>3. KUBO Hideyuki (Evaluation Analysis) Consultant, Global Link Management</li> <li>4. MORITA Toshiyuki (Interpreter), Japan International Cooperation Center</li> <li>5. M. ZONGO Trinita, Direction des Etudes et de la Planification (DEP), Ministry of Agriculture and Hydrology (MAH)</li> <li>6. M. OUBDA Jean, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable (DAEP), Direction Générale des Ressources en Eau (DGRE), MAH</li> </ol>	
<b>Period of Evaluation</b>	24 January – 14 February 2013 (in Burkina Faso)	<b>Type of Evaluation:</b> Terminal Evaluation
<b>3. Results of Evaluation</b>		
<b>3-1 Summary of Project Accomplishment</b>		
<p><b>Output 1:</b> Output 1 is achieved. In the target 9 communes, AUEs were formed, the agreements between commune administrations and AUEs were signed and contracts between commune administrations and repairing professionals were made. In addition, the formation of AUEs is almost completed in the additional 11 communes.</p> <p><b>Output 2:</b> Output 2 does not reach at the level of its achievement. Capacity of AUEs is steadily strengthened as they can now hold assemblies, have bank accounts, handle financial management and deal with pump accident promptly. However, the collection of water fees from AUE members is not achieved at the satisfactory level (the rate of AUEs which collected more than 70% of targeted amount is 18% for pilot 3 communes and 6% for another target 6 communes during 2011-2012 period).</p> <p><b>Output 3:</b> Output 3 is almost achieved. All 20 communes hold information about the procurement of spare parts (although commune administration faces shortage of staff so that information is not effectively utilized by AUEs) and responses of repairing professionals in case of pump troubles are recorded as more than expected. In addition, professional associations function at three provinces in the Central Plateau region and professionals now share information on spare parts.</p> <p><b>Output 4:</b> Output 4 is achieved. Within the pilot 3 communes, 72% of villages satisfied the target of changing hygiene behaviors (i.e. more than 5 indicators are satisfied among 10 indicators that were identified by the project at the early stage of its implementation).</p> <p><b>Output 5:</b> Output 5 is achieved in terms of DPAH monitoring. More than 80% of staff conducted monitoring activities at least twice a year in 2012.</p> <p><b>Project Purpose:</b> Project Purpose is already achieved. The operation rates of pumps in target 9 communes are increased in 2012 (compared with 2009) except in Loumbila commune where the water pump system are being replaced with the large-scale water supply system in recent years and hygiene behavior of local people is also improved at the satisfactory level as indicated in Output 4.</p> <p><b>Overall Goal:</b> The achievement of Overall Goal is projected to the certain degree at the time of the terminal evaluation. DRAP has already secured C/P budget for the year of 2013 so that ZAT/UAT can continue their support to AUEs, which enables continuous access to clean water by local people. However, after 2014, the budget is not confirmed although the head of DRAP already sent a request letter to the Ministry for the provision of ABS budget in 2014.</p>		
<b>3-2 Implementation Process</b>		
(1) Activities		
All activities have been implemented without any serious difficulties.		

(2) Issues that arose during the process

➤ On the water fee collection

In many of AUEs, there are a certain number of local people who do not pay water fee. This is because not all the villages understand the importance and effectiveness of the new water supply management system, as it has past only 2 years since the introduction of new policy. It is therefore required to continue information dissemination and consensus building for overcoming the issue.

➤ Renovation and replacement of old pumps

Water fee collection is basically designed to deal with small scale troubles of pumps. Amount of collected fees is therefore not sufficient to cover the cost for thorough renovation and replacement of old pumps if they are seriously damaged.

(3) Communication

Communication among concerned project actors is very well. They share the perception on the status and issues of the project and information gap is minimal. Formal monitoring system of the project functions pertinently, including the JCC and monthly meetings held at DRAH.

### 3-3 Five Criteria Evaluation

(1) Relevance

Relevance is high. The project is in line with the development policy of Burkina Faso as it is the project to materialize the REFORM policy in the Central Plateau region. It is expected to improve the access to clean water and hygiene behavior of local people, which is able to satisfy the needs of population. Project design is also pertinent in a sense that it envisages the formation and capacity building of AUEs and operationalization of the AUE system by linking them with commune administration and repairing professional. And the facilitation of such process was assigned to existing extension officers of ZAT/UAT.

(2) Effectiveness

Effectiveness is also high as it has already satisfied the project purpose. Compared with the performance of pump operation prior to the commencement of the project, the obvious improvement is observed in all the communes where pumps are the main tool for water supply.

(3) Efficiency

Efficiency is relatively high. Inputs are used as mostly planned and produced outputs, including AUE formation and their capacity building, development of pump repairing network, improvement of hygiene behavior and DPAH monitoring. On the other hand, the capacity of AUEs is not sufficiently strengthened as it does not collect water fees from villager at the satisfactory level. Behavioral change of people basically requires certain time and it is important to envision mid- and long-term process.

(4) Impact

Impact is relatively high. The projection for the achievement of overall goal is to certain degree expected as the DRAH already secured budget for REFORM operation in 2013 as a C/P budget and also requested the provision of ABS fund for 2014 (although it is not secured yet).

Ministry of Agriculture and Hydrology confirmed that they plan to use materials developed by the project (both for AUE process and hygiene behavior) at the national level in the coming future.

(5) Sustainability

Sustainability is moderate considering the continuance of project effects. At the policy level, the government will continue to operationalize REFORM policy at the national level. At the technical level, repairing professionals are managing repairing requests from villages already at the satisfactory level, which indicates that they have sufficient technical capacity to address problems. At the organizational level, it is still at the mid-stage of AUE capacity building even in pilot 3 communes. Without the presence of extension officers, many AUEs will face difficulties to handle the work of water fee collection. The budget for the support of extension officers is partly secured in 2013 but it is still unsure in 2014.

### 3-4 Conclusion

Through the project implementation, the REFORM policy has been successfully materialized in the Central Plateau region. AUEs are formed in all 20 communes and the mechanism of managing water supply facilities is elaborated in the 9 target communes. One challenge that remains to be further addressed is on the issue of water fee

collection. Since the concept of REFORM policy is new, people are not yet accustomed to the idea of “water fee payment.” Thus it still requires time and further actions for awareness raising in order to maintain the project outputs and outcomes sustainable.

### **3-5 Recommendations**

#### **(1) Sharing project outputs and outcomes**

The project has generated the knowledge of good practices on the AUE formation and management and the improvement of hygiene behaviors. The idea of using such knowledge in the course of the policy implementation of the REFORM at the national level is proposed by C/Ps. All the concerned actors are requested to support such a process.

#### **(2) Securing budget in 2014 and after**

Awareness raising is still required to make the project outputs and outcomes sustainably function and the work by extension officers is indispensable for that purpose. In 2013, the C/P budget is already confirmed for the support of the extension officers but the budget in 2014 and after is unsure. Concerned government offices are requested to support the process of budget endorsement for 2014.

#### **(3) Incentives for local animators**

Hygiene behaviors are already transformed among villages in three pilot communes but it is better if local animators could function even after the project termination so that the likeliness of sustainability is enhanced. Commune administrations, in collaboration with concerned Ministries, are requested to support activities of animators through organizing events such as hygiene contests.

#### **(4) Expansion of awareness raising activities on hygiene behaviors**

Hygiene manuals produced by the project will be modified and used at the national level. Concerned organizations are expected to use these manuals, including by those who conduct hygiene activities through school management committees.

#### **(5) Capacity building of commune administration**

Except some communes where donors/NGOs support the set-up of water/hygiene division, no commune has ever established water/hygiene division with their own resources. Since the REFORM policy originally envisions the transfer of ownership and management rights of water supply system to the commune administration, it is expected that continuous support is provided for the development of commune’s management capacity in the water/hygiene sector.

### **3-6 Lessons Learned**

#### **(1) Behavioral change as time consuming process**

The REFORM policy is to transform the perception of local people on water, which used to be free of charge but it becomes a commodity with financial cost, and also on hygiene. Such a process that involves perceptual and behavioral changes of people basically requires certain time until target groups could understand and accommodate new perception and behaviors. Hence, it is important to envision mid- and long-term processes when the project is designed.

#### **(2) Effective use of training of senior officials in Japan**

When senior officials of Ministry participated in the training in Japan, JICA experts accompanies them and exchanged ideas about the project during their stay in Japan. Both sides strongly confirmed that the exchange in Japan really made difference in their mutual understanding and communication. It indicates that the training in Japan provides a good opportunity of building relationship if it is pertinently organized.



# 第1章 終了時評価調査の概要

## 1-1 終了時評価調査の背景・目的

ブルキナファソ国（以下「ブ」国）政府は、2003年6月に貧困削減戦略ペーパー（PRSP）を承認し、2010年12月には新貧困削減戦略ペーパーである「持続的な開発及び成長の加速化戦略文書（SCADD）」を策定した。SCADDにおいて、水・衛生分野は4つの戦略的基軸の1つ「社会サービスの整備を通じた人材育成による収入増」の中に位置づけられ、安全な水及び衛生へのアクセス率改善を図るとしている。しかし、「ブ」国統計によると、2011年の都市部における給水率は80%であるのに対し、村落部では58.5%に留まっており、都市部と村落部に大きな格差が認められる。また、衛生分野に関しても、村落部では衛生施設へのアクセス率が僅か0.8%に留まっており、都市部の21.5%を大幅に下回っている（2010年の実態調査に基づく）。一方、「ブ」国政府は、2000年に「村落・準都市部の飲料水供給施設の管理制度改革枠組文書」を採択し、中央政府が主導してきた給水施設の建設及び維持管理の権限をコミューン行政へ移譲する給水施設維持管理制度改革（リフォーム）を開始した。また、2006年には「2015年に向けた給水と衛生に関する国家プログラム」（PN-AEPA）を作成し、ミレニアム開発目標（MDGs）に従って、2005年時点で飲料水や衛生の供給を受けられない人々の割合を2015年までに半減させるという目標を設定した。

PN-AEPA 実現に向け、「ブ」国政府は我が国に対し、それまで支援が実施されていなかった中央プラトー地方および南部中央地方を対象として、水供給施設建設にかかる無償資金協力「中央プラトー及び南部中央地方飲料水供給計画」を2005年に要請した。同計画は2009年より開始され2012年に無事完了しており、現在、第二次計画が開始されるところである。

また、給水施設の維持管理上の課題である水利用者の組織化、料金徴収の実施、適切な施設運営を目的として、上記2地方において水利用者による維持管理システムの定着と衛生行動の改善を図るため、「ブ」国政府は本技術協力プロジェクトを2006年に要請した。同要請を受け、JICAは2007年7月に事前調査団を派遣し、R/D案について「ブ」国側と合意したが、本プロジェクトと連携が期待されていた上述の無償資金協力の枠組み修正等により2008年12月に再度事前調査を行い、対象地域を中央プラトー地方とした上で2009年3月30日にR/Dを署名し、同年6月よりプロジェクトが開始された。2012年8月からは第4年次（最終年次）の専門家派遣を開始している。

今回の終了時評価調査は、2013年5月のプロジェクト終了を前に、ブルキナファソ側と合同で、これまでのプロジェクト活動の達成度を把握するとともに、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の観点から総合的評価を行うこと、今後のプロジェクト活動及び給水管理システムの更なる改善に関わる提言を行うことを目的として実施した。

## 1-2 調査団構成

### (1) 日本側

総括	今井達也	JICA 地球環境部水資源第二課課長
協力企画	影山正	JICA 地球環境部水資源第二課
評価分析	久保英之	グローバルリンクマネジメント株式会社
通訳	森田俊之	日本国際協力センター

(2) ブルキナファソ側

Mr. Zongo Trinita	農業水利省 調査計画局
Mr. Oubda Jean	農業水利省 水資源総局 給水部

1-3 調査日程

日本側終了時評価調査団の現地調査は 2013 年 1 月 24 日から 2 月 14 日までの 22 日間である (添付資料 1 参照)。

1-4 調査のデザイン

本終了時評価調査は、新 JICA 事業評価ガイドライン第 1 版に基づき、PDM の枠組み (添付資料 3 を参照) に基づいて設計した。具体的な調査デザインの骨子は次の通りである。

- 実績及び実施プロセスを検証した上で 5 項目評価を行い、これらの分析結果より提言・教訓を導出する。
- 実績については、投入実績及び成果・プロジェクト目標の達成度合い、上位目標の達成見込みについて確認する。
- 実施プロセスについては、投入の実施状況、プロジェクト運営に際して生じているマネジメント上の課題について確認する。
- プロジェクト目標の達成に係る貢献要因、阻害要因を抽出する。
- 評価 5 項目については、以下の定義を採用する。

妥当性:

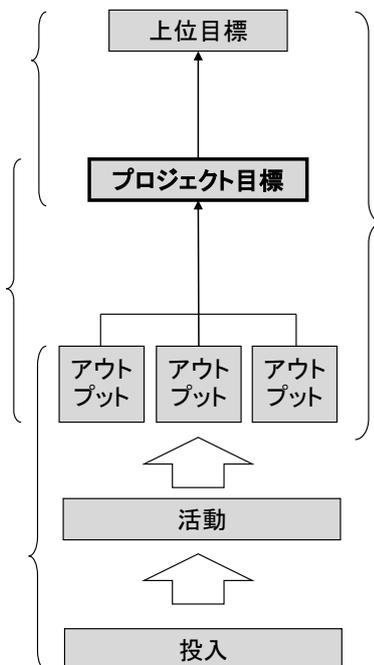
プロジェクトの目指す効果(プロジェクト目標と上位目標)が相手国・日本の政策と整合性を持っているか、受益者のニーズに合致しているか、プロジェクトのデザインは効果発現の手段として適切か、という観点から検討する。

有効性:

プロジェクト目標の達成度合い、アウトプットとプロジェクト目標の因果関係、という観点から検討する。

効率性:

プロジェクトの投入から生み出されるアウトプットの程度について、投入のタイミング、質、量という観点から妥当であったか検討する。



インパクト:

プロジェクトが実施されたことにより生じる波及効果(上位目標を含む)について、当初予期しなかった効果も含め検討する。

持続性:

事業終了後、プロジェクトで発現した効果が持続する見込みはあるかという点について、政策・制度・財政・技術的な観点から検討する。

出所:新JICA事業評価ガイドライン第1版を参考に調査団作成

## 1-5 データ収集

本終了時評価調査における主なデータ収集方法及び情報源は以下のとおりである。

- R/D、M/M、事前評価報告書等のプロジェクト計画文書
- プロジェクト事業進捗報告書、中間報告書、中間レビュー報告書等のプロジェクト報告資料
- 日本人専門家、C/P、その他プロジェクト関係者へのインタビュー
- 水利用者組合（AUE）役員へのインタビュー

## 1-6 プロジェクトの概要

(1) 協力期間：2009年6月～2013年5月（4年間）

(2) カウンターパート機関：農業水利省（MAH）<sup>1</sup>

中央レベル： 水資源総局（DGRE）  
衛生・汚水・廃棄物総局（DGAEUE）  
地方レベル： 中央プラトー地方局（DRAH/PCL）

(3) PDM 概要（2011年9月19日改訂）：

上位目標	中央プラトー地方における保健・衛生環境が改善される。
プロジェクト目標	対象コミュニティの給水施設維持管理状況及び住民の衛生行動が改善される。
成果	1 対象コミュニティで維持管理システムの改革に則った組織体制が整う。
	2 村落組織の給水施設運営維持管理能力が強化される。
	3 給水施設運営維持管理に係るスペアパーツ供給及び修理体制が改善される。
	4 中央プラトー地方のパイロット3コミュニティにおける村落住民の衛生行動が改善される。
	5 各県の DPAH が給水衛生状況のモニタリング・評価を実施し、コミュニティに対し支援が行えるようになる。

<sup>1</sup> 2013年1月初頭、農業水利省は農業省と水・水利・衛生省に分離されたが、本報告書では農業水利省として記述する。



## 第2章 プロジェクトの実績

### 2-1 投入実績

プロジェクト開始より終了時評価調査実施時点までの日本側・ブルキナファソ側の投入実績は、以下のとおりである。なお、詳細については添付資料4を参照のこと。

#### (1) 日本側の投入実績

専門家	12名の日本側専門家（総括、組織能力強化、村落給水、衛生改善計画・教育、給水施設運営維持管理、研修監理、業務調整の各分野）が派遣された。
本邦研修	9名の研修員が本邦研修に参加した。
資機材供与	バイク、無停電電源装置、パソコン、プリンター、コピー機、プロジェクターなどの資機材が供与された。
ローカルコスト	2012年12月末時点までにローカルコストとして164,151,195円が支出された。

#### (2) ブルキナファソ側の投入実績

C/Pの配置	中央・地方で計70名が本プロジェクトのカウンターパートとして配置されている。
施設の提供	ワガドグ及びジニアレの農業水利省内に事務所スペースが確保され、机・椅子などの備品が提供されている。
ローカルコスト	2012年12月末時点までにローカルコスト（C/P手当、機材管理費、消耗品費）として69,228,609FCFA（約1,291万円）が支出された。また、上記事務所の光熱費・水道代・通信費として、およそ10,000,000FCFA（約192万円）を負担している。

### 2-2 成果の達成状況

本終了時評価調査時点における各成果の達成状況は以下の通りである。

#### 2-2-1 成果0の達成状況

成果0：PDMの指標が確定する。

PDMの指標は、2011年9月に実施された中間レビュー調査の時点において既に確定している。

但し、中間レビュー調査においてPDMの変更が提案されたため、本終了時評価調査において使用する指標は、2011年11月に確定したものである。

## 2-2-2 成果 1 の達成状況

成果 1：対象コミュニティで維持管理システムの改革に則った組織体制が整う。

成果 1 は達成されている。

対象 9 コミュニティにおける AUE の形成、コミュニティ・AUE 間での協定締結、コミュニティ・修理業者間での委託契約締結、及び、追加 11 コミュニティにおける AUE 形成がほぼ完了していることから、維持管理システムの改革に則った組織体制は既に整ったと判断できる。なお、各指標の達成状況は以下の通り。

指標 1-1：対象コミュニティの 9 割以上の ZAT・UAT 普及員が研修を受講し、8 割以上の普及員が確認テストに合格する。	達成状況：対象 9 コミュニティには ZAT・UAT 普及員が 28 名おり（但し、新規異動者を除く）、全員が研修を受講している。このうち、確認テストの合格者は 22 名（78%）である。
指標 1-2：2010 年 5 月末までに、パイロット 3 コミュニティの AUE が形成される。	達成状況：パイロット 3 コミュニティ（80 村 <sup>2</sup> ）では、2010 年 5 月末までに 36 村で AUE 36 組合（45%）が形成された。また、他の 44 村では、2010 年 10 月末までに AUE 44 組合が形成された（合計で 100%）。
指標 1-3：2011 年 2 月までにパイロット 3 コミュニティと同コミュニティの 8 割の水利用者組合（AUE）との間で、給水施設運営維持管理にかかる協定が締結される。	達成状況：パイロット 3 コミュニティにおいて形成された 80 組合（AUE）のうち、2011 年 2 月までにコミュニティとの間で給水施設運営維持管理協定を締結した AUE は 50 組合（63%）である。他の 29 組合に関しては 2012 年 12 月までに締結され、残りの 1 組合については本終了時評価調査時点で未締結である。
指標 1-4：2011 年 6 月までにウブリテンガ県のパイロットコミュニティ以外のコミュニティの AUE が形成される。	達成状況：ウブリテンガ県のパイロットコミュニティ以外の 6 コミュニティ（192 村）では、2011 年 6 月までに 192 村で AUE 192 組合（100%）が形成された。また、その後、二つの村が分離独立したことから 2 組合が追加され、2012 年 12 月時点で AUE の数は 194 となった。
指標 1-5：2012 年 2 月までにウブリテンガ県のパイロットコミュニティ以外のコミュニティと同コミュニティの 8 割の AUE との間で、給水施設運営維持管理にかかる協定が締結される。	達成状況：給水施設運営維持管理にかかる協定については、AUE 192 組合（100%）がすべて 2012 年 2 月までにコミュニティとの間で協定を締結している。また、新たに形成された 2 組合も 2012 年 12 月までに協定を締結している。
指標 1-6：2012 年 5 月までに、追加 11 コミュニティの AUE が形成される。	達成状況：追加 11 コミュニティ（292 村）では、2012 年 5 月までに 288 村で AUE 288 組合（99%）が形成された。他の 4 村においても AUE を形成する予定であるが、終了時評価調

<sup>2</sup> 行政区分としてのコミュニティの下位には、「セクター（コミュニティ中心部）」及び「村（周辺部）」の二つが存在するが、本報告書では表現上「村」に統一することとする。

	査時点においては未形成である。
指標 1-7: 2012 年 12 月までに、追加 11 コミューンと同コミューンの 1 AUE との間で、給水施設運営維持管理にかかる協定が締結される。	達成状況: 追加 11 コミューンのうち、10 コミューンが 2012 年 12 月までに AUE との間で給水施設運営維持管理にかかる協定を締結している。協定を締結したのは、10 コミューン 216 村のうち 215 村の AUE である (残りの 1 村では 2013 年 1 月に AUE が設立された)。
指標 1-8: 2013 年 2 月までに、対象 コミューンと同コミューンの 8 割の給水ポンプ修理業者との間で、保守・点検にかかる委託契約が締結される。	達成状況: 対象 9 コミューンには給水ポンプ修理業者が 35 名存在する。このうち、2012 年 12 月末までに 24 名 (69%) との間で保守点検にかかる委託契約が締結されている。 (注: コミューンが締結する委託契約は必要数 <sup>3</sup> に限られるため、修理業者の 8 割と委託契約を締結するという指標設定は不適切である)

### 2-2-3 成果 2 の達成状況

成果 2: 村落組織の給水施設運営維持管理能力が強化される。

水利用者組合 (AUE) の給水施設運営維持管理能力は、会議開催、資金管理、ポンプの故障修理対応が出来るようになるなど着実に強化されているが、資金の徴収体制が十分には整っていないため、成果 2 が達成されたという段階には到達していない。

2012 年 10 月の時点で対象 9 コミューンでは AUE 272 組合が形成されているが、このうち、総会を開催したことがあるのは 266 組合 (98%)、資金の帳簿管理を実施しているのが 251 組合 (92%)、口座を開設したのは 241 組合 (89%) である。また、これまでは、深井戸ポンプの故障に際して修理に要する時間は 2 週間とも 3 週間とも言われていたが、2012 年 10 月の時点で軽微な修理にかかる期間は一件あたり 5.9 日であった (回答のあった 193 の AUE の平均)。

一方、水料金の徴収について、各 AUE は一年間に住民から徴収する水料金の総額 (最低水料金) を設定しているが、2011 年～2012 年の二年間で、最低水料金の 7 割を収集した AUE の数はパイロット 3 コミューンで 18%、パイロットコミュニティを除く対象 6 コミューンで 6% となっている<sup>4</sup>。この数字は目標の 7 割から大きく離れており、AUE の更なる能力強化が必要である。

AUE からコミュニティに支払う賦課金については、パイロットコミュニティ以外の対象 6 コミューンにおいて 2012 年に 7 割以上の AUE が賦課金を支払っている。一方、パイロット 3 コミューンでは、2011 年に 7 割以上の AUE が賦課金を支払っているものの、2012 年に支払いを行った AUE は 3 割未満に留まっている。なお、各指標の達成状況は以下の通り。

<sup>3</sup> コミューンは、村落に設置されている給水ポンプの保守巡回作業を修理業者と契約する際に、地域をロット分けしており、ロット毎にそれぞれの修理業者と契約を締結する。このロット数が『必要数』となる。ロット区分は、コミュニティの面積や村落数・既存ポンプ数によってコミュニティ毎に決定されている。

<sup>4</sup> 参考までに、最低水料金の 5 割を徴収できた AUE の数は、パイロット 3 コミューンで 37%、パイロットコミュニティを除く対象 6 コミューンで 30% となっている。

指標 2-1：2011 年 11 月末までに、ウブリテンガ県のパイロットコミュニティの 7 割以上の AUE がコミュニティに対し水料金の賦課金を支払えるようになり、7 割以上の水場委員会（CPE 等）が必要な水料金の 7 割を徴収できるようになる。

達成状況：パイロット 3 コミュニティにおける AUE のコミュニティに対する賦課金支払い状況は以下の通り：

コミュニティ名	AUE 数	賦課金支払 AUE 数	
		2011 年	2012 年
Toeghin	18	18 (100%)	0 (0%)
Zorgho	33	22 (67%)	13 (39%)
Dapelogo	29	28 (97%)	9 (31%)
合計	80	68 (85%)	22 (28%)

また、必要な水料金（年間最低水料金）の 7 割以上を既に徴収している AUE の数は以下の通り：

コミュニティ名	AUE 数	有効データが入手可能な AUE	7 割徴収済み AUE
Toeghin	18	18	1
Zorgho	33	29	8
Dapelogo	29	21	3
合計	80	68	12 (18%)

指標 2-2：プロジェクト終了時までに、パイロットコミュニティ以外のコミュニティの 7 割以上の AUE がコミュニティに対し水料金の賦課金を支払えるようになり、7 割以上の水場委員会が必要な水料金の 7 割を徴収できるようになる。

達成状況：ウブリテンガ県のパイロットコミュニティ以外の 6 コミュニティにおける AUE のコミュニティに対する賦課金支払い状況は以下の通り：

コミュニティ名	AUE 数	賦課金支払 AUE 数	
		2011 年	2012 年
Absouya	19	0 (0%)	17 (89%)
Nagréongo	19	0 (0%)	18 (95%)
Loumbila	31	8 (26%)	21 (68%)
Ourgou-Manéga	28	0 (0%)	21 (75%)
Zitenga	45	9 (20%)	32 (71%)
Ziniaré	50	0 (0%)	40 (80%)
合計	192	17 (9%)	149 (78%)

また、必要な水料金（年間最低水料金）の 7 割以上を既に徴収している AUE の数は以下の通り：

コミュニティ名	AUE 数	有効データが入手可能な AUE	7 割徴収済み AUE
Absouya	19	18	0
Nagréongo	19	19	2
Loumbila	31	28	1

	Ourgou-Manéga	28	28	1
	Zitenga	45	44	1
	Ziniaré	50	43	6
	合計	192	180	11 (6%)
指標 2-3:プロジェクト終了時まで に、11 追加コミューンの 7 割以上 の AUE が水料金の徴収・会計管理 などの活動を開始する。	達成状況:2012 年 10 月時点で水料金の徴収 (または口座開設) を開始していた AUE は、292 のうち 23 (8%) である。			

#### 2-2-4 成果 3 の達成状況

成果 3 : 給水施設運営維持管理に係るスペアパーツ供給及び修理体制が改善される。

成果 3 はおおむね達成されている。

以下の指標達成状況が示す通り、全コミューンがスペアパーツの交換に必要な情報を所有しており、修理業者による保守点検及び軽微な修理は期待された水準以上で実施されている (但し、水・衛生分野の担当者が配置されているコミューン行政は限られており、所有情報が AUE によって有効活用される体制が整うまでには至っていない)。また、中央プラトー地方の 3 県では修理工組合が組織されており、修理業者間でのスペアパーツ供給に関する情報共有も進められている。従って、スペアパーツの供給及びポンプの修理体制は改善されつつあると判断できる。なお、各指標の達成状況は以下の通り。

指標 3-1:プロジェクト終了時まで に、給水ポンプ修理業者がコミュ ューンより要請された保守・点検件 数の 6 割以上に対応できるよう になる。	達成状況:本終了時評価調査時点で、コミューンより要請さ れた保守・点検件数は 9 コミューン全体で 24 件あり、すべて の要請に対して修理業者は対応している。
指標 3-2:スペアパーツの交換に必 要な情報 (店舗情報、発注手順) を中央プラトー地方全 20 コミュ ューンが所有している。	達成状況:2012 年 10 月時点で、全 20 コミューンが、修理業 者の連絡先/スペアパーツの値段/販売店舗情報、のいずれ かに関する情報を所有している。
指標 3-3:軽微な修理にかかる期間 が 1 ヶ月以内に短縮される。	達成状況:2012 年 10 月までの時点で、対象 9 コミューンにお いて軽微な修理にかかる期間は一件あたり 5.9 日であった (調 査対象となった AUE 270 組合のうち、回答のあった 193 組合 の平均)。

#### 2-2-5 成果 4 の達成状況

成果 4 : 中央プラトー地方のパイロット 3 コミューンにおける村落住民の衛生行動が改善される。

成果 4 は達成されている。

プロジェクト目標の指標3に示す通り、パイロット3コミュニティにおいて、10項目の衛生行動<sup>5</sup>のうち6項目以上が改善された村落の数は全体の72%にのぼることから、村落住民の衛生行動は改善されていると判断できる。なお、各指標の達成状況は以下の通り。

<p>指標4-1:衛生改善の啓発・教育プログラム及びマニュアルが作成される。</p>	<p>達成状況:次の衛生啓発・教育教材が作成された:          衛生行政指導者用マニュアル          住民衛生アニメーター及び教員用衛生啓発・教育活動実践ガイド          啓発用ツールイメージ (SARAR/PHAST カード)          衛生行動・施設管理マニュアル          また、これらの教材に記述されている内容は、実質的に、衛生改善の啓発・教育プログラムとして機能している。</p>																
<p>指標4-2:パイロット3コミュニティの村落で衛生啓発・教育プログラムの実施者(教員、保健所員、行政機関の衛生担当者、住民アニメーター)が600名以上育成される。</p>	<p>達成状況:パイロット3コミュニティで衛生啓発・教育プログラムの研修に参加した教員・保健所員・行政機関の衛生担当者・住民アニメーターは合計で973名である。詳細は以下の通り:          衛生行政指導員 57名          Toeghin コミュニティ 165名          Zorgho コミュニティ 435名          Dapelogo コミュニティ 316名          (衛生行政指導員とは、県・コミュニティレベルの教育省・保健省・農業水利省関係者を指す)          また、プロジェクト終了後、衛生推進活動をする計画の有無を問うた質問に対して、「有」と回答した住民アニメーターのいる村落数は以下の通り:          Toeghin コミュニティ 10村中6村          Zorgho コミュニティ 31村中30村          Dapelogo コミュニティ 25村中15村          合計 66村中51村(77%)</p>																
<p>指標4-3:パイロット3コミュニティの村落で衛生啓発・教育プログラムの実施者による衛生改善の啓発活動が毎年6回以上実施される。</p>	<p>達成状況:村落における衛生改善の啓発活動実績は以下の通り(数字は、啓発活動が年6回以上実施された村落の割合):</p> <table border="1" data-bbox="627 1576 1369 1767"> <thead> <tr> <th>コミュニティ名</th> <th>2010年</th> <th>2011年</th> <th>2012年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toeghin</td> <td>データなし</td> <td>22%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>Zorgho</td> <td>28%</td> <td>49%</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>Dapelogo</td> <td>データなし</td> <td>57%</td> <td>40%</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、小学校における衛生改善の啓発活動実績は以下の通り</p>	コミュニティ名	2010年	2011年	2012年	Toeghin	データなし	22%	0%	Zorgho	28%	49%	23%	Dapelogo	データなし	57%	40%
コミュニティ名	2010年	2011年	2012年														
Toeghin	データなし	22%	0%														
Zorgho	28%	49%	23%														
Dapelogo	データなし	57%	40%														

<sup>5</sup> 10項目の衛生行動とは、どこから水を汲んでくるか(水たまり、浅井戸、深井戸)、水を運ぶ道具(たらい、ポリタンク)、水を貯める道具(蓋なしのカメ、蓋つきのカメ)、水の保管方法(ろ過なし、ろ過、ろ過と消毒)、飲料水の取り扱い方法(汲むコップと飲むコップの使い分け)、手洗い方法(バケツで共有、流水、石鹸・流水)、トイレの有無(なし、伝統型、改良型)、排泄習慣(野外、トイレの使い方)、トイレ清掃の有無・方法、井戸の衛生対策(囲いなし、あり)、である。

	(数字は、啓発活動が年6回以上実施された小学校の割合) :																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コミュニティ名</th> <th>2010年</th> <th>2011年</th> <th>2012年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toeghin</td> <td rowspan="3">活動開始は 2011年</td> <td>84%</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>Zorgho</td> <td>52%</td> <td>74%</td> </tr> <tr> <td>Dapelogo</td> <td>74%</td> <td>データなし</td> </tr> </tbody> </table>	コミュニティ名	2010年	2011年	2012年	Toeghin	活動開始は 2011年	84%	16%	Zorgho	52%	74%	Dapelogo	74%	データなし																
コミュニティ名	2010年	2011年	2012年																												
Toeghin	活動開始は 2011年	84%	16%																												
Zorgho		52%	74%																												
Dapelogo		74%	データなし																												
指標 4-4: 公共衛生設備維持管理マニュアルを作成され、公共衛生設備・行動の管理システムが構築される。	<p>達成状況：作成されたマニュアルは指標 4-1 に記載済み。公共衛生設備（学校・保健センター・市場・公園）の管理システム（モニタリング）については、学校・保健センターは各々の組織がモニタリングを行い、市場・公園についてはコミュニティがモニタリングを行うことで合意されている。</p>																														
指標 4-5: 公共衛生設備維持管理マニュアルに基づき、衛生施設・行動に係る、モニタリング・評価が各サイトにおいて年2回以上行われる。	<p>達成状況：村落における衛生施設・行動に係るモニタリング実績は以下の通り（数字は、モニタリング活動が年2回以上実施された村落の割合）：</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コミュニティ名</th> <th>2010年</th> <th>2011年</th> <th>2012年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toeghin</td> <td>78%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Zorgho</td> <td>59%</td> <td>78%</td> <td>93%</td> </tr> <tr> <td>Dapelogo</td> <td>62%</td> <td>79%</td> <td>69%</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、小学校における衛生施設・行動に係るモニタリング実績は以下の通り（数字は、モニタリング活動が年2回以上実施された小学校の割合）：</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コミュニティ名</th> <th>2010年</th> <th>2011年</th> <th>2012年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toeghin</td> <td rowspan="3">活動開始は 2011年</td> <td>95%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Zorgho</td> <td>94%</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>Dapelogo</td> <td>85%</td> <td>82%</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、これらのモニタリング活動は、プロジェクトの経費により、主に県・コミュニティレベルの教育省・保健省・農業水利省関係者によって実施されている。</p>	コミュニティ名	2010年	2011年	2012年	Toeghin	78%	100%	100%	Zorgho	59%	78%	93%	Dapelogo	62%	79%	69%	コミュニティ名	2010年	2011年	2012年	Toeghin	活動開始は 2011年	95%	100%	Zorgho	94%	76%	Dapelogo	85%	82%
コミュニティ名	2010年	2011年	2012年																												
Toeghin	78%	100%	100%																												
Zorgho	59%	78%	93%																												
Dapelogo	62%	79%	69%																												
コミュニティ名	2010年	2011年	2012年																												
Toeghin	活動開始は 2011年	95%	100%																												
Zorgho		94%	76%																												
Dapelogo		85%	82%																												
指標 4-6: 公共衛生設備（学校等の公共トイレ）が住民自身によって維持管理される <sup>6</sup> 。	<p>達成状況：パイロット3コミュニティにある19の保健センターのうち、データのない1センターを除くすべての保健センターにおいてトイレが定期的に清掃されている（95%）。また、小学校については、データのある91校のうち（全部で105校）、89校においてトイレが定期的に清掃されている（85%）。このほか、コミュニティが管理している公共トイレが14箇所（Toeghin 5箇所、Zorgho 5箇所、Dapelogo 4箇所）あり、Toeghin</p>																														

<sup>6</sup> 公共施設（市場等）にある衛生施設はコミュニティが、保健センターは保健センターが、学校は学校が管理することになっているため、ここでの維持管理主体は住民自身ではなく、コミュニティを中心に関係者によって維持管理される、という解釈を採用する。

コミューンと Zorgho コミューンの 10 箇所については定期的に清掃されている (100%)。

## 2-2-6 成果 5 の達成状況

成果 5 : 各県の DPAH が給水衛生状況のモニタリング・評価を実施し、コミューンに対し支援が行えるようになる。

成果 5 に関し、DPAH が担うモニタリング・評価活動については、8 割以上のスタッフが年 2 回以上モニタリング活動を実施しており (2012 年)、成果は達成されたと判断できる。また、後半の「コミューンに対し支援が行えるようになる」については、記述に具体性がなく、関連する指標設定もないことから、本終了時評価調査においては判断することができない。なお、各指標の達成状況は以下の通り。

<p>指標 5-1 : 2010 年より年 2 回、各 DPAH による村落の給水施設稼働率、AUE の財務状況、水場委員会の水料金徴収率及び給水ポンプ修理業者の給水施設の保守・点検状況にかかるモニタリング・評価が実施される。</p>	<p>達成状況 : 村落において給水施設管理にかかるモニタリング・評価活動を年 2 回以上実施した DPAH/DRAH のスタッフ、ZAT/UAT の割合は以下の通り :</p>																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>スタッフ所属先</th> <th>2010 年</th> <th>2011 年</th> <th>2012 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DPAH/DRAH (17 名)</td> <td>2 名</td> <td>9 名</td> <td>13 名</td> </tr> <tr> <td>Toeghin (2 名)</td> <td>2 名</td> <td>2 名</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td>Zorgho (3 名)</td> <td>2 名</td> <td>3 名</td> <td>3 名</td> </tr> <tr> <td>Dapelogo (4 名)</td> <td>1 名</td> <td>3 名</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td>Absouya (1 名)</td> <td></td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>Nagréongo (5 名)</td> <td></td> <td>4 名</td> <td>4 名</td> </tr> <tr> <td>Loumbila (6 名)</td> <td></td> <td>4 名</td> <td>5 名</td> </tr> <tr> <td>Ourgou-Manéga (1 名)</td> <td></td> <td>1 名</td> <td>0 名</td> </tr> <tr> <td>Zitenga (5 名)</td> <td></td> <td>5 名</td> <td>3 名</td> </tr> <tr> <td>Ziniaré (5 名)</td> <td></td> <td>5 名</td> <td>5 名</td> </tr> <tr> <td>追加 11 コミューン (合計 32 名)</td> <td></td> <td></td> <td>28 名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7/26 (27%)</td> <td>37/49 (76%)</td> <td>66/81 (81%)</td> </tr> </tbody> </table>	スタッフ所属先	2010 年	2011 年	2012 年	DPAH/DRAH (17 名)	2 名	9 名	13 名	Toeghin (2 名)	2 名	2 名	2 名	Zorgho (3 名)	2 名	3 名	3 名	Dapelogo (4 名)	1 名	3 名	2 名	Absouya (1 名)		1 名	1 名	Nagréongo (5 名)		4 名	4 名	Loumbila (6 名)		4 名	5 名	Ourgou-Manéga (1 名)		1 名	0 名	Zitenga (5 名)		5 名	3 名	Ziniaré (5 名)		5 名	5 名	追加 11 コミューン (合計 32 名)			28 名	合計	7/26 (27%)	37/49 (76%)	66/81 (81%)
スタッフ所属先	2010 年	2011 年	2012 年																																																		
DPAH/DRAH (17 名)	2 名	9 名	13 名																																																		
Toeghin (2 名)	2 名	2 名	2 名																																																		
Zorgho (3 名)	2 名	3 名	3 名																																																		
Dapelogo (4 名)	1 名	3 名	2 名																																																		
Absouya (1 名)		1 名	1 名																																																		
Nagréongo (5 名)		4 名	4 名																																																		
Loumbila (6 名)		4 名	5 名																																																		
Ourgou-Manéga (1 名)		1 名	0 名																																																		
Zitenga (5 名)		5 名	3 名																																																		
Ziniaré (5 名)		5 名	5 名																																																		
追加 11 コミューン (合計 32 名)			28 名																																																		
合計	7/26 (27%)	37/49 (76%)	66/81 (81%)																																																		
	<p>(括弧内は当該地域に配置されているスタッフ数)</p>																																																				
<p>指標 5-2 : 2010 年より年 2 回、各 DPAH による衛生改善状況にかかるモニタリング・評価が実施される<sup>7</sup>。</p>	<p>達成状況 : 衛生改善状況にかかるモニタリング・評価活動を年 2 回以上実施した行政指導員の割合は以下の通り :</p>																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コミューン名</th> <th>2010 年</th> <th>2011 年</th> <th>2012 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toeghin</td> <td>38%</td> <td>77%</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>Zorgho</td> <td>48%</td> <td>95%</td> <td>89%</td> </tr> <tr> <td>Dapelogo</td> <td>42%</td> <td>85%</td> <td>94%</td> </tr> </tbody> </table>	コミューン名	2010 年	2011 年	2012 年	Toeghin	38%	77%	83%	Zorgho	48%	95%	89%	Dapelogo	42%	85%	94%																																				
コミューン名	2010 年	2011 年	2012 年																																																		
Toeghin	38%	77%	83%																																																		
Zorgho	48%	95%	89%																																																		
Dapelogo	42%	85%	94%																																																		

<sup>7</sup> 衛生分野におけるモニタリング・評価は、DPAH のみならず、教育省関係者、保健省関係者の行政指導員が実施するので、ここでは、これら全関係者のモニタリング活動を含むものとする。

	<p>また、衛生改善状況にかかるモニタリング・評価活動が、年2回以上実施された村落<sup>8</sup>の割合は以下の通り：</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コミュニティ名</th> <th>2010年</th> <th>2011年</th> <th>2012年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toeghin</td> <td>83%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Zorgho</td> <td>57%</td> <td>74%</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>Dapelogo</td> <td>42%</td> <td>58%</td> <td>58%</td> </tr> </tbody> </table>	コミュニティ名	2010年	2011年	2012年	Toeghin	83%	100%	100%	Zorgho	57%	74%	90%	Dapelogo	42%	58%	58%
コミュニティ名	2010年	2011年	2012年														
Toeghin	83%	100%	100%														
Zorgho	57%	74%	90%														
Dapelogo	42%	58%	58%														
指標 5-3：モニタリング・評価の結果必要とされた支援・助言のうち7割が、各 DPAH の指示に基づき実施される。	達成状況：本終了時評価調査に際して、具体的な記録を収集できなかったため、達成状況を測ることはできない。																

### 2-3 プロジェクト目標の達成状況

本中間レビュー調査時点におけるプロジェクト目標の達成状況は以下の通りである。

プロジェクト目標：対象コミュニティの給水施設維持管理状況及び住民の衛生行動が改善される<sup>9</sup>。

プロジェクト目標は達成されている。

対象9コミュニティにおける給水施設の稼働率は、以下の指標1達成状況に示す通り Loubila コミュニティ<sup>10</sup>を除き改善しており、住民の衛生行動についても成果4で述べた通り改善している。このため、基本的には本終了時評価調査時点においてプロジェクト目標は概ね達成されていると判断できる。なお、各指標の達成状況は以下の通り。

指標1：対象9コミュニティ（ウブリテンガ県全コミュニティ、ガンズルグ県とクルウェオゴ県のパイロットコミュニティ）の給水施設の稼働率が現在の7割から8割に向上する。	<p>達成状況：対象9コミュニティにおける給水施設の稼働率は以下の通りである：</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コミュニティ名</th> <th>2009年</th> <th>2012年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toeghin</td> <td>89%</td> <td>93%</td> </tr> <tr> <td>Zorgho</td> <td>87%</td> <td>98%</td> </tr> <tr> <td>Dapelogo</td> <td>83%</td> <td>89%</td> </tr> <tr> <td>Absouya</td> <td>75%</td> <td>87%</td> </tr> <tr> <td>Nagréongo</td> <td>86%</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>Loubila</td> <td>81%</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td>Ourgou-Manéga</td> <td>76%</td> <td>98%</td> </tr> </tbody> </table>	コミュニティ名	2009年	2012年10月	Toeghin	89%	93%	Zorgho	87%	98%	Dapelogo	83%	89%	Absouya	75%	87%	Nagréongo	86%	95%	Loubila	81%	73%	Ourgou-Manéga	76%	98%
コミュニティ名	2009年	2012年10月																							
Toeghin	89%	93%																							
Zorgho	87%	98%																							
Dapelogo	83%	89%																							
Absouya	75%	87%																							
Nagréongo	86%	95%																							
Loubila	81%	73%																							
Ourgou-Manéga	76%	98%																							

<sup>8</sup> 分母となる村落数には、一部、村/セクターの下部単位である Quartier が含まれている場合もある。これは、セクターの規模が大きいことから、Quartier レベルでモニタリングを行う必要があると判断したためである。なお、母数は、トエゲンが18、ゾルゴが42、ダペロゴが55、である。

<sup>9</sup> 給水施設維持管理の改善は対象9コミュニティが対象地域であるが、衛生行動改善の対象地域はパイロット3コミュニティに限られる。

<sup>10</sup> Loubila コミュニティは、首都ワガドグに近く、ダム湖の水を利用した給水施設が比較的整備されつつあることから、深井戸を必要としない村落が増えていると言われる。このような村落の場合、住民による給水施設の維持管理が必要とされないことから、給水施設の稼働率は下がるものと考えられる。

	Zitenga	80%	95%															
	Ziniaré	75%	78%															
指標 2 : 追加 11 コミューン (ガンズルグ県 7 コミューンならびにクルウェオゴ県 4 コミューン) において、給水施設維持管理システム改革に基づく実施体制が構築される <sup>11</sup> 。	達成状況 : 追加 11 コミューンにおいて、2012 年 5 月までに形成された AUE は 288 組合 (99%) である。さらに 3 組合を形成する予定であるが、終了時評価調査時点においては未形成である <sup>12</sup> 。また、追加 11 コミューンのうち、10 コミューンが 2012 年 12 月までに AUE との間で給水施設運営維持管理にかかる協定を締結している。協定を締結したのは、10 コミューン 216 村のうち 215 村の AUE である (全体の 74%)。																	
指標 3 : パイロット 3 コミューン (ウブリテンガ県、ガンズルグ県及びクルウェオゴ県のパイロット コミューン) の住民の、水を取り巻く衛生行動 (10 項目) の少なくとも 6 割が改善される。	達成状況:パイロット 3 コミューンの村落における住民の水を取り巻く衛生行動 (10 項目) が 6 割以上改善された村落数は以下の通り :																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コミュニティ名</th> <th>全村落数</th> <th>改善村落数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toeghin</td> <td>18</td> <td>11 (61%)</td> </tr> <tr> <td>Zorgho</td> <td>39</td> <td>31 (79%)</td> </tr> <tr> <td>Dapelogo</td> <td>30</td> <td>21 (70%)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>87</td> <td>63 (72%)</td> </tr> </tbody> </table>			コミュニティ名	全村落数	改善村落数	Toeghin	18	11 (61%)	Zorgho	39	31 (79%)	Dapelogo	30	21 (70%)	合計	87	63 (72%)
コミュニティ名	全村落数	改善村落数																
Toeghin	18	11 (61%)																
Zorgho	39	31 (79%)																
Dapelogo	30	21 (70%)																
合計	87	63 (72%)																
	注 : 村落数には、一部、村落の下部単位である Quartier (または Secteur) も含まれている。																	

## 2-4 上位目標の達成見込み

本終了時評価調査時点における上位目標の達成見込みは以下の通りである。

上位目標 : 中央プラトー地方における保健・衛生環境が改善される。

本終了時評価調査実施時点において、プロジェクト目標達成の効果として上位目標が達成される可能性は一定程度見込まれる。

農業水利省の中央プラトー地方局では、既に 2013 年のプロジェクト C/P 予算として 5,600 万 CFAF を確保していることから、プロジェクト終了後も当面は普及員 (ZAT/UAT) が AUE 支援を継続する見込みはある<sup>13</sup>。2014 年以降については、現時点で未定であるが、既に中央プラトー地方局長は農業水利省に対して予算申請依頼を行っており、セクター財政支援予算 (ABS) から資金配分がなされる可能性は高いと推察される<sup>14</sup>。このため、プロジェクト終了後も、AUE の活動を通じて深井戸ポンプ

<sup>11</sup> ①AUE の設立、②AUE とコミュニティ間での維持管理協定書締結、を以って「実施体制が構築される」と判断する。

<sup>12</sup> 未形成の理由は、村落内の各集落 (Quartier) が以前より土地の境界線に関して争っていることから、村落レベルで協調行動が出来ないことにあり、リフォームとは直接関係がない。

<sup>13</sup> プロジェクトの C/P 予算については、C/P の手当ては含まれているものの、普及員による村落訪問のための出張手当・燃料費は含まれていない。このため、普及員が活動を継続するためには、農業水利省によって当該経費が計上される必要がある。

<sup>14</sup> 農業水利省水資源総局によれば、現在、リフォーム政策は国内全 13 地方において推進されており、このうち、援助資金が入っていない 10 地方については ABS 資金で実施されている (残りの 3 地方のうち、2 地方はアフリカ開発銀行、中央プラトー地方は JICA の資金で実施されている)。中央プラトー地方に関しては、現在、JICA プロジェクトがリ

が常時稼働し、中央プラトー地方 20 コミューンにおいて住民が安全な水にアクセスできる可能性は一定程度見込まれる。なお、各指標の達成見込みは以下の通り。

<p>指標 1：2015 年までに改善された水源を継続的に利用できる人口の割合が現在の 7 割から 8 割以上になる。</p>	<p>達成見込み（指標 1 及び指標 2）：両指標は、「組織体制及び修理体制が整備され、AUE が適切に機能する」→「給水施設の故障がすぐに修理される」→「給水施設の常時稼働率が向上する」→「常時稼働する給水施設を利用できる人口が増加する（給水施設一ヶ所あたり 300 人）」、という論理に基づく指標である。組織体制及び修理体制の整備については、成果 1 と成果 3 で示した通り、中央プラトー地方の全 20 コミューンにおいて整備されつつある。しかし、AUE の能力については、成果 2 で示した通り一定程度強化されたものの、対象 9 コミューンにおいて水料金の徴収は困難な状況にあり、さらなる能力強化が必要である。また、追加 11 コミューンは AUE の形成が終了した段階であり、本格的な AUE の能力強化はこれからである。このため、両指標の達成のためにはプロジェクト終了後も普及員による AUE の能力強化活動が不可欠となる<sup>15</sup>。上述した通り、中央プラトー地方局は 2013 年のリフォーム予算を確保している。2014 年以降の予算については、現時点で未定であるものの、確保する可能性もあることから、本指標の達成は一定程度見込まれる。</p>
<p>指標 2：2015 年までに給水施設の常時稼働率が現在の 7 割から 8 割以上になる。</p>	<p>達成見込み：成果 4 で示した通り、パイロット 3 コミューンにおける住民の衛生行動は住民アニメーターの活動等を通じて改善されているが、同様の活動を他コミュニティで展開する計画・予算は策定されていない。各 AUE には衛生担当者が任命されているため、プロジェクト終了後も衛生行動改善のための活動が行われる可能性はあるが、彼らの活動は成果 4 で実施してきたような衛生活動に比べて限定的であり、また住民アニメーターの育成計画もないため、パイロット 3 コミューンと同様の衛生行動改善は見込まれない。このため、本指標の達成見込みは低い。</p> <p>（なお、本プロジェクトでは住民の衛生行動改善活動の対象地域をパイロット 3 コミューンに絞っており、他の 17 コミューンに展開する計画は立案していない。）</p>
<p>指標 3：2015 年までに住民の、水を取り巻く衛生行動が改善される。</p>	<p>達成見込み：成果 4 で示した通り、パイロット 3 コミューンにおける住民の衛生行動は住民アニメーターの活動等を通じて改善されているが、同様の活動を他コミュニティで展開する計画・予算は策定されていない。各 AUE には衛生担当者が任命されているため、プロジェクト終了後も衛生行動改善のための活動が行われる可能性はあるが、彼らの活動は成果 4 で実施してきたような衛生活動に比べて限定的であり、また住民アニメーターの育成計画もないため、パイロット 3 コミューンと同様の衛生行動改善は見込まれない。このため、本指標の達成見込みは低い。</p> <p>（なお、本プロジェクトでは住民の衛生行動改善活動の対象地域をパイロット 3 コミューンに絞っており、他の 17 コミューンに展開する計画は立案していない。）</p>

フォーム実施を担っているため ABS 資金からの配分はないが、JICA 支援終了後は、ABS 資金によってリフォーム政策の推進が継続されるものと推察される。

<sup>15</sup> ここで言う能力強化活動とは成果 2 に関わる取り組みであり、成果 5 のモニタリングとは異なる。前者は、普及員が村落を訪問し、住民に対して直接働きかけを行う必要がある。一方、後者については、Dapelogo コミューンで実施されているように、AUE 関係者がコミュニティに集合して行う会合を通じてデータ収集するという方法もある。

## 2-5 実施プロセス

### 2-5-1 活動の進捗状況

計画されたプロジェクト活動は全般的に計画通り進められており、特段の問題は見られない。

### 2-5-2 プロジェクトの実施過程で生じている問題

#### (1) AUE における水料金徴収について

上記 2-2-3 の成果 2 において、AUE における水料金徴収が課題となっていることを指摘したが、本終了時評価調査中にインタビューを行った 12 の AUE のうち、2012 年に全員が支払った AUE は 1 組合、未払い住民が 5-10%であった AUE は 6 組合、全員が未払いだった AUE は 5 組合であった（なお、これらの AUE は対象 9 コミュニティに属する）。一部住民が未払いだった 6 組合については、給水施設維持管理制度改革（リフォーム）の意義を理解していないことが未払いの最大要因であり、普及員を通じてリフォームの意義を周知することが極めて重要であるという指摘が当該 AUE 役員よりなされた。全員が未払いだった 5 組合うち、2 組合については、2011 年に未払いだった一部住民が無料で水を利用し続けたことから、2012 年は全住民が水料金支払いを拒否した。他の 3 組合について、2012 年は旱魃による農作物の収量減で現金収入が不足したことが背景としてあり、2013 年は再び水料金の徴収が可能となるだろう、という認識が当該 AUE 役員によって示された。以下の表は、このような水料金支払い状況を整理したものである。

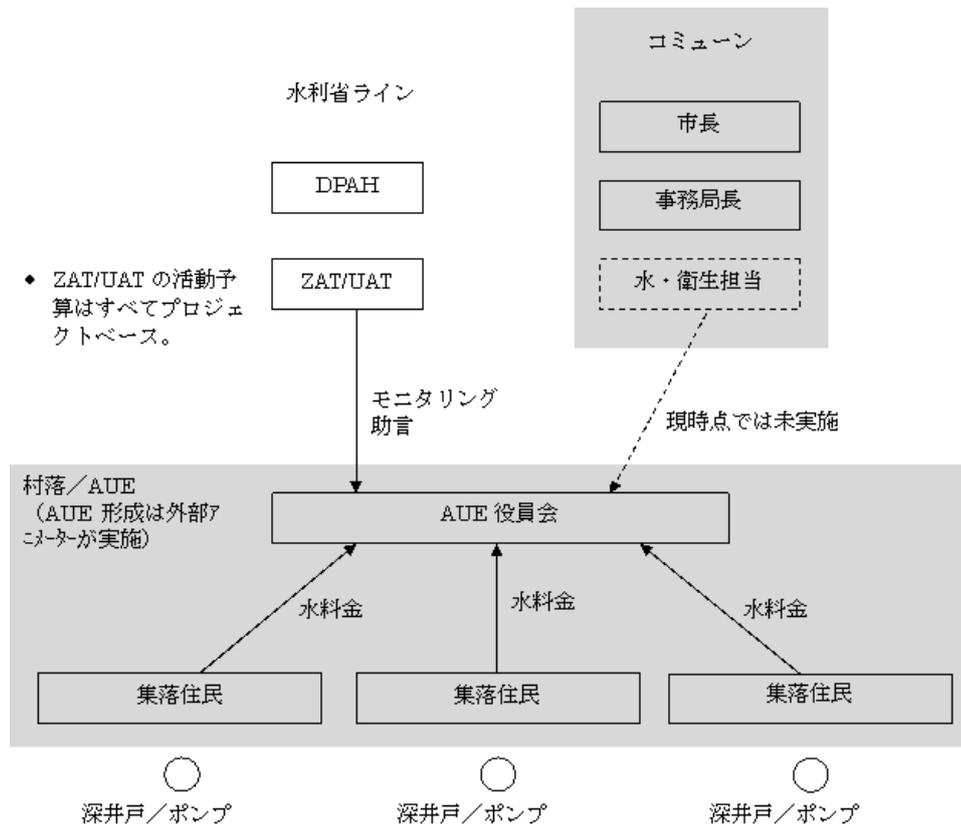
2011 年には、12 組合のうち 9 組合で一部住民が水料金支払いを拒否し、無料で水を利用し続けるという状況が生じている。この 9 組合のうち、6 組合はモラルハザードを起こすことなく、翌年も大半の住民が水料金を支払っているが、2 組合については全住民が 2012 年の支払いを拒否した。なお、2011 年から全住民が料金を支払い続けている 1 組合では、AUE からの支払い要求を三度断った場合には、当該住民の水利用を中止させるという罰則を設けている<sup>16</sup>。

2010 年	2011 年	2012 年
対象 9 コミュニティでの AUE 形成	一部住民が水料金未払い（9 組合） ◆ 住民総会で AUE の意義を説明するが、全住民が総会に参加している訳ではなく、情報を共有していない住民もいる	一部住民が水料金未払い（6 組合） ◆ AUE の意義を理解する住民の存在により、モラルハザードは発生せず
		全住民が水料金未払い（2 組合） ◆ AUE の意義を承知している住民も不公平状態を受け入れず
	全住民が水料金支払い（3 組合）	全住民が水料金未払い（3 組合） ◆ 旱魃により収入低く、支払を渋る
		全住民が水料金支払い（1 組合）

以下の図は、AUE による給水施設の維持管理体制を示した模式図である。AUE は行政組織ではないため、住民から水料金を徴収する権限はなく、基本的に水料金徴収は関係者間の合意に基

<sup>16</sup> 実際、AUE 設立当初には三度支払いを拒んだ住民がいて、AUE はこの住民の水利用を停止させている。なお、当該 AUE の役員は、現在は普及員（ZAT/UAT）が村を訪問するので水料金徴収が滞りなく行われているが、彼らの村訪問が途絶えると料金徴収が困難になる、と発言している。

づく。従って、AUE の役員は支払いを拒否する住民から水料金を強制的に徴収することは出来ない<sup>17</sup>。また、リフォームの位置づけとして、給水施設はコミューンに帰属するものとされていることから、基本的には、コミューン行政に水・衛生を担当する人材・予算が配置され、水料金徴収に関わる AUE 支援を実施するのがあるべき体制であると考えられる。しかし、コミューン行政による水・衛生分野での取り組みはまだ開始されておらず、現段階ではコミューン行政が水料金徴収に関わる AUE 支援を直接行うことは困難である。



## (2) コミューンによる不適切な予算管理

パイロット 3 コミューンの一つ Toeghin コミューンでは、2012 年に AUE より納付された賦課金がポンプの点検巡回には使用されなかった。当年のポンプ修理業者による 1 回目の保守巡回は実施されたが、コミューンからの支払いはなされず、また 2 回目の保守巡回は実施されていない。このようなコミューンによる不適切な予算管理は、Toeghin 以外にも事例があるため、農業水利省は実態調査を行い、2012 年 9 月に報告書を完成させた。報告書では、対策として、水・衛生分野の予算項目を独立させることを推奨している。

## (3) 劣化度の高い給水ポンプについて

AUE における年間必要徴収金額は、現在、給水ポンプ一基あたり 10 万 CFAF を基準として計算されている。この金額は日常の小規模な故障に際しては対応可能であるが、対象地域には既に設置後数十年が経過し、劣化が進んでいる給水ポンプも多く、このようなポンプが大規模な故障

<sup>17</sup> AUE 役員も村の住民であり、大家族的な風習を持つ村において権限を持たない役員が自らの親戚のような住民に支払いを強制することは社会通念上難しい。

をした際には AUE が修繕費用を全額負担することはできない。(対応策として、政府は、2012 年に 100 基のポンプ改修工事を実施した。また、2010 年以来、15 年以上経過したポンプの改修費用をコミューン行政に交付している。)

### 2-5-3 コミュニケーション・モニタリング

プロジェクト関係者間のコミュニケーションは良好である。プロジェクトの進捗に関する情報は関係者間で共有され、状況認識にも基本的に差異がない。

モニタリングについては、以下の通り、中央レベルにおいてプロジェクト合同調整委員会がこれまでに五回開催され、活動報告及び計画・予算が協議されている。また、地方レベルでは、農業水利省中央プラトー地方局 (DRAH) が招集する月例会において、プロジェクト対象地 3 県の水担当者がプロジェクト活動の進捗報告を行うと同時に、日本人専門家がマネージメント等に関わる諸事項を報告している。

		主な討議事項
第一回	2010 年 1 月 25 日	2010 年の活動計画・予算計画
第二回	2010 年 9 月 8 日	2010 年上半期活動報告、2010 年下半期活動計画
第三回	2011 年 1 月 26 日	2010 年下半期活動報告、2011 年活動計画・予算計画
第四回	2011 年 9 月 28 日	2011 年上半期活動報告、中間レビュー調査結果報告
第五回	2012 年 2 月 2 日	2011 年下半期活動報告、2012 年活動計画・予算計画

### 2-5-4 中間レビュー調査における提言への取り組み状況

以下の表は、中間レビュー調査で行われたプロジェクトに対する提言と、これまでの取り組み状況を取り纏めたものである。

提言	取り組み状況
衛生行動改善のための活動	本プロジェクトの目標はパイロット 3 コミューンにおける住民の衛生行動改善である。これまでのプロジェクト活動を通じて、既に住民の衛生行動には変化が生じており (手洗い習慣、トイレ使用、井戸周り清掃、等々)、これらの行動の大半は住民アニメーターの積極的な活動がなくとも習慣化していくと考え、プロジェクト終了後に備えて特に住民アニメーターのモチベーションを維持する仕組みを改めて構築する必要はないと判断した。他方、新しい衛生行動が習慣として定着するためには、育成された住民アニメーターがプロジェクト終了後も活動を続けることが望ましく、このため、コミューン行政は、農業水利省、国民教育・識字化省、保健省などの関係省庁と連携して、例えば衛生コンクールの開催など、住民アニメーターの意欲を維持する活動を支援することが望まれる。また、学校における衛生活動については、教員が継続的に実施していくものと判断した。なお、上位目標は「中央プラトー地方における保健・衛生環境が改善される」とされているが、本プロジェクトではパイロット 3 コミューンの活動を他コミューンへと展開する計画は立

	てていない。
対象コミュニティの 拡大	追加 11 コミューン (248 村) において活動を開始し、これまでに 245 村で 288 の AUE が形成された。
プロジェクト終了 後の持続性の確保	現在、2013 年のリフォーム予算は確保されているが、2014 年以降については、中央プラトー地方局によってセクター財政支援予算への申請が行われているものの、予算確保については未定である。



## 第3章 評価 5 項目による評価結果

### 3-1 妥当性

本プロジェクトは、「ブ」国の開発政策及び日本の対「ブ」国援助方針との整合性、安全な飲料水及び衛生設備へのアクセスという国内ニーズとの合致、さらにはプロジェクトのデザインの適切さという観点から見て、妥当性は高い。

「ブ」国政府は、2000 年第 514 号政令において「村落・準都市部の飲料水供給施設の管理制度改革枠組文書」を採択した。これにより、中央政府が主導してきた給水施設の建設及び維持管理の権限をコミューン行政へ移譲する給水施設維持管理制度改革（リフォーム）が開始された。2006 年には、飲料水・衛生セクターの開発枠組計画である「飲料水供給・衛生国家計画（PN-AEPA）」を策定し、農村部における飲料水供給率を 2005 年の 52%から 2015 年には 76%へ増加させ、また衛生設備利用率を 2010 年の 0.8%から 2015 年には 5%へ増加させる（2010 年に改訂）という目標を掲げた。本プロジェクトは、実質的に中央プラトー地方においてリフォームを実施する事業であり、その結果として飲料水供給率を向上させ、かつ住民の衛生行動を改善することを目指していることから、「ブ」国の開発政策及び国内ニーズに直接貢献するものである。

「政府開発援助（ODA）国別データブック 2011」によると、水・衛生分野は、日本の対ブルキナファソ国援助重点分野の一つである。特に、貧困削減の観点から農村部における貧困農民の基礎生活分野を重視しており、個々の農家の安全な飲料水及び衛生行動改善に直接貢献し得る本プロジェクトはこの基本方針に合致していると言える<sup>18</sup>。

本プロジェクトのデザインは、1) AUE の能力強化、AUE・コミューン行政・修理業者間の連携を通じて給水ポンプの修理体制を整える、2) 住民の衛生行動を改善する、という二本柱に加え、3) これらの活動推進のため農業水利省の現場事務所が AUE 及びコミューン行政を支援する、という構成になっている。リフォームは、設置されて間もないコミューン行政に給水施設の維持管理権を移譲するものであるから、既存の普及体制（農業水利省の現場普及員）を利用して施設維持管理の体制整備及び AUE・コミューン行政の能力強化を図るというデザインは適切である。

### 3-2 有効性

プロジェクト目標の達成見込みという観点から見て、有効性は高い。

AUE を主体とした給水ポンプの維持管理体制は、対象 9 コミューンにおいて機能しており、リフォーム導入前と比較して給水稼働率は向上している。また、パイロット 3 コミューンにおける住民の衛生行動も着実に改善している。さらには、追加 11 コミューンにおいても AUE の形成は成功裏に完了している。このように、本終了時評価調査時点において、プロジェクト活動の実施及び成果の達成を通じてプロジェクト目標は既に達成されている。

プロジェクト目標達成の貢献要因としては、本プロジェクトが水分野の国家政策である「リフォー

<sup>18</sup> 但し、本終了時評価調査時点において、水・衛生分野はブルキナファソ国における重点分野から外れている。

ム」を中央プラトー地方で実施する事業であったことから、C/P が幹部から現場普及員に至るまで組織的に高いコミットメントを持ってプロジェクト活動に取り組めたことが挙げられる。また、AUE 形成を担ったローカルコンサルタントである ANTEA Burkina Faso 社が、既に北部地方においてリフォーム政策の実施に関与した経験を持っていたために適切な研修を実施できたことも重要な要因として指摘できる。

### 3-3 効率性

投入の実施状況及び活用という観点から見て、効率性はやや高い。

基本的に投入は計画通り実施され、AUE の形成、ポンプ修理工を中心とした修理体制の整備、住民の衛生行動改善、DPAH によるモニタリング・評価活動に関わる成果は達成されている。また、対象 9 コミューンにおける AUE の能力強化も一定程度達成されている。水料金徴収については未だ十分な状況にはないが、金銭に絡む行動変容は、より長い時間軸で捉えるのが適切と考えられる。

### 3-4 インパクト

上位目標の達成見込み及び波及効果という観点から見て、インパクトはやや高い。

本終了時評価調査時点において、AUE は機能し、給水ポンプの稼働率は向上しているが、2015 年の時点で深井戸にアクセスできる住民の割合及び給水ポンプの稼働率が中央プラトー州レベルで改善するためには、プロジェクト終了後も普及員（ZAT/UAT）による AUE 支援が継続されることが不可欠である。現在、2013 年のリフォーム実施予算はプロジェクトの C/P 予算として一部確保されているが、2014 年以降については、中央プラトー地方局によってセクター財政援助予算への申請が行われているものの、予算確保については未定である。また、衛生活動については、対象がパイロット 3 コミューンに絞られており、中央プラトー地方全域に展開する計画・予算は策定されていないため、地方全体として住民の衛生行動が改善されることは見込まれない。

また、波及効果として、本プロジェクトで作成した衛生啓発・教育教材が衛生・汚水・廃棄物総局の意向によって全国的に普及していくことが計画されている。このため、衛生・汚水・廃棄物総局は、国内全 13 地方の関係行政機関及びドナー・NGO の参加を得てワークショップを開催し、当該教材の内容に関する情報を共有した上で改訂のためのフィードバックを収集した。今後は、フィードバックを基に教材の改訂を行い、全国に教材を配布する予定である。また、水資源総局においても、総局長をはじめとする総局幹部が本プロジェクトの成果を高く評価しており、本プロジェクトが現在作成しているマニュアルを改訂する形でリフォーム推進に関わる全国版のマニュアルを策定し、全国に普及していく意向を持っている。なお、負のインパクトは特に観察されていない。

### 3-5 持続性

協力終了後におけるプロジェクト効果の発現維持という観点から見て、持続性は中庸である。

政策面に関し、「ブ」国政府が進めているリフォームは、今後も村落の給水セクターにおける主要政策として推進され続けるものと推察される。

技術面に関し、給水ポンプの修理自体は既に長年にわたって地域の修理工が担ってきており、本プ

プロジェクトを通じて実施された諸研修による技術力改善を含め、特段の課題は見られない。また、住民の衛生行動については、例えば手洗い、トイレ使用、井戸周り清掃など、既に変容していることが確認されている。しかし、積極的な住民アニメーター及び教員による働き掛けが継続しない場合には、新たな行動様式が定着すると断定することは難しく、当該行動が習慣化する可能性は見込まれるものの、現段階で持続性が担保されているとは判断できない。

組織・財政面について、既に繰り返し述べた通り、AUE の能力強化はまだ十分な水準に達しておらず、またコミューン行政による AUE の支援体制も整備されていない。AUE の組織的持続性は、リフォームに対する理解が住民の間で共有されることによって成立するが、本プロジェクトの対象 9 コミューンでは、リフォーム導入後、実質的に二年しか経過していないため、大半の AUE ではリフォームを理解しない住民が一定数存在する。彼らは、水料金を支払わずに水を利用することから、他の住民の支払い意欲を減退させる。このような状態が継続すると、AUE が水料金を徴収できず、ポンプ修理が滞り、結果として安全な水へのアクセスが断ち切られる。このため、全住民がリフォームに対する理解を共有する段階に達するまでは、普及員（ZAT/UAT）による AUE 支援が欠かせない。2013 年については既に中央プラトー地方がリフォーム予算（普及員活動予算）を確保しているものの、2014 以降については未定である。また、コミューン行政の体制構築についても、政府の予算制約があることから時間がかかるものと見込まれる。従って、本終了時評価調査時点において組織面の持続性が確保されていると判断することは出来ず、今後も更なる組織強化支援が必要である。



## 第4章 結論

本プロジェクトの実施を通じて、中央プラトー地方の全 20 コミューンにおいて AUE が形成され、このうちの対象 9 コミューンにおいてコミュニティ行政と AUE、コミュニティ行政と修理業者間で給水施設の維持管理及び修理に関する契約が締結された。また、給水施設の維持管理及び修理に関する AUE 及び修理業者の能力が強化された。但し、AUE の能力は期待された水準に達している訳ではなく、支払い能力のあるすべての住民がリフォームの意義を理解し、AUE が水料金を適切に徴収できるよう引き続き能力強化が必要である。また、対象コミュニティのうちのパイロット 3 コミューンでは、住民の衛生行動が改善された。モニタリングに関しては、農業水利省の普及員（ZAT/UAT）による AUE 訪問を通じた情報収集・助言などの活動が実施されるようになった。これらの成果は、C/P である農業水利省水資源総局及び衛生・汚水・廃棄物総局の幹部より極めて高い評価を得ており、総局として、本プロジェクトの成果を基に教材・マニュアルを策定し、全国的に普及していく意向であることが示されている。

評価 5 項目については、妥当性・有効性が高く、効率性・インパクトはやや高いと判断した。持続性については、AUE の能力強化のため引き続き普及員による支援が必要であるものの、本終了時評価調査時点では普及員支援に関する 2014 年以降の予算措置が不透明であること、及び、コミュニティ行政による AUE 支援体制が整備されていないことから、中庸であると判断した。よって本プロジェクトはプロジェクト期間内にプロジェクト目標を達成見込みであり、予定通り終了することが適切であると判断する。



## 第5章 提言と教訓

### 5-1 提言

評価結果を踏まえ、本終了時評価調査団はプロジェクト関係者に対して以下の提言を行う。

#### ▶ プロジェクト成果の共有

本プロジェクトでは、AUE 形成や衛生行動改善の方法論など、リフォーム実施プロセスにおいて必要となる有用な知見を生み出している。そして、これらの知見をマニュアルとして取り纏めるべく、既に作業が進められている。プロジェクト関係者は、これらの知見が各地方におけるリフォーム実施主体と着実に共有され、有効活用されるよう、プロジェクト成果及びマニュアル作成に関する情報を関係機関に対して伝達していくことが期待される。また、今後のリフォーム実施の中で現れる課題に対する解決方法についても、Lessons Learned の形でマニュアルに取り込まれていくことが期待される。

#### ▶ 2014 年以降の予算確保に向けた働きかけ

上述した通り、AUE が組織的持続性を確保するためには、全住民がリフォームの意義を共有し、支払い能力を持つ全住民による水料金支払いが習慣化するまで、普及員（ZAT/UAT など）による村落訪問を通じた啓蒙活動が必要である。プロジェクト終了後、2013 年については既に ZAT/UAT の活動支援予算が確保されているが、2014 年度以降の予算確保については今後の課題となっている。水資源総局をはじめとする農業水利省関係部局は、2014 年度以降についても中央プラトー地方におけるリフォーム予算が確保されるよう関係諸機関に対して働きかけを行うことが期待される。

#### ▶ 衛生啓発を担う住民アニメーターへのインセンティブ

パイロット 3 コミュニティの各村落では、既に住民の衛生行動が変容しているが、新しい衛生行動が習慣として定着するためには、育成された住民アニメーターがプロジェクト終了後も活動を続けることが望ましい。このため、コミュニティ行政は、農業水利省、国民教育・識字化省、保健省などの関係省庁と連携して、例えば衛生コンクールの開催など、住民アニメーターの意欲を維持する活動を支援することが望ましい。

#### ▶ 衛生啓発活動の拡大

プロジェクトで作成された衛生啓発マニュアルは、今後、全国普及版として改訂される予定であるが、今後は同マニュアルの活用を通じて、他コミュニティや他州において衛生啓発活動が実施されることを期待する。また、学校レベルでの衛生活動については、国民教育・識字省と連携しつつ、学校運営委員会を活用した衛生啓発活動の実施が望ましく、これらの活動に対する衛生・汚水・廃棄物総局からの予算措置が期待される。

#### ▶ コミュニティの能力強化

コミュニティ行政に関しては、一部でドナー／NGO の資金支援によって水・衛生課が設置されているものの、コミュニティ予算による水・衛生分野での人材配置及び活動実施はまだ行われていない。リフォームは、本来、コミュニティに対して給水施設維持管理権を移譲するものであるため、今後は、関係各機関がコミュニティにおける水・衛生分野の担当課設置・人材配置・予算配分に向けた支援を行うことが望まれる。その際、中央政府から派遣されているフォーカルポイントなど、既存の有為な人材

を活かすことが期待される。

## 5-2 教訓

本プロジェクトの経験を通じ、類似の他案件にも適用し得ると考えられる教訓は以下のとおりである。

### ➤ 人々の習慣及び行動の変容を必要とするプロジェクトは成果産出までに時間を要する

本プロジェクトは、形式的には、水管理組合を形成して組合による給水施設の維持管理を推進するものであるが、住民の立場から見ると、「井戸水はタダで、近所の人々で利用するもの」という習慣の中で生活してきた彼らに対して、「井戸水は有料で、村落全体で管理するもの」という新たな認識・行動様式を求めるものであると捉えることが出来る。このような人々の行動変容を必要とするプロジェクトは、人々が新しいメカニズムの意義を理解し、かつ日常の習慣として定着することで持続性を確保することが出来ると考えられるが、これには時間がかかる（5年程度のプロジェクト期間は最低限必要であると思われる）。

本終了時評価調査では、AUEによる水料金の徴収が十分に出来ていないため、成果2については達成されたという段階には達していない、と判断された。しかし、対象9コミュニティのAUEが、水料金の徴収を含め、実質的に給水施設管理活動を開始したのは2011年からであり、水料金の徴収という金銭に絡む行動様式を二年という期間（すなわち、水料金の徴収二回）で変容させるのは容易なことではない。従って、このような人々の習慣や行動の変容を前提とする成果は、行動変容を前提としない成果よりも長い時間軸で成果産出を捉えるべきである。

### ➤ 本邦研修の多面的な意義

農業水利省幹部による本邦研修の成果については、C/P及び専門家の双方から大変に高い評価が与えられた。これは、本邦研修中、日本人専門家がC/Pと共に行動し、プロジェクトの意義や内容について意見交換を行い、高い水準で共有出来たことによるが、その結果、両者間の意思疎通は格段に高まり、プロジェクト運営が大変にスムーズになった。ブルキナファソ国内でも同様な意見交換は行われていたが、本邦研修中によるコミュニケーションという状況設定が効果をもたらしたものと思われる。

## 調査日程

月日	曜日	評価分析、通訳	JICA 団員
1月24日	木	Haneda 01:30 --> Paris 06:20 (AF283), Paris 10:55 --> Ouagadougou 17:40 (AF548)	
1月25日	金	JICA 事務所及び専門家との打ち合わせ	
1月26日	土	データ整理	
1月27日	日	データ整理	
1月28日	月	AM:MAH-DGRE 表敬、DGAEUE 表敬 PM:DRAH/PCL 表敬、合同評価メンバーと打合せ	
1月29日	火	AM:Toeghin にて聞き取り PM:Bousse にて聞き取り	
1月30日	水	AM:Zorgho にて聞き取り PM:Zam にて聞き取り	
1月31日	木	AM:PACOGES 専門家への聞き取り PM:Dapelogo にて聞き取り	
2月1日	金	AM:Ziniare にて聞き取り PM:Zitenga にて聞き取り	
2月2日	土	報告書作成	
2月3日	日	報告書作成	
2月4日	月	AM:DRAH/PCL への聞き取り PM:専門家への聞き取り	Haneda 01:30 --> Paris 06:20 (AF283), Paris 10:55 --> Ouagadougou 17:40 (AF548)
2月5日	火	AM:JICA 事務所にて打合せ PM:合同評価メンバーとの打合せ、専門家への聞き取り	
2月6日	水	AM:MAH-DGRE 表敬、MAH-DGAEUE 表敬、AFD への聞き取り PM:世界銀行への聞き取り、GIZ への聞き取り	
2月7日	木	AM:DRAH/PCL 表敬、Dapelogo サイト視察 PM:調査結果に関する団内協議	
2月8日	金	報告書に関する合同評価メンバーとの協議 農業水利省事務次官表敬	Ameli-eaur サイト視察
2月9日	土	団内打ち合わせ	
2月10日	日	団内打ち合わせ	
2月11日	月	合同評価メンバー打ち合わせ、ミニッツ協議	
2月12日	火	合同評価メンバー打ち合わせ	ONEA 研修センターでの聞き取り
2月13日	水	JCC 開催、日本大使館報告	
2月14日	木	ミニッツ署名、JICA 事務所報告 Ouagadougou 21:10 AF547	
2月15日	金	移動 (→Paris 着 06:00、Paris 発 11:00 AF282)	
2月16日	土	羽田着 06:55	



## 主な面談者

### 1. 農業水利省<sup>A</sup>

M. Jacob OUEDRAOGO	事務次官
M. Ousseini THANOU	水資源総局 総局長
M. BINGBOURE Jean Mathieu	水資源総局 飲料水局長
Marie SONDO	衛生・汚水・廃棄物総局 総局長
Josephine OUEDRAOGO	衛生・汚水・廃棄物総局 衛生技術及び建設物開発局長
Mme. TAPSOBA Gisèle	中央プラトー地方局長

### 2. 日本大使館

迫 久展	公使参事官
遠藤聡子	専門調査員

### 3. JICA 事務所

森下拓道	所長
岡田 綾	事務所員
Gansore Cheik Assane Moctar	プログラム担当

<sup>A</sup> 2013年1月初頭、農業水利省は農業省と水・水利・衛生省に分離されたが、本報告書では農業水利省として記述する。



PDM

プロジェクトの要約	指標	指標の入手手段	外部条件
<p><b>(上位目標)</b> 中央プラトー地方における保健・衛生環境が改善される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年までに改善された水源を継続的に利用できる人口の割合が現在の7割から8割以上になる。</li> <li>・2015年までに給水施設の常時稼働率が現在の7割から8割以上になる。</li> <li>・2015年までに住民の、水を取り巻く衛生行動が改善される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給水施設の管理システム改革に関する報告</li> <li>・農業・水利・水資源省水資源総局・衛生汚水排泄物総局(DGRE・DGAEUE)作成インベントリ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の水源が確保される。</li> <li>・給水施設維持管理システム改革に関する政策が変更されない。</li> <li>・給水システムの給水能力が現在のレベルを下回らない。</li> <li>・農業・水利省県局(DPAH)やコミュニティが、ZAT及びUATとともに啓発活動を行う人員及び予算面での体制を保证する。</li> </ul>
<p><b>(プロジェクト目標)</b> 対象コミュニティ(ウブリテンガ県全コミュニティ、ガンズルグ県とクルウェオゴ県のパイロットコミュニティ)の給水施設の稼働率が現在の7割から8割に向上する。 追加11コミュニティ(ガンズルグ県7コミュニティならびにクルウェオゴ県4コミュニティ)において、給水施設維持管理システム改革に基づく実施体制が構築される。 パイロット3コミュニティ(ウブリテンガ県、ガンズルグ県及びクルウェオゴ県のパイロットコミュニティ)の住民の、水を取り巻く衛生行動(10項目)の少なくとも6割が改善される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象9コミュニティ(ウブリテンガ県全コミュニティ、ガンズルグ県とクルウェオゴ県のパイロットコミュニティ)の給水施設の稼働率が現在の7割から8割に向上する。</li> <li>・追加11コミュニティ(ガンズルグ県7コミュニティならびにクルウェオゴ県4コミュニティ)において、給水施設維持管理システム改革に基づく実施体制が構築される。</li> <li>・パイロット3コミュニティ(ウブリテンガ県、ガンズルグ県及びクルウェオゴ県のパイロットコミュニティ)の住民の、水を取り巻く衛生行動(10項目)の少なくとも6割が改善される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト報告書</li> <li>・給水施設インベントリ(INOH)</li> <li>・活動モニタリングシート</li> <li>・プロジェクト報告書</li> <li>・活動モニタリングシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術を習得した職員が勤務を継続する。</li> </ul>
<p><b>(成果)</b> 0. PDMの指標が確定する。</p>			
<p>1. 対象コミュニティで維持管理システムの改革に則った組織体制が整う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象コミュニティの9割以上のZAT・UAT普及員が研修を受講し、8割以上の普及員が確認テストに合格する。</li> <li>・2010年5月末までに、パイロット3コミュニティのAUEが形成される。</li> <li>・2011年2月までにパイロット3コミュニティと同コミュニティの8割の水利利用者組合(AUE)との間で、給水施設運営維持管理にかかる協定が締結される。</li> <li>・2011年6月までにウブリテンガ県のパイロットコミュニティ以外のコミュニティのAUEが形成される。</li> <li>・2012年2月までにウブリテンガ県のパイロットコミュニティ以外のコミュニティと同コミュニティの8割のAUEとの間で、給水施設運営維持管理にかかる協定が締結される。</li> <li>・2012年5月までに、追加11コミュニティのAUEが形成される。</li> <li>・2012年12月までに、追加11コミュニティと同コミュニティの1AUEとの間で、給水施設運営維持管理にかかる協定が締結される。</li> <li>・2013年2月までに、対象コミュニティと同コミュニティの8割の給水ポンプ修理業者との間で、保守・点検にかかる委託契約が締結される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトの活動報告</li> <li>・AUE許認可証明書</li> <li>・コミュニティ-AUE間の給水施設維持管理委託協定</li> <li>・AUE許認可証明書</li> <li>・コミュニティ-AUE間の給水施設維持管理委託協定</li> <li>・AUE許認可証明書</li> <li>・コミュニティ-AUE間の給水施設維持管理委託協定</li> <li>・コミュニティ-給水ポンプ修理業者間の保守・点検巡回契約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術を習得した職員が勤務を継続する。</li> <li>・研修を受講した職員が継続的にプロジェクトの活動に介入する。</li> <li>・給水施設の所有権がコミュニティに移譲される。</li> </ul>
<p>2. 村落組織の給水施設運営維持管理能力が強化される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年11月末までに、ウブリテンガ県のパイロットコミュニティの7割以上のAUEがコミュニティに対し水料金の賦課金を支払えるようになり、7割以上の水場委員会(CPE等)が必要な水料金の7割を徴収できるようになる。</li> <li>・プロジェクト終了時までに、パイロットコミュニティ以外のコミュニティの7割以上のAUEがコミュニティに対し水料金の賦課金を支払えるようになり、7割以上の水場委員会が必要な水料金の7割を徴収できるようになる。</li> <li>・プロジェクト終了時までに、11追加コミュニティの7割以上のAUEが水料金の徴収・会計管理などの活動を開始する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトの活動報告</li> <li>・研修を受講した職員へのアンケート</li> <li>・モニタリング評価報告書</li> <li>・コミュニティに提出されるAUE活動報告書</li> </ul>	
<p>3. 給水施設運営維持管理にかかるスペアパーツ供給及び修理体制が改善される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年10月までに、3パイロットコミュニティおよび6ウブリテンガ県のコミュニティにおいて、給水ポンプ修理業者がコミュニティより要請された保守・点検件数の6割以上に対応できるようになる。</li> <li>・スペアパーツの交換に必要な情報(店舗情報、発注手順)を中央プラトー地方全20コミュニティが所有している。</li> <li>・軽微な修理にかかる期間が1ヶ月以内に短縮される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング評価報告書</li> <li>・モニタリング評価報告書</li> <li>・コミュニティに提出される給水ポンプ修理業者報告書</li> </ul>	
<p>4. 中央プラトー地方のパイロット3コミュニティにおける村落住民の衛生行動が改善される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生改善の啓発・教育プログラム及びマニュアルが作成される。</li> <li>・パイロット3コミュニティの村落で衛生啓発・教育プログラムの実施者(教員、保健所員、行政機関の衛生担当者、住民アニメーター)が600名以上育成される。</li> <li>・パイロット3コミュニティの村落で衛生啓発・教育プログラムの実施者による衛生改善の啓発活動が毎年6回以上実施される。</li> <li>・公共衛生設備維持管理マニュアルを作成され、公共衛生設備・行動の管理システムが構築される。</li> <li>・公共衛生設備維持管理マニュアルに基づき、衛生施設・行動に係る、モニタリング・評価が各サイトにおいて年2回以上行われる。</li> <li>・公共衛生設備(学校等の公共トイレ)が住民自身によって維持管理される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト報告書</li> <li>・作成されたマニュアル・ツール</li> <li>・モニタリングシートならびに報告書</li> <li>・研修報告書</li> <li>・モニタリングシート</li> <li>・作成されたマニュアル</li> <li>・モニタリングシート</li> <li>・プロジェクト報告書</li> <li>・モニタリングシート</li> </ul>	
<p>5. 各県のDPAHが給水及び衛生状況のモニタリング・評価を実施し、コミュニティに対し支援が行えるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2010年より年2回、各DPAHによる村落の給水施設稼働率、AUEの財務状況、水場委員会の水料金徴収率及び給水ポンプ修理業者の給水施設の保守・点検状況にかかるモニタリング・評価が実施される。</li> <li>・2010年より年2回、各DPAHによる衛生改善状況にかかるモニタリング・評価が実施される。</li> <li>・モニタリング・評価の結果必要とされた支援・助言のうち7割が、各DPAHの指示に基づき実施される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト報告書</li> <li>・モニタリングシート</li> <li>・プロジェクト報告書</li> <li>・モニタリングシート</li> <li>・プロジェクト報告書</li> <li>・モニタリングシート</li> </ul>	



(活動)	(投入)	外部条件
<p>0-1) プロジェクト開始時における対象3県の給水率、施設稼働率、衛生設備普及率、マニュアル等の整備状況等を確認するため、ベースライン調査を実施する。</p> <p>1-1) 0-1)の調査結果を踏まえ、農業・水利省中央プラトー地方局(DRAH/PCL)が技術支援ゾーン/技術指導ユニット(ZAT/UAT)に対する研修計画を立てる。</p> <p>1-2) 研修計画に基づき、必要に応じ、既存のマニュアルを改訂する。</p> <p>1-3) 3県で活動しているZAT・UATに対し、DPAHが給水施設運営維持管理能力強化プログラムの研修を実施する。</p> <p>1-4) DPAHがZAT・UATに対し研修の確認テストを実施する。</p> <p>1-5) 3県からパイロットコミュニティを各1箇所選定する。</p> <p>1-6) ZAT・UAT等がパイロットコミュニティにおける給水施設運営維持管理の方針について啓発活動を支援する。</p> <p>1-7) ZAT・UAT等が、パイロットコミュニティでAUEを形成を支援する。</p> <p>1-8) パイロットコミュニティのZAT・UAT等がコミュニティ-AUE間の協定及びコミュニティ-修理業者間の委託契約締結を促進する。</p> <p>1-9) ウブリテンガ県のパイロットコミュニティ以外のコミュニティについて、ZAT・UAT等がAUEを形成を支援する。</p> <p>1-10) ウブリテンガ県のパイロットコミュニティ以外のコミュニティについて、ZAT・UAT等がコミュニティ-AUE間の協定及びコミュニティ-修理業者間の委託契約締結を促進する。</p> <p>1-11) ZAT・UAT等が、11コミュニティでAUE形成を支援する。</p> <p>1-12) 11追加コミュニティについて、ZAT・UAT等がコミュニティ-AUE間の協定締結を促進する。</p>	<p>日本側</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●専門家派遣</li> <li>1. チーフアドバイザー(組織能力強化/村落給水)</li> <li>2. 衛生管理</li> <li>3. 給水施設運営維持管</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ローカルコンサルタント・NGOとの活動契約(ZAT及びUATと共同での村落に対する組織形成促進活動)</li> <li>●機材供与: 車両及び広報に必要な機材</li> <li>●現地活動費: ベースライン調査費、給水施設運営維持管理の研修実施費、公共衛生設備整備費用</li> </ul>	
<p>2-1) パイロットコミュニティのZAT・UAT等が、同コミュニティのAUEに対する会計・財務管理業務、及び、水場委員会に対する水料金徴収を支援する。</p> <p>2-2) パイロットコミュニティ以外のZAT・UAT等が、それぞれのコミュニティのAUEが実施する会計・財務管理業務、及び、水場委員会に対する水料金徴収を支援する。</p> <p>2-3) 11追加コミュニティのZAT・UAT等が、それぞれのコミュニティのAUEが実施する会計・財務管理業務、及び、水場委員会に対する水料金徴収を支援する。</p>		
<p>3-1) 各県のDPAH等がポンプ種別スペアパーツ販売店の所在とその在庫状況を調査し、スペアパーツ供給にかかる問題点を抽出する。</p> <p>3-2) 各県のDPAH等がスペアパーツ供給にかかる問題点の改善策に基づき、スペアパーツの購入に必要な情報と手段を整理しとりまとめ、全コミュニティに共有する。</p> <p>3-3) 各県のDPAH等が給水ポンプ修理業者に対し給水ポンプ修理の講習を行う。</p>	<p>ブルキナファソ側</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●カウンターパートの配置</li> <li>●補助的人材(秘書、経理、ドライバー、ガードマン等)の雇用</li> <li>●専門家及びプロジェクトスタッフのための事務所スペースと光熱費</li> <li>●資料・情報の提供</li> <li>●衛生設備整備に必要な一部の資材</li> </ul>	
<p>4-1) MAHの衛生汚水排泄物総局が保健及び基礎教育・識字化地方局と協力し、既存の衛生啓発プログラム及び実施体制を参考にしつつ、衛生改善の啓発・教育プログラム及び教材を作成する。</p> <p>4-2) 保健及び基礎教育・識字化地方局がパイロットコミュニティにおいて、衛生啓発・教育の実施者(学校教員、保健所員、行政機関の衛生担当者、住民アニメーター等)に対し4-1)で作成した教材に基づき研修を行う。</p> <p>4-3) 衛生啓発・教育の実施者がパイロットコミュニティの村落・小学校で、衛生改善の啓発・教育プログラムを実施する。</p> <p>4-4) 保健及び基礎教育・識字化地方局と共に公共衛生設備維持管理マニュアルを作成する(このマニュアルにより公共衛生設備が管理されているかチェックをするシステムを構築する)。</p> <p>4-5) 衛生啓発・教育の実施者が公共衛生設備を維持管理する住民組織の形成を支援する。</p>		
<p>5-1) 各DPAHが給水及び衛生改善状況にかかる情報収集が必要な項目のリスト、データ記入用のフォーム等を作成する。</p> <p>5-2) 対象コミュニティがAUEから給水及び衛生改善状況に係る情報を収集し、DPAHに報告する。</p> <p>5-3) 各DPAHが技術面での情報提供及び技術者の派遣等を行う関係機関の支援体制を構築する。</p>		



## 投入実績

## 1. 日本側投入

## (1) 専門家派遣

専門家氏名	指導科目	派遣期間(第4年次は予定含む)
小野健	総括・組織能力強化1・村落給水	第1年次: 2009年8月1日-12月13日 2010年1月12日-3月15日 2010年4月12日-5月26日 第2年次: 2010年7月4日-7月9日 2010年8月1日-10月29日 2010年11月23日-12月23日 2011年1月23日-5月1日 第3年次: 2011年8月8日-11月19日 2012年1月4日-4月2日 2012年4月21日-6月29日 第4年次: 2012年8月27日-11月12日 2013年1月7日-3月4日 2013年3月17日-4月30日
大野明子	衛生改善計画・教育1	第1年次: 2009年10月1日-5月19日 (12月16日-1月5日は一時帰国) 第2年次: 2010年8月23日-12月2日 2011年1月4日-5月1日
杉本記久恵	衛生改善計画・教育2	第1年次: 2009年8月12日-10月10日 2010年4月12日-5月5日
深林真理	衛生改善計画・教育1	第3年次: 2012年4月22日-6月29日 第4年次: 2012年8月27日-10月5日 2013年1月14日-2月17日 2013年4月1日-4月30日
西山範之	衛生改善計画・教育2	第3年次: 2011年8月8日-10月6日 2011年12月20日-2012年1月12日
高見沢清子	給水施設運営維持管理1	第1年次: 2010年1月25日-2月23日 2010年4月25日-5月24日 第2年次: 2010年9月25日-10月24日 2011年2月6日-3月7日 第3年次: 2011年8月13日-8月31日 2011年10月17日-11月17日 2012年1月29日-3月7日 2012年5月2日-5月31日 第4年次: 2012年9月23日-10月8日 2013年1月26日-2月9日 2013年3月15日-4月13日
末広直子	給水施設運営維持管理2	第1年次: 2009年11月24日-12月23日 第2年次: 2011年2月26日-3月12日 2011年3月31日-4月14日
小塚渚	給水施設運営維持管理2	第4年次: 2012年6月30日-8月28日 2013年2月1日-3月23日
菅井純	組織能力強化3	第3年次: 2011年12月20日-2012年1月31日 2012年3月2日-6月29日
冨塚孝則	業務調整/組織能力強化2	第2年次: 2010年8月1日-11月10日* 2011年1月4日-2011年2月2日 2011年3月20日-4月30日 第3年次: 2012年4月1日-6月29日 第4年次: 2012年9月23日-11月30日* 2013年3月17日-4月30日
江刺和広	業務調整/組織能力強化2	第1年次: 2009年8月1日-12月13日
石井綾乃	業務調整/研修監理	第4年次: 2012年10月2日-2012年11月30日

\* 自社負担分を含む派遣期間

## 添付資料 4

## (2) 本邦研修

研修員氏名	受入期間	協力分野名	研修内容及び受入機関	当時の役職
OUEDRAOGO Josephine	2009年1月25日～2月14日	給水・衛生管理	日本の給水・衛生行政(東京都水道局、札幌市水道局等)、給水施設維持管理技術・衛生普及手法等(北海道大学、藤女子大学等)	衛生・汚水・廃棄物総局衛生技術・施設開発局長
LOMPO Joanna Marie Delphine	同上	同上	同上	中央プラトー地方局水資源部長
COMPAORE Adama	2010年1月29日～2月6日	給水・衛生管理「高官」	日本の給水・衛生行政の理解(京都市上下水道局)、農業分野の取り組みの理解(滋賀県)等	農業・水利・水産資源省事務次官
OUEDRAOGO M.Robert	同上	同上	同上	農業・水利・水産資源省作物生産総局長
BINGBOURE Jean Mathieu	2011年1月9日～22日	給水・衛生管理	日本の給水・衛生行政の理解(東京都水道局)、給水施設維持管理技術・衛生普及手法(有明水再生センター、東京サンツール等)	水資源総局・飲料水供給局長
TAPSOBA Gisele	同上	同上	同上	中央プラトー地方局長
MAIGA Moussa	同上	同上	同上	調査・計画局長
PALENFO Foussemi	同上	同上	同上	衛生・汚水・廃棄物総局・水質汚濁有害液体対策長
NAKOULMA Boukare	同上	同上	同上	農業・水利省クルウェゴ県局長

## (3) 供与機材

機材番号	現地到着時期	機材名	型式	メーカー	購入価格(円)	設置場所	使用目的	現在の稼働状況
1	2009年11月	バイク	YBR125	YAMAHA	196,460	ウブリテンガ県局	村落巡回や活動のモニタリングなど	良好
2	2009年11月	バイク	YBR125	YAMAHA	196,460	カンズルグ県局	村落巡回や活動のモニタリングなど	良好
3	2009年11月	バイク	YBR125	YAMAHA	196,460	クルウェゴ県局	村落巡回や活動のモニタリングなど	良好
4	2009年11月	バイク	YBR125	YAMAHA	196,460	ウブリテンガ県局	村落巡回や活動のモニタリングなど	良好
5	2009年11月	バイク	YBR125	YAMAHA	196,460	ウブリテンガ県局	村落巡回や活動のモニタリングなど	良好
6	2009年11月	バイク	YBR125	YAMAHA	196,460	ウブリテンガ県局	村落巡回や活動のモニタリングなど	良好
7	2009年11月	バイク	YBR125	YAMAHA	196,460	ウブリテンガ県局	村落巡回や活動のモニタリングなど	良好
8	2009年11月	バイク	YBR125	YAMAHA	196,460	ウブリテンガ県局	村落巡回や活動のモニタリングなど	良好
9	2009年11月	バイク	YBR125	YAMAHA	196,460	ウブリテンガ県局	村落巡回や活動のモニタリングなど	良好
10	2009年11月	デスクトップパソコン	DX2400	HP Compaq	123,310	地方局	資料等の作成	良好
11	2009年11月	デスクトップパソコン	DX2400	HP Compaq	123,310	地方局	資料等の作成	良好
12	2009年11月	デスクトップパソコン	DX2400	HP Compaq	123,310	プロジェクト事務所	資料等の作成	良好
13	2009年11月	デスクトップパソコン	DX2400	HP Compaq	123,310	プロジェクト事務所	資料等の作成	良好
14	2009年11月	デスクトップパソコン	DX2400	HP Compaq	123,310	水資源総局	資料等の作成	良好

## 添付資料 4

機材番号	現地到着時期	機材名	型式	メーカー	購入価格(円)	設置場所	使用目的	現在の稼働状況
15	2009年11月	デスクトップパソコン	DX2400	HP Compaq	123,310	ウブリテンガ県局	資料等の作成	良好
16	2009年11月	デスクトップパソコン	DX2400	HP Compaq	123,310	ガンスルグ県局	資料等の作成	良好
17	2009年11月	デスクトップパソコン	DX2400	HP Compaq	123,310	クルウェオゴ県局	資料等の作成	良好
18	2009年11月	無停電電源装置(UPS)	1200VA	Onduleur mercury	12,540	地方局	停電対策	良好
19	2009年11月	無停電電源装置(UPS)	1200VA	Onduleur mercury	12,540	地方局	停電対策	良好
20	2009年11月	無停電電源装置(UPS)	1200VA	Onduleur mercury	12,540	プロジェクト事務所	停電対策	良好
21	2009年11月	無停電電源装置(UPS)	1200VA	Onduleur mercury	12,540	プロジェクト事務所	停電対策	良好
22	2009年11月	無停電電源装置(UPS)	1200VA	Onduleur mercury	12,540	水資源総局	停電対策	良好
23	2009年11月	無停電電源装置(UPS)	1200VA	Onduleur mercury	12,540	ウブリテンガ県局	停電対策	良好
24	2009年11月	無停電電源装置(UPS)	1200VA	Onduleur mercury	12,540	ガンスルグ県局	停電対策	良好
25	2009年11月	無停電電源装置(UPS)	1200VA	Onduleur mercury	12,540	クルウェオゴ県局	停電対策	良好
26	2009年11月	ラップトップパソコン	L550-17P	TOSHIBA	120,175	地方局	地方でのワークショップや研修など	
27	2009年11月	コピー機	IR2016	CANON	130,625	地方局	資料等の複写	
28	2009年11月	レーザーカラープリンター	4650	HP	313,500	地方局	資料等の印刷	修理中
29	2009年11月	レーザーカラープリンター	4650	HP	313,500	プロジェクト事務所	資料等の印刷	修理中
30	2009年11月	レーザーカラープリンター	4650	HP	313,500	水資源総局	資料等の印刷	良好
31	2009年11月	レーザー白黒プリンター	M1120	HP	31,350	プロジェクト事務所	資料等の印刷	良好
32	2009年11月	レーザー白黒プリンター	M1120	HP	31,350	ウブリテンガ県局	資料等の印刷	良好
33	2009年11月	レーザー白黒プリンター	M1120	HP	31,350	ガンスルグ県局	資料等の印刷	良好
34	2009年11月	レーザー白黒プリンター	M1120	HP	31,350	中央プラト-地方局	資料等の印刷	
35	2009年11月	レーザー白黒プリンター	M1120	HP	31,350	クルウェオゴ県局	資料等の印刷	修理中
36	2009年11月	プロジェクター	EB-X&	EPSON	125,400	プロジェクト事務所	ワークショップやセミナーの開催など	良好
37	2012年6月	バイク	YBR125	YAMAHA	166,770	ウブリテンガ県局	村落巡回や活動のモニタリングなど	良好
38	2012年6月	バイク	YBR125	YAMAHA	166,770	ガンスルグ県局	村落巡回や活動のモニタリングなど	良好

添付資料 4

(4) ローカルコスト(日本円換算、2012年12月末現在)

項目	金額 (第1年次)	金額 (第2年次)	金額 (第3年次)	金額 (第4年次)	計 (第1~4年次)
備人費	3,030,058	2,756,221	4,563,027	1,660,687	12,009,993
機材保守・管理費	426,423	440,488	1,151,950	629,265	2,648,126
消耗品	1,490,426	1,418,445	2,002,385	688,434	5,599,690
旅費・交通費	627,288	1,842,035	7,239,217	1,925,766	11,634,306
通信運搬費	97,449	156,085	155,335	10,373	419,242
資料等作成費	727,958	2,321,474	3,128,951	289,551	6,467,934
借料損料	1,093,635	225,480	552,600	353,640	1,872,069
現地研修費	546,607	4,284,812	17,594,987	2,288,738	24,715,144
雑費	56,989	50,630	215,855	20,150	343,624
供与機材・携行機材購入費	4,248,460	183,000	683,540		5,115,000
報告書作成費	300,000	620,000	619,048		1,539,048
ローカルコンサルタント契約	11,942,426	29,722,894	40,596,288	9,001,348	91,262,956
会議費	24,120	46,342	69,316		139,778
計(日本円)	24,611,839	44,098,906	78,572,498	16,867,952	164,151,195

2. ブルキナファソ側投入

(1) C/P 配置

役職	人数
農業水利省・水資源総局・飲料水局長	1名
農業水利省・衛生汚水廃棄物総局・衛生技術・施設開発局長	1名
農業水利省中央プラト-地方局長(プロジェクトナショナルコーディネーター)	1名
農業水利省中央プラト-地方局水資源課(SRE)職員	4名
農業水利省ウブリテンガ県局長および SRE 職員	2名
農業水利省クルウェオゴ県局長および SRE 職員	2名
農業水利省クルウェオゴ県局長および SRE 職員	2名
初等教育識字化省中央プラト-地方局 衛生啓発・教育活動担当 C/P	1名
保健省中央プラト-地方局 衛生啓発・教育活動担当 C/P	1名
アブスヤコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省ウブリテンガ県局)	2名
ダヘロコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省ウブリテンガ県局)	3名
ナグレコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省ウブリテンガ県局)	3名
ウルゲー・マネガコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省ウブリテンガ県局)	3名
ルビラコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省ウブリテンガ県局)	5名
ジニャレコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省ウブリテンガ県局)	5名
ジテンガコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省ウブリテンガ県局)	3名
トエゲンコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省クルウェオゴ県局)	1名
ブッセコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省クルウェオゴ県局)	4名
ニューコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省クルウェオゴ県局)	3名
ライコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省クルウェオゴ県局)	2名
スルグビラコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省クルウェオゴ県局)	4名
ゾルゴ-コミュン ZAT/UAT 長(農業水利省ガンスルグ県局)	3名
ブドリコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省ガンスルグ県局)	3名
サムコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省ガンスルグ県局)	2名
コココミュン ZAT/UAT 長(農業水利省ガンスルグ県局)	2名
サロコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省ガンスルグ県局)	2名
メグコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省ガンスルグ県局)	2名
モグテドコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省ガンスルグ県局)	2名
ズングウコミュン ZAT/UAT 長(農業水利省ガンスルグ県局)	1名

## (2) ローカルコスト(FCFA、2012年12月末現在)

項目	金額 (2009)	金額 (2010)	金額 (2011)	金額 (2012)	計 (2009~20102)
配置 C/P 手当		10 800 000	9 120 000	11 780 000	31 700 000
機材保守・管理費、消耗品 (車輛整備費、事務用品、情報機器消耗品等)		14 518 609	9 144 000	12 866 000	36 528 609
車輛燃料費		1 000 000			1 000 000
計(FCFA)		26 318 609	18 264 000	24 646 000	69 228 609



評価グリッド結果:ブルキナファソ国 中央プラトー地方給水施設管理・衛生改善プロジェクト

調査項目		調査の視点/調査事項	結果																												
小項目																															
実績の検証	投入の実施状況	日本側投入(専門家派遣、機材供与、カウンターパート研修、予算)は計画通り実施されているか?	◆ ほぼ計画通り投入されている。																												
		ブルキナファソ側投入(人員、建物・施設、予算)は計画通り実施されているか?	◆ ほぼ計画通り投入されている。																												
	成果の達成状況	成果1: 対象コミュニティで維持管理システムの改革に則った組織体制が整う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ AUE 形成状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>村落数</th> <th>AUE 設置村</th> <th>AUE 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パイロット3コミュニティ</td> <td>75</td> <td>75 (100%)</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>対象コミュニティ (上記3コミュニティを除いた6コミュニティ)</td> <td>191</td> <td>191 (100%)</td> <td>192</td> </tr> <tr> <td>追加11コミュニティ</td> <td>248</td> <td>245 (99%)</td> <td>288</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>◆ コミュニティ・AUE 間の協定締結状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>AUE 数</th> <th>協定締結 AUE 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パイロット3コミュニティ</td> <td>80</td> <td>80 (100%)</td> </tr> <tr> <td>対象コミュニティ (上記3コミュニティを除いた6コミュニティ)</td> <td>192</td> <td>192 (100%)</td> </tr> <tr> <td>追加11コミュニティ</td> <td>288</td> <td>215</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>◆ コミュニティ・修理業者間の委託契約締結状況: 対象9コミュニティには給水ポンプ修理業者が35名存在する。このうち、2012年12月末までに24名(69%)との間で保守点検にかかる委託契約が締結されている。</li> </ul>		村落数	AUE 設置村	AUE 数	パイロット3コミュニティ	75	75 (100%)	80	対象コミュニティ (上記3コミュニティを除いた6コミュニティ)	191	191 (100%)	192	追加11コミュニティ	248	245 (99%)	288		AUE 数	協定締結 AUE 数	パイロット3コミュニティ	80	80 (100%)	対象コミュニティ (上記3コミュニティを除いた6コミュニティ)	192	192 (100%)	追加11コミュニティ	288	215
			村落数	AUE 設置村	AUE 数																										
		パイロット3コミュニティ	75	75 (100%)	80																										
対象コミュニティ (上記3コミュニティを除いた6コミュニティ)	191	191 (100%)	192																												
追加11コミュニティ	248	245 (99%)	288																												
	AUE 数	協定締結 AUE 数																													
パイロット3コミュニティ	80	80 (100%)																													
対象コミュニティ (上記3コミュニティを除いた6コミュニティ)	192	192 (100%)																													
追加11コミュニティ	288	215																													
成果2: 村落組織の給水施設運営維持管理能力が強化される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 2012年10月の時点で対象9コミュニティでは AUE 272 組合が形成されているが、このうち、総会を開催したことがあるのは266組合(98%)、資金の帳簿管理を実施しているのが251組合(92%)、口座を開設したのは241組合(89%)である。また、これまでは、深井戸ポンプの故障に際して修理に要する時間は2週間とも3週間とも言われていたが、2012年10月の時点で軽微な修理にかかる期間は一件あたり5.9日であった(回答のあった193のAUEの平均)。</li> <li>◆ 水料金の徴収について、各 AUE は一年間に住民から徴収する水料金の総額(最低水料金)を設定しているが、2011年~2012年の二年間で、最低水料金の7割を収集した AUE の数はパイロット3コミュニティで18%、パイロットコミュニティを除く対象6コミュニティで6%となっている。</li> <li>◆ AUE からコミュニティに支払う賦課金については、パイロットコミュニティ以外の対象6コミュニティにおいて2012年に7割以上の AUE が賦課金を支払っている。一方、パイロット3コミュニティでは、2011年に7割以上の AUE が賦課金を支払っているものの、2012年に支払いを行った AUE は3割未満に留まっている。</li> </ul>																														
成果3: 給水施設運営維持管理に係るスペアパーツ供給及び修理体制が改善される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ コミュニティより要請された保守・点検件数は9コミュニティ全体で24件あり、すべての要請に対して修理業者は対応している。</li> <li>◆ 全20コミュニティが、修理業者の連絡先/スペアパーツの値段/販売店舗情報、のいずれかに関する情報を所有している。</li> <li>◆ 対象9コミュニティにおいて軽微な修理にかかる期間は一件あたり5.9日であった(調査対象となった AUE 270 組合のうち、回答のあった193組合の平均)。</li> <li>◆ 水・衛生分野の担当者が配置されているコミュニティ行政は限られており、所有情報が AUE によって有効活用される体制が整うまでには至っていない。</li> <li>◆ 中央プラトー地方の3県では修理工組合が組織されており、修理業者間でのスペアパーツ供給に関する情報共有も進められている。</li> </ul>																														
成果4: 中央プラトー地方のパイロット3コミュニティにおける村落住民の衛生行動が改善される。	◆ パイロット3コミュニティにおいて、10項目の衛生行動のうち6項目以上が改善された村落の数は全体の72%である。																														
成果5: 各県の DPAH が給水衛生状況のモニタリング・評価を実施し、コミュニティに対し支援が行えるようになる。	◆ DPAH が担うモニタリング・評価活動については、8割以上のスタッフが年2回以上モニタリング活動を実施している(2012年)。																														

調査項目		調査の視点/調査事項	結果																														
小項目																																	
A5-2	プロジェクト目標の達成状況	対象コミュニティの給水施設維持管理状況及び住民の衛生行動が改善される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象9コミュニティにおける給水施設の稼働率は、以下の指標1達成状況に示す通り Loumbila コミュニティを除き改善している。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>コミュニティ名</th> <th>2009年</th> <th>2012年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toeghin</td> <td>89%</td> <td>93%</td> </tr> <tr> <td>Zorgho</td> <td>87%</td> <td>98%</td> </tr> <tr> <td>Dapelogo</td> <td>83%</td> <td>89%</td> </tr> <tr> <td>Absouya</td> <td>75%</td> <td>87%</td> </tr> <tr> <td>Nagréongo</td> <td>86%</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>Loumbila</td> <td>81%</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td>Ourgou-Manéga</td> <td>76%</td> <td>98%</td> </tr> <tr> <td>Zitenga</td> <td>80%</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>Ziniaré</td> <td>75%</td> <td>78%</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>Loumbila コミュニティは、首都ワガドグに近く、ダム湖の水を利用した給水施設が比較的整備されつつあることから、深井戸を必要としない村落が増えていると言われる。このような村落の場合、住民による給水施設の維持管理が必要とされないことから、給水施設の稼働率は下がるものと考えられる。</li> <li>パイロット3コミュニティにおいて、10項目の衛生行動のうち6項目以上が改善された村落の数は全体の72%である。</li> </ul>	コミュニティ名	2009年	2012年10月	Toeghin	89%	93%	Zorgho	87%	98%	Dapelogo	83%	89%	Absouya	75%	87%	Nagréongo	86%	95%	Loumbila	81%	73%	Ourgou-Manéga	76%	98%	Zitenga	80%	95%	Ziniaré	75%	78%
	コミュニティ名	2009年	2012年10月																														
Toeghin	89%	93%																															
Zorgho	87%	98%																															
Dapelogo	83%	89%																															
Absouya	75%	87%																															
Nagréongo	86%	95%																															
Loumbila	81%	73%																															
Ourgou-Manéga	76%	98%																															
Zitenga	80%	95%																															
Ziniaré	75%	78%																															
上位目標の達成状況	中央プラトー地方における保健・衛生環境が改善される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業水利省の中央プラトー地方局では、既に2013年のリフォーム実施予算として5600万 CFAFを確保していることから、プロジェクト終了後も当面は普及員(ZAT/UAT)が AUE 支援を継続することができる。2014年以降については、現時点で未定であるが、既に中央プラトー地方局長は農業水利省に対して予算申請依頼を行っており、セクター財政支援予算(ABS)から資金配分がなされる可能性はある。(背景)2015年の時点で深井戸にアクセスできる住民の割合及び給水ポンプの稼働率が中央プラトー州レベルで改善するためには、プロジェクト終了後も普及員(ZAT/UAT)による AUE 支援が継続されることが不可欠である。</li> <li>衛生活動については、対象がパイロット3コミュニティに絞られており、中央プラトー地方全域に展開する計画・予算は策定されていないため、地方全体として住民の衛生行動が改善されることは見込まれない。</li> </ul>																															
実施プロセス	活動計画の進捗状況	活動計画は特段の支障なく実施されたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動は特段の支障なく実施された。</li> <li>2011年5月頃の国内政情不安により、2年次後半に予定していた活動が3年次に持ち越しとなった結果、パイロットコミュニティにおけるポンプ修理業者による保守巡回の第一回目の実施が当初予定より遅れ、続く6対象コミュニティの活動に経験や教訓が十分に反映されなかった。</li> </ul>																														
	実施体制	プロジェクトの実施体制は適切に機能しているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に機能している。</li> </ul>																														
		C/Pの配置は適切か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に機能している。</li> </ul>																														
		専門家の派遣体制は適切か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体としては適切に配置されている。</li> <li>対象地域が中央プラトー地方の全20コミュニティ・514村と非常に広範である一方、村落給水/組織能力強化担当が総括を兼務しており、負担が大きく、現場プロセスをきめ細やかにフォローアップすることは出来なかった。</li> </ul>																														
	モニタリング	モニタリングはどのように実施されているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央レベルにおいてプロジェクト合同調整委員会がこれまでに五回開催され、活動報告及び計画・予算が協議されている。</li> <li>地方レベルでは、農業水利省中央プラトー地方局(DRAH)が招集する月例会において、プロジェクト対象地3県の水担当者がプロジェクト活動の進捗報告を行うと同時に、日本人専門家がマネージメント等に関わる諸事項を報告している。</li> <li>衛生分野に関しては、対象3コミュニティの行政指導員(水省、教育省、保健省の出向スタッフ)を四半期毎に集めてモニタリング会合を実施している。</li> </ul>																														
		携帯電話を利用したモニタリング情報収集は行われているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリングとしては行われていないが、AUEメンバーは必要に際して ZAT/UAT と携帯電話で話をしている。識字率が低いため、SMSの使用は限られている。</li> </ul>																														
	コミュニケーション	プロジェクト関係者間のコミュニケーションは十分か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常にスムーズである。</li> </ul>																														
	意思決定	プロジェクトの計画・実施における意思決定は適切か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトの意思決定に関する問題点は指摘されていない。</li> </ul>																														
オーナーシップ	プロジェクトへの行政幹部・C/Pの関心・関与は十分か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政幹部は非常に強い関心を持ってプロジェクトを見ている。</li> </ul>																															
技術移転	技術移転の方法は適切か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトが実施した諸研修を通じて、C/P・受益者は着実に知見を高め、行動様式を変容させている。</li> </ul>																															

調査項目		調査の視点/調査事項	結果
小項目			
中間レビュー での提言	衛生行動改善のための活動について		<ul style="list-style-type: none"> <li>本プロジェクトの目標はパイロット 3 コミューンにおける住民の衛生行動改善である。これまでのプロジェクト活動を通じて、既に住民の衛生行動には変化が生じており(手洗い習慣、トイレ使用、井戸周り清掃、等々)、これらの行動の大半は住民アニメーターの積極的な活動がなくとも習慣化していくと考え、プロジェクト終了後に備えて特に住民アニメーターのモチベーションを維持する仕組みを構築する必要はないと判断した。</li> <li>上位目標は「中央プラトー地方における保健・衛生環境が改善される」とされているが、本プロジェクトではパイロット 3 コミューンの活動を他コミュニティへと展開する計画は立てていない。</li> </ul>
	対象コミュニティの拡大について		<ul style="list-style-type: none"> <li>追加 11 コミューン(248 村)において活動を開始し、これまでに 245 村で 288 の AUE が形成された。</li> </ul>
	プロジェクト終了後の持続性の確保について		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、2013 年のリフォーム予算は確保されているが、2014 年以降については、中央プラトー地方局によってセクター財政支援予算への申請が行われているものの、予算確保については未定である。</li> </ul>
妥当性	政策・ニーズとの整合性	プロジェクトはブルキナファソ国の政策と整合性が取れているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>整合性は取れている。</li> </ul>
		PN-AEPA にある「農村部における 2005 年の飲料水供給率(60%)を、2015 年までに 80%に改善する」という目標を鑑みた時、給水施設の稼働率を現在の 7 割から 8 割に向上させる(プロ目指標)ことの意味は何か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブルキナファソ政府は、井戸一つあたり 300 人が飲料水にアクセスするという算定をしている。従って、稼働率を 7 割から 8 割に改善するとは、該当する井戸数×300 人の住民が新たに水供給を得ることとなる。</li> </ul>
		プロジェクトは日本の開発援助政策と整合性が取れているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>整合性は取れている。但し、本終了時評価調査時点において、水・衛生分野はブルキナファソ国における重点分野から外れている。</li> </ul>
		プロジェクトは受益者のニーズに対応しているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応している。</li> </ul>
戦略・アプローチ	戦略・アプローチ	プロジェクトのアプローチ・デザインはプロジェクト目標を達成する手段として適切か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切である。</li> </ul>
		受益者の選定は適切か(対象・規模)？	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象は適切である。</li> <li>規模について、本プロジェクトは、一年目に 3 コミューン、二年目に 6 コミューン、三年目に 11 コミューンで活動を開始する(全部で 20 コミューン 514 村において活動を展開する)という設計になっているが、中央プラトー州において機能する「リフォーム」モデルの検証を行う前にプロジェクト活動を広域展開するという考え方は、新たな体制づくりを担う技術協力プロジェクトのデザイン方法としては課題がある。しかし、本プロジェクトは給水施設の無償資金協力をフォローアップする形で提案されていることから、給水施設建設の対象地域全体をカバーする必要があった。</li> </ul>
		C/P 機関の選定は適切か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>普及員として ZAT/UAT を位置づけたのは適切である。</li> <li>「リフォーム」では、コミュニティが主体となって給水施設管理を行うものとされているが、本プロジェクトの開始時点において、コミュニティ行政は水・衛生分野で活動していなかったことから、本プロジェクトの C/P としては位置づけなかった。</li> </ul>
		CP 機関の組織・規模・財政状況に対して適性な計画が立てられているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>本プロジェクトでは、基本的に活動経費をすべて JICA 側が負担している。</li> </ul>
		ZAT・UAT が基本的には農業普及担当であることを考慮した時、DPAH による定期的な AUE モニタリングをアウトプットとして位置づけるのは妥当なアプローチと言えるのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>ZAT/UAT は農業普及員であり、水・衛生分野の知識は持っていない。従って、プロジェクトの研修を通じて知識・技能を向上させる必要がある。</li> <li>農業水利省幹部によれば、今般、農業水利省が農業安全保障省と水・水利・衛生省に分離されたが、現場レベルでは、ZAT/UAT が両分野の普及活動を担っていくことに問題はない、とのことである。</li> </ul>
		本プロジェクトは、「ブ」国政府の給水施設維持管理制度改革(リフォーム)政策に従うものであるが、制度改革の意義及び期待される効果を分析したうえでプロジェクト形成をしているか？(CPE 体制の問題点、AUE 設置の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本プロジェクトは、中央プラトー地方におけるリフォームの実施プロジェクトであり、「ブ」国政策の実施事業として位置づけられる。従って、プロジェクト形成は当該政策に従ったものであり、プロジェクトの成果は、政策実施の結果を示すものとなる。</li> </ul>
		プロジェクト終了までに、プロジェクト目標は達成されるか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>既に達成されている。</li> </ul>
有効性	プロジェクト目標の達成予測	プロジェクト目標の達成を促進・阻害する要因はあるか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係者間のコミュニケーションが極めてスムーズであり、情報共有が良く行われている。これは、プロジェクト目標を達成する上で重要な促進要因になったと考えられる。</li> </ul>
		5つの成果はプロジェクト目標を達成するのに十分か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分である。</li> </ul>
成果とプロジェクト目標との因果関係	成果とプロジェクト目標との因果関係	プロ目指標2の「実施体制が構築される」は、具体的に①AUE の設立(1-6)、②AUE とコミュニティ間での維持管理協定締結(1-7)、を指すが、これはアウトプット指標と同様ではないか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>同様である。</li> </ul>

調査項目		調査の視点/調査事項	結果
小項目			
効率性	成果の達成度	成果達成の進捗状況は十分か？	◆ 成果2に関し、AUE の能力強化は図られつつあるが、水料金の徴収に関しては、更なる能力強化が必要である。
		成果4の指標 4-4「公共衛生設備維持マニュアルが作成され、公共衛生設備・行動管理システムが構築される。」は十分に明確か？	◆ 「管理システム」が明確ではないため、「管理担当」と読み替えた。
		成果達成を促進・阻害している要因はあるか？	◆ 本プロジェクトは、形式的には、水管理組合を形成して組合による給水施設の維持管理を推進するものであるが、住民の立場から見ると、「井戸水はタダで、近所の人々で利用するもの」という習慣の中で生活してきた彼らに対して、「井戸水は有料で、村落全体で管理するもの」という新たな認識・行動様式を求めるものであると捉えることができる。このような人々の行動変容を必要とするプロジェクトは、人々が新しいメカニズムの意義を理解し、かつ日常の習慣として定着することで持続性を確保することが出来ると考えられるが、これには時間がかかる。本終了時評価調査では、AUE による水料金の徴収が十分に出来ていないため、成果2については達成されたという段階には達していない、と判断された。しかし、対象 9 コミュニンの AUE が、水料金の徴収を含め、実質的に給水施設管理活動を開始したのは 2011 年からであり、水料金の徴収という金銭に絡む行動様式を二年という期間(すなわち、水料金の徴収二回)で変容させるのは容易なことではない。従って、このような人々の習慣や行動の変容を前提とする成果は、行動変容を前提としない成果よりも達成が難しく、長い時間軸で成果産出を捉えるべきである。
		成果達成のための投入(時期、量・コスト、質)は適切か？	◆ 一般的に適切である。 ◆ 上述した通り、成果2の達成は時間を要するものである。このため、村落におけるリフォームへの理解促進(支払い能力を持つ全住民からの水料金徴収)を図るための方法論検証を目的とした調査研究活動に対して投入を行うという選択肢もあった。
		他ドナーとの情報交換・連携は取れているか？	◆ 関係は良好である。具体的には以下の通り： FASOLIM(仏リムーザン地方支援による地方自治体間協力)：AUE 研修、ポンプ修理業者支援など、ウブリテンガ県コミュニティにおける給水分野での協力 SNV：給水・衛生分野におけるコミュニティ能力強化計画の立案に協力 EAU VIVE：ゾルゴーコミュニティにおける給水施設維持管理活動の共同支援、協力協調
インパクト	上位目標の達成見込み	上位目標は達成され得るか？	◆ 農業水利省の中央プラトー地方局では、既に2013年のリフォーム実施予算として5600万 CFAFを確保していることから、プロジェクト終了後も当面は普及員(ZAT/UAT)が AUE 支援を継続することができる。2014年以降については、現時点で未定であるが、既に中央プラトー地方局長は農業水利省に対して予算申請依頼を行っており、セクター財政支援予算(ABS)から資金配分がなされる可能性はある。このため、プロジェクト終了後も、AUE の活動を通じて深井戸ポンプが常時稼働し、中央プラトー地方20コミュニティにおいて住民が安全な水にアクセスできる可能性は一定程度見込まれる。
		上位目標達成の方策は適切に計画されているか？	◆ 一般的には適切に計画されているが、予算面での手当てに課題がある。 ◆ 本プロジェクトでは住民の衛生行動改善の対象地域をパイロット 3 コミュニティに絞っており、他の 17 コミュニティに展開する計画は立案していない。
		上位目標の達成を促進・阻害する要因はあるか？	◆ 最も重要な要因はリフォームの活動予算である。
	波及効果	政策・経済・社会文化的側面・環境への影響はあるか？	◆ 本プロジェクトで作成した衛生啓発・教育教材が衛生・汚水・廃棄物総局の意向によって全国的に普及していくことが計画されている。このため、衛生・汚水・廃棄物総局は、国内全 13 地方の関係行政機関及びドナー・NGO の参加を得てワークショップを開催し、当該教材の内容に関する情報を共有した上で改訂のためのフィードバックを収集した。今後は、フィードバックを基に教材の改訂を行い、全国に教材を配布する予定である。 ◆ 水資源総局においても、総局長をはじめとする総局幹部が本プロジェクトの成果を高く評価しており、本プロジェクトが現在作成しているマニュアルを改訂する形でリフォーム推進に関わる全国版のマニュアルを策定し、全国に普及していく意向を持っている。
		本プロジェクト実施による負の影響はあるか？ それを軽減する対策は取られているか？	◆ 負のインパクトは特に想定されない。
因果関係	プロジェクト目標から上位目標に至るまでの外部条件は現在でも有効か？	◆ 有効である。	
持続性	政策面	水資源・衛生に関する政府の政策的方向性及び行政幹部の考え方はどのようなものか？	◆ リフォームの推進で一貫している。
	組織面	上位目標達成のため、C/P 機関において必要な組織・人員・財政的な措置が行われるか？	◆ 農業水利省の中央プラトー地方局では、既に2013年のリフォーム実施予算として5600万 CFAFを確保していることから、プロジェクト終了後も当面は普及員(ZAT/UAT)が AUE 支援を継続することができる。2014年以降については、現時点で未定である

調査項目		調査の視点/調査事項	結果
小項目			
	日本側が負担しているルーチン業務予算は、プロジェクト終了後、C/P側の予算で賄われるか？		<p>が、既に中央プラトー地方局長は農業水利省に対して予算申請依頼を行っており、セクター財政支援予算（ABS）から資金配分がなされる可能性はある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブルキナファソでは、教育分野で PACOGES プロジェクトが実施されており、住民による学校運営委員会への支援が行われている。PACOGES の専門家によれば、本プロジェクトが開発した衛生啓発のモデルを学校運営委員会の活動に取り入れることは十分に可能とのことである。</li> </ul>
	給水施設管理における中核行政機関であるコミューン行政は既に機能しているのか？		<ul style="list-style-type: none"> <li>一部のコミューン行政では、NGO・ドナープロジェクト実施のために水・衛生課が設置されているが、コミューン行政が独自に当該課を設置し、人材を配置している事例はまだ見られない。本終了時評価調査時点において、コミューン行政は水・衛生分野での行政サービスを実施する状態にはないと言える。</li> </ul>
	選挙で選出されたコミューン長は、給水施設管理に対して予算措置・人員措置を講ずる意志を持っているか？		<ul style="list-style-type: none"> <li>意志を持っている市長は存在するが、実際に予算確保が可能かどうかについては不明である。</li> </ul>
技術面	投入された資機材の管理は適切に行われているか？		<ul style="list-style-type: none"> <li>調達された情報器材は、DGRE、DRAH、DPAH の業務に使用されている。維持管理についても特に問題はない。</li> </ul>
阻害要因	持続性に影響を与える負の影響はあるか？		<ul style="list-style-type: none"> <li>先行した対象 9 コミューンにおいても、AUE の能力強化はまだ十分な水準に達していない。追加 11 コミューンについては、形式が整備されたのみで、組織運営・制度運営はまだ開始されたばかりである。AUE の組織的持続性は、リフォームに対する理解が住民の間で共有されることによって成立するが、対象 9 コミューンにおける大半の AUE でもリフォームを理解しない住民が一定数存在する（本終了時評価調査団がインタビューを行った 12 の AUE については、大半の AUE で 1 割前後の住民が水料金の支払いを拒んでいた）。これは、リフォーム導入後約二年しか経過していないことを考えれば、ごく自然な現象である。但し、彼らは水料金を支払わずに水を利用することから、他の住民の支払い意欲を減退させてしまう。このような状態が今後も継続すると、AUE が水料金を徴収できず、ポンプ修理が滞り、結果として安全な水へのアクセスが断ち切られる可能性がある。このため、支払い能力を持つ全住民がリフォームに対する理解を共有する段階に達するまでは、普及員による AUE 支援・住民啓蒙活動が不可欠である。（普及員による AUE 支援・啓蒙活動が行われない場合、持続性に対する負の影響が想定される）</li> </ul>



## セミナー・研修開催実績一覧

(2012年12月末現在)

年度	コース名 (研修内容)	開催日	期間	参加 人数	対象者	備 考
【1】対象コミュニティにおける給水維持管理システム構築に係る活動(成果1関連)						
2009年度 (1年次)	給水施設維持管理リフォーム地方ワークショップ	2010年2月10日	1日間	84名	中央プラト-地方知事、県知事、郡知事、コミュニティ長、DRAH/DPAH職員、NGO、現地再委託機関等	リフォームに関する情報発信
2009年度 (1年次)	給水施設維持管理リフォームコミュニティワークショップ	2010年3月16日～18日	3日間 (コミュニティ/1日)	343名	コミュニティ長、評議会、村落開発委員会、郡知事	リフォームにおけるコミュニティ関係者の役割・責任に関する理解促進
2010年度 (1年次)	パイロットコミュニティ対象リフォーム研修<第1回>ダヘロコ①	2010年5月3日～4日	2日間	38名	コミュニティ長、次官・会計担当、郡長、評議員、DRAH,DPAH,ZAT職員	システムリフォーム説明、水費算出及び決定、アクター間の協定・契約
2010年度 (1年次)	パイロットコミュニティ対象リフォーム研修<第1回>ダヘロコ②	2010年5月5日～6日	2日間	33名	同上	同上
2010年度 (1年次)	パイロットコミュニティ対象リフォーム研修<第1回>ゾルゴ①	2010年5月10日～11日	2日間	49名	同上	同上
2010年度 (1年次)	パイロットコミュニティ対象リフォーム研修<第1回>ゾルゴ②	2010年5月12日～13日	2日間	44名	同上	同上
2010年度 (1年次)	パイロットコミュニティ対象リフォーム研修<第1回>トエゲン	2010年4月28日～29日	2日間	47名	同上	同上
2010年度 (1年次)	給水施設維持管理リフォームに関するスタディツアー	2010年5月19日～21日	3日間	16名	パイロットコミュニティ代表・ZAT長、各県局長、DRAH水資源課職員、ANTEAチームリーダー	リフォーム適用化の先行地域であるサヘル地方の経験を取得、リフォーム適用化に関する知見向上
2010年度 (2年次)	パイロットコミュニティ対象リフォーム研修<第2回>	2010年12月6日～7日	2日間	40名	コミュニティ長、事務次官、評議員、郡長、会計担当、会計監査役、DRAH職員等	給水施設維持管理委託協定、給水施設保守巡回業務・契約等
2010年度 (2年次)	パイロットコミュニティ対象リフォーム研修<第3回>	2011年3月10日～11日	2日間	42名	コミュニティ長、事務次官、評議会、郡長、会計担当、会計監査役、DRAH職員等	ポンプ修理業者の選定・契約手続き、保守巡回の実施・報告・支払い手続き方法等
2010年度 (2年次)	対象コミュニティリフォーム理解促進ワークショップ(アブサヤ、ルンピラ)	2010年12月13日	1日間	157名	コミュニティ関係者、郡長、視学官事務所、保健センター、住民組織、ポンプ修理工等	リフォームにおけるコミュニティ関係者の役割・責任に関する理解促進
2010年度 (2年次)	対象コミュニティリフォーム理解促進ワークショップ(ナグレング、ウルグマネガ)	2010年12月14日	1日間	147名	同上	同上
2010年度 (2年次)	対象コミュニティリフォーム理解促進ワークショップ(ジニアレ、ジテンガ)	2010年12月15日	1日間	251名	同上	同上
2010年度 (2年次)	第1回対象コミュニティリフォーム研修	2011年3月15日～16日	2日間	67名	コミュニティ関係者、郡長、DRAH,DPAH等	給水施設維持管理システムの問題点、水料金の算出・決定方法、AUR・修理業者との協定・契約等

## 添付資料 6

年度	コース名 (研修内容)	開催日	期間	参加 人数	対象者	備 考
2011 年度 (3 年次)	第 3 回対象コミュニティリフォーム 研修①	2011 年 10 月 25 日 ～27 日	3 日間	40	コミュニティ長、事務次官、会 計、コミュニティ評議員、郡長等	給水施設維持管 理協定、保守整 備契約、ポンプ修 理業者選定・締約 手続き等
2011 年度 (3 年次)	第 3 回対象コミュニティリフォーム 研修②	2011 年 11 月 2 日～ 4 日	3 日間	40	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	追加コミュニティリフォームワ ークショップ(フツセ)	2012 年 2 月 7 日	1 日間	85	コミュニティ関係者、郡長、視学 官事務所、保健センター、住 民組織、ポンプ修理工等	リフォームにおけるコ ミュニティ関係者の役 割・責任に関する 理解促進
2011 年度 (3 年次)	追加コミュニティリフォームワ ークショップ(ライ)	2012 年 2 月 13 日	1 日間	47	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	追加コミュニティリフォームワ ークショップ(ニュー)	2012 年 2 月 13 日	1 日間	97	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	追加コミュニティリフォームワ ークショップ(スルガヒラ)	2012 年 2 月 7 日	1 日間	71	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	追加コミュニティリフォームワ ークショップ(フドリ①)	2012 年 2 月 8 日	1 日間	118	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	追加コミュニティリフォームワ ークショップ(フドリ②)	2012 年 2 月 9 日	1 日間	87	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	追加コミュニティリフォームワ ークショップ(ココ)	2012 年 2 月 8 日	1 日間	57	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	追加コミュニティリフォームワ ークショップ(メケ)	2012 年 2 月 8 日	1 日間	82	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	追加コミュニティリフォームワ ークショップ(モグテ)	2010 年 2 月 9 日	1 日	85	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	追加コミュニティリフォームワ ークショップ(サロコ)	2012 年 2 月 9 日	1 日間	68	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	追加コミュニティリフォームワ ークショップ(サム)	2012 年 2 月 10 日	1 日間	118	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	追加コミュニティリフォームワ ークショップ(スング)	2012 年 2 月 13 日	1 日間	71	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	第 1 回追加コミュニティ研修(ク ルウェオコ県)	2012 年 3 月 20 日～ 21 日	2 日間	44 名	コミュニティ長、事務次官、会 計、コミュニティ評議員、郡長、 財務省担当官等	給水施設維持管 理システムの問題 点、水料金の算 出・決定方法、 AUE・修理業者と の協定・契約等
2011 年度 (3 年次)	第 1 回追加コミュニティ研修 (ガンズルグ県①)	2012 年 3 月 28 日～ 29 日	2 日間	49 名	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	第 1 回追加コミュニティ研修 (ガンズルグ県②)	2012 年 3 月 26 日～ 27 日	2 日間	47 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	第 2 回追加コミュニティ研修(ク ルウェオコ県)	2012 年 10 月 9 日～ 10 日	2 日間	55 名	同上	コミュニティ・AUE 間の 給水施設維持管 理協定、コミュニティ予 算策定、ポンプ修 理業者の選定方 法、コミュニティ・ポンプ 修理業者間の保 守整備契約
2012 年度 (4 年次)	第 2 回追加コミュニティ研修 (ガンズルグ県①)	2012 年 10 月 16 日 ～17 日	2 日間	57 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	第 2 回追加コミュニティ研修 (ガンズルグ県②)	2012 年 10 月 18 日 ～19 日	2 日間	47 名	同上	同上

年度	コース名 (研修内容)	開催日	期間	参加 人数	対象者	備 考
<b>【2】村落組織の給水施設運営維持管理強化に係る活動(成果2関連)</b>						
2009年度 (1年次)	AUE 活動支援アニメーター 育成研修(パイロットコミュニティ)	2010年3月4日～ 11日	5日間	6名	現地再委託先アニメーター	リフォーム概要、アクターの役割・紹介、AUE 設立活動に係る実技等
2010年度 (2年次)	AUE 活動支援アニメーター 育成研修(パイロット・対象コミュニティ)	2010年9月15日～ 21日	5日間	15名	現地再委託先アニメーター	リフォーム概要、アクターの役割・紹介、AUE 設立活動に係る実技等
2011年度 (3年次)	AUE 活動支援アニメーター 育成研修(対象コミュニティ)	2011年10月3日～ 7日	5日間	9名	現地再委託先アニメーター	リフォーム概要、アクターの役割・紹介、実技等
2011年度 (3年次)	AUE 活動支援アニメーター 育成研修(追加コミュニティ)	2012年1月26日～ 2月1日	5日間	30名	現地再委託先アニメーター	リフォーム概要、アクターの役割・紹介、AUE 設立活動に係る実技等
2012年度 (4年次)	AUE 活動支援アニメーター 育成研修(追加コミュニティ)	2012年9月17日～ 21日	5日間	9名	現地再委託先アニメーター	リフォーム概要、アクターの役割・紹介、実技等
2010年度 (2年次)	AUE 研修講師研修(第1回パイロットコミュニティ AUE 対象)	2010年11月18日～ 24日	5日間	9名	現地再委託先アニメーター	AUE 研修指導に係る実技等
2010年度 (2年次)	AUE 研修講師研修(第2回パイロットコミュニティ AUE 対象)	2011年3月21日～ 25日	5日間	4名	現地再委託先アニメーター	AUE 研修指導に係る実技等
2011年度 (3年次)	AUE 研修講師研修(第2回対象コミュニティ AUE 対象)	2011年11月7日～ 11日	5日間	9名	現地再委託先アニメーター	AUE 研修指導に係る実技等
2011年度 (3年次)	AUE 研修講師研修(第3回パイロットコミュニティ AUE 対象)	2012年1月4日～6 日	3日間	9名	現地再委託先アニメーター	AUE 研修指導に係る実技等
2011年度 (3年次)	AUE 研修講師研修(第3回対象コミュニティ AUE 対象)	2012年3月19日～ 21日	3日間	9名	現地再委託先アニメーター	AUE 研修指導に係る実技等
2012年度 (4年次)	AUE 研修講師研修(第2回追加コミュニティ AUE 対象)	2012年10月23日～ 30日	5日間	9名	現地再委託先アニメーター	AUE 研修指導に係る実技等
2010年度 (2年次)	パイロットコミュニティ対象第1回 AUE 研修トエゲン①	2010年11月29日～ 12月1日	3日間	36	AUE 代表者(委員長、書記、会計等)	給水施設維持管理実務
2010年度 (2年次)	パイロットコミュニティ対象第1回 AUE 研修トエゲン②	2010年12月2日～ 12月4日	3日間	36	同上	同上
2010年度 (2年次)	パイロットコミュニティ対象第1回 AUE 研修タハロ①	2010年11月29日～ 12月1日	3日間	35	同上	同上
2010年度 (2年次)	パイロットコミュニティ対象第1回 AUE 研修タハロ②	2010年12月2日～ 4日	3日間	45	同上	同上
2010年度 (2年次)	パイロットコミュニティ対象第1回 AUE 研修タハロ③	2010年12月6日～ 8日	3日間	30	同上	同上
2010年度 (2年次)	パイロットコミュニティ対象第1回 AUE 研修ゾルゴ①	2010年11月29日～ 12月1日	3日間	39	同上	同上
2010年度 (2年次)	パイロットコミュニティ対象第1回 AUE 研修ゾルゴ②	2010年12月2日～ 4日	3日間	39	同上	同上
2010年度 (2年次)	パイロットコミュニティ対象第1回 AUE 研修ゾルゴ③	2010年12月6日～ 8日	3日間	46	同上	同上
2010年度 (2年次)	パイロットコミュニティ対象第2回 AUE 研修トエゲン①	2011年3月28日～ 30日	3日間	36	AUE 代表者(委員長、書記、会計、情報担当)	関係者間の協定・契約と財務管理における責務事項、財務管理、AUE 総会での活動報告等
2010年度 (2年次)	パイロットコミュニティ対象第2回 AUE 研修トエゲン②	2011年3月31日～ 4月2日	3日間	35	同上	同上

## 添付資料 6

年度	コース名 (研修内容)	開催日	期間	参加 人数	対象者	備 考
2010 年度 (2 年次)	パイロットコミュニティ対象第 2 回 AUE 研修ダハロ①	2011 年 3 月 28 日～ 3 月 30 日	3 日間	39	同上	同上
2010 年度 (2 年次)	パイロットコミュニティ対象第 2 回 AUE 研修ダハロ②	2011 年 3 月 31 日～ 4 月 2 日	3 日間	34	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	パイロットコミュニティ対象第 2 回 AUE 研修ダハロ③	2011 年 4 月 4 日～6 日	3 日間	39	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	パイロットコミュニティ対象第 2 回 AUE 研修ゾルゴ①	2011 年 4 月 4 日～6 日	3 日間	38	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	パイロットコミュニティ対象第 2 回 AUE 研修ゾルゴ②	2011 年 4 月 7 日～9 日	3 日間	46	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	パイロットコミュニティ対象第 2 回 AUE 研修ゾルゴ③	2011 年 4 月 7 日～9 日	3 日間	43	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(アブスヤ①)	2011 年 4 月 27 日～ 29 日	3 日間	36	AUE 代表者(委員長、書 記、会計、情報担当)	給水施設維持管 理実務
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(アブスヤ②)	同上	3 日間	39	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(ナグレゴ①)	2011 年 5 月 5 日～7 日	3 日間	40	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(ナグレゴ②)	同上	3 日間	35	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(ウルグマナ①)	2011 年 4 月 27 日～ 29 日	3 日間	40	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(ウルグマナ②)	2011 年 5 月 2 日～4 日	3 日間	36	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(ウルグマナ③)	同上	3 日間	36	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(ルビラ①)	2011 年 5 月 12 日～ 14 日	3 日間	47	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(ルビラ②)	同上	3 日間	47	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(ルビラ③)	2011 年 5 月 16 日～ 18 日	3 日間	24	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(ジテカ①)	2011 年 5 月 2 日～4 日	3 日間	48	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(ジテカ①)	2011 年 5 月 5 日～7 日	3 日間	48	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(ジテカ②)	2011 年 5 月 9 日～ 11 日	3 日間	44	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(ジテカ③)	2011 年 5 月 16 日～ 18 日	3 日間	40	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(ジニア①)	2011 年 5 月 9 日～ 11 日	3 日間	48	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(ジニア②)	同上	3 日間	46	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(ジニア③)	2011 年 5 月 12 日～ 14 日	3 日間	47	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	対象コミュニティ第 1 回 AUE 研修(ジニア④)	2011 年 5 月 16 日～ 18 日	3 日間	56	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニティ第 2 回 AUE 研修(アブスヤ①)	2011 年 11 月 14 日 ～16 日	3 日間	36	AUE 代表者(委員長、書 記、会計、情報担当)	これまでの活 動・問題点など の把握、関係者 間の協定・契約・ 財務管理等
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニティ第 2 回 AUE 研修(アブスヤ②)	2011 年 11 月 17 日 ～19 日	3 日間	36	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニティ第 2 回 AUE 研修(ナグレゴ①)	2011 年 11 月 14 日 ～19 日	3 日間	36	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニティ第 2 回 AUE 研修(ナグレゴ②)	2011 年 11 月 17 日 ～19 日	3 日間	36	同上	同上

年度	コース名 (研修内容)	開催日	期間	参加 人数	対象者	備 考
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 2 回 AUE 研修(ウルグマナカ①)	2011 年 11 月 21 日 ～23 日	3 日間	40	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 2 回 AUE 研修(ウルグマナカ②)	2011 年 11 月 24 日 ～26 日	3 日間	36	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 2 回 AUE 研修(ウルグマナカ③)	2011 年 11 月 28 日 ～30 日	3 日間	36	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 2 回 AUE 研修(ルビラ①)	2011 年 12 月 5 日～ 7 日	3 日間	40	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 2 回 AUE 研修(ルビラ②)	2011 年 11 月 24 日 ～26 日	3 日間	40	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 2 回 AUE 研修(ルビラ③)	2011 年 11 月 28 日 ～30 日	3 日間	40	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 2 回 AUE 研修(ジテカ①)	2011 年 12 月 5 日～ 7 日	3 日間	36	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 2 回 AUE 研修(ジテカ②)	2011 年 12 月 8 日～ 10 日	3 日間	36	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 2 回 AUE 研修(ジテカ③)	2011 年 12 月 12 日 ～14 日	3 日間	36	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 2 回 AUE 研修(ジテカ④)	2011 年 12 月 15 日 ～17 日	3 日間	36	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 2 回 AUE 研修(ジテカ⑤)	2011 年 12 月 19 日 ～21 日	3 日間	36	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 2 回 AUE 研修(ジニア①)	2011 年 12 月 5 日～ 7 日	3 日間	40	同上	同上同上同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 2 回 AUE 研修(ジニア②)	2011 年 12 月 8 日～ 10 日	3 日間	40	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 2 回 AUE 研修(ジニア③)	2011 年 12 月 12 日 ～14 日	3 日間	40	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 2 回 AUE 研修(ジニア④)	2011 年 12 月 15 日 ～17 日	3 日間	40	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 2 回 AUE 研修(ジニア⑤)	2011 年 12 月 19 日 ～21 日	3 日間	40	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	パイロットコミュニ第 3 回 AUE 研修(トエゲン①)	2012 年 1 月 16 日～ 18 日	3 日間	40 名	AUE 代表者(委員長、書 記、会計、情報担当)、 DRAH,DPAH,ZAT/UAT、コ ミュン代表者	AUE の維持管 理活動、機能と 役割等
2011 年度 (3 年次)	パイロットコミュニ第 3 回 AUE 研修(トエゲン②)	2012 年 1 月 19 日～ 21 日	3 日間	40 名	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	パイロットコミュニ第 3 回 AUE 研修(ダヘロ①)	2012 年 1 月 16 日～ 19 日	3 日間	45 名	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	パイロットコミュニ第 3 回 AUE 研修(ダヘロ②)	2012 年 1 月 19 日～ 21 日	3 日間	45 名	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	パイロットコミュニ第 3 回 AUE 研修(ダヘロ③)	2012 年 1 月 23 日～ 25 日	3 日間	41 名	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	パイロットコミュニ第 3 回 AUE 研修(ゾルコ①)	2012 年 1 月 23 日～ 25 日	3 日間	50 名	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	パイロットコミュニ第 3 回 AUE 研修(ゾルコ②)	2012 年 1 月 26 日～ 28 日	3 日間	49 名	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	パイロットコミュニ第 3 回 AUE 研修(ゾルコ③)	2012 年 1 月 26 日～ 28 日	3 日間	49 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 3 回 AUE 研修(ジニア①)	2012 年 4 月 16 日～ 18 日	3 日間	61 名	AUE 代表者(委員長、書 記、会計、情報担当)、 DRAH,DPAH,ZAT/UAT、コ ミュン代表者	AUE の維持管 理活動、機能と 役割等
2012 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 3 回 AUE 研修(ジニア②)	同上	3 日間	60 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	対象コミュニ第 3 回 AUE 研修(ジニア③)	2012 年 4 月 19 日～ 21 日	3 日間	60 名	同上	同上

## 添付資料 6

年度	コース名 (研修内容)	開催日	期間	参加 人数	対象者	備 考
2012 年度 (3 年次)	対象コミュン第 3 回 AUE 研修(ジニアレ④)	同上	3 日間	56 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	対象コミュン第 3 回 AUE 研修(アブスヤ①)	2012 年 4 月 16 日～ 18 日	3 日間	48 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	対象コミュン第 3 回 AUE 研修(アブスヤ②)	同上	3 日間	44 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	対象コミュン第 3 回 AUE 研修(ウルグマネカ①)	2012 年 4 月 19 日～ 21 日	3 日間	64 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	対象コミュン第 3 回 AUE 研修(ウルグマネカ②)	同上	3 日間	64 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	対象コミュン第 3 回 AUE 研修(ジテカ①)	2012 年 4 月 23 日～ 25 日	3 日間	56 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	対象コミュン第 3 回 AUE 研修(ジテカ②)	同上	3 日間	52 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	対象コミュン第 3 回 AUE 研修(ジテカ③)	2012 年 4 月 26 日～ 28 日	3 日間	48 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	対象コミュン第 3 回 AUE 研修(ジテカ④)	同上	3 日間	48 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	対象コミュン第 3 回 AUE 研修(ルビラ①)	2012 年 4 月 23 日～ 25 日	3 日間	73 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	対象コミュン第 3 回 AUE 研修(ルビラ②)	同上	3 日間	69 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	対象コミュン第 3 回 AUE 研修(ナグレゴ①)	2012 年 4 月 26 日～ 28 日	3 日間	48 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	対象コミュン第 3 回 AUE 研修(ナグレゴ②)	2012 年 4 月 26 日～ 28 日	3 日間	49 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュン対象第 1 回 AUE 研修(ライ)	2012 年 5 月 14 日～ 16 日	3 日間	44 名	AUE 代表者(委員長、書 記、会計、情報担当)、 DRAH,DPAH,ZAT/UAT、コ ミュン代表者	給水施設維持管 理実務
2012 年度 (3 年次)	追加コミュン対象第 1 回 AUE 研修(ニュー①)	同上	3 日間	48 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュン対象第 1 回 AUE 研修(ニュー②)	同上	3 日間	45 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュン対象第 1 回 AUE 研修(ブツセ①)	2012 年 6 月 7 日～9 日	3 日間	40 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュン対象第 1 回 AUE 研修(ブツセ②)	同上	3 日間	41 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュン対象第 1 回 AUE 研修(スルグビラ①)	同上	3 日間	44 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュン対象第 1 回 AUE 研修(スルグビラ②)	同上	3 日間	41 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュン対象第 1 回 AUE 研修(ブトリ①)	2012 年 5 月 21 日～ 23 日	3 日間	48 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュン対象第 1 回 AUE 研修(ブトリ②)	同上	3 日間	48 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュン対象第 1 回 AUE 研修(ブトリ③)	2012 年 5 月 28 日～ 30 日	3 日間	64 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュン対象第 1 回 AUE 研修(ブトリ④)	同上	3 日間	60 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュン対象第 1 回 AUE 研修(ブトリ⑤)	2012 年 6 月 4 日～6 日	3 日間	36 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュン対象第 1 回 AUE 研修(ブトリ⑥)	同上	3 日間	36 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュン対象第 1 回 AUE 研修(ザム①)	2012 年 5 月 21 日～ 23 日	3 日間	48 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュン対象第 1 回 AUE 研修(ザム②)	同上	3 日間	48 名	同上	同上

年度	コース名 (研修内容)	開催日	期間	参加 人数	対象者	備 考
2012 年度 (3 年次)	追加コミュニケーション対象第 1 回 AUE 研修(サム③)	2012 年 5 月 31 日～ 6 月 2 日	3 日間	44 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュニケーション対象第 1 回 AUE 研修(ム①)	2012 年 5 月 24 日～ 26 日	3 日間	52 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュニケーション対象第 1 回 AUE 研修(ム②)	同上	3 日間	52 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュニケーション対象第 1 回 AUE 研修(コ)	同上	3 日間	64 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュニケーション対象第 1 回 AUE 研修(サコ)	2012 年 5 月 31 日～ 6 月 2 日	3 日間	60 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュニケーション対象第 1 回 AUE 研修(モグテ①)	2012 年 6 月 4 日～6 日	3 日間	40 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュニケーション対象第 1 回 AUE 研修(モグテ②)	同上	3 日間	40 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュニケーション対象第 1 回 AUE 研修(モグテ③)	2012 年 6 月 11 日～ 13 日	3 日間	36 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュニケーション対象第 1 回 AUE 研修(スング①)	2012 年 5 月 28 日～ 30 日	3 日間	56 名	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	追加コミュニケーション対象第 1 回 AUE 研修(スング②)	2012 年 6 月 11 日～ 13 日	3 日間	52 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(ライ)	2012 年 11 月 15 日 ～17 日	3 日間	40 名	AUE 代表者(委員長、書 記、会計、情報担当)、 DRAH,DPAH,ZAT/UAT、コ ミュニ代表者	これまでの活 動・問題点など の把握、関係者 間の協定・契約・ 財務管理等
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(ニュー①)	2012 年 11 月 8 日～ 10 日	3 日間	44 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(ニュー②)	2012 年 12 月 13 日 ～15 日	3 日間	40 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(ブッセ①)	2012 年 11 月 5 日～ 7 日	3 日間	36 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(ブッセ②)	2012 年 11 月 19 日 ～21 日	3 日間	36 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(スルグビラ①)	2012 年 11 月 12 日 ～14 日	3 日間	40 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(スルグビラ②)	2012 年 12 月 5 日～ 7 日	3 日間	36 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(ブトリ①)	2012 年 11 月 5 日～ 7 日	3 日間	44 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(ブトリ②)	同上	3 日間	44 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(ブトリ③)	2012 年 11 月 12 日 ～14 日	3 日間	44 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(ブトリ④)	同上	3 日間	44 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(ブトリ⑤)	2012 年 12 月 5 日～ 7 日	3 日間	44 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(ブトリ⑥)	同上	3 日間	44 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(ブトリ⑦)	2012 年 12 月 13 日 ～15 日	3 日間	40 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(サム①)	2012 年 11 月 8 日～ 10 日	3 日間	48 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(サム②)	同上	3 日間	48 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(サム③)	2012 年 12 月 17 日 ～19 日	3 日間	44 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(ム①)	2012 年 11 月 19 日 ～21 日	3 日間	36 名	同上	同上

添付資料 6

年度	コース名 (研修内容)	開催日	期間	参加 人数	対象者	備 考
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(メグ②)	同上	3 日間	36 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(メグ③)	2012 年 12 月 5 日～ 7 日	3 日間	32 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(ココ①)	2012 年 11 月 5 日～ 7 日	3 日間	32 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(ココ②)	2012 年 11 月 15 日 ～17 日	3 日間	32 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(サロ①)	2012 年 11 月 8 日～ 10 日	3 日間	32 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(サロ①)	2012 年 11 月 19 日 ～21 日	3 日間	28 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(モグテ①)	2012 年 11 月 15 日 ～17 日	3 日間	40 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(モグテ②)	同上	3 日間	40 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(モグテ③)	2012 年 12 月 13 日 ～ 15 日	3 日間	36 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(スング①)	2012 年 11 月 12 日 ～ 14 日	3 日間	36 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(スング②)	2012 年 12 月 13 日 ～ 15 日	3 日間	36 名	同上	同上
2012 年度 (4 年次)	追加コミュニケーション対象第 2 回 AUE 研修(スング②)	2012 年 12 月 17 日 ～ 19 日	3 日間	36 名	同上	同上
<b>【3】給水施設の保守・修理体制及び能力の強化に関する活動(成果3関連)</b>						
2010 年度 (1 年次)	第 1 回修理工会議(カンス ルグ県)	2010 年 5 月 10 日	1 日間	16	ポンプ修理工	リフォームにおける 修理体制の確認、データベー スの整備等
2010 年度 (1 年次)	第 1 回修理工会議(クルウ エオコ県)	2010 年 5 月 12 日	1 日間	24	同上	同上
2010 年度 (1 年次)	第 1 回修理工会議(ウブリ テガ県)	2010 年 5 月 14 日	1 日間	47	同上	同上
2010 年度 (2 年次)	ポンプ修理工ワークショップ (カンスルグ県)	2010 年 10 月 4 日	1 日間	20	ポンプ修理工	リフォームに関する 理解、コミュニティ の契約手続き方法等
2010 年度 (2 年次)	ポンプ修理工ワークショップ (クルウエオコ県)	2010 年 10 月 6 日	1 日間	21	同上	同上
2010 年度 (2 年次)	ポンプ修理工ワークショップ (ウブリテガ県)	2010 年 10 月 8 日	1 日間	19	同上	同上
2010 年度 (2 年次)	第 2 回修理工会議(カンス ルグ県)	2011 年 2 月 17 日	1 日間	21	ポンプ修理工	営業認可証の配 布、修理工組合 の活動等
2010 年度 (2 年次)	第 2 回修理工会議(クルウ エオコ県)	2011 年 2 月 18 日	1 日間	24	同上	同上
2010 年度 (2 年次)	第 2 回修理工会議(ウブリ テガ県)	2011 年 2 月 21 日	1 日間	20	同上	同上
2010 年度 (2 年次)	第 1 回ポンプ修理業者研 修	2011 年 3 月 1 日～4 日	4 日間	42	修理業者、県・コミュニティ職員	給水施設保守巡 回業務に関する 契約内容、入札 手続き、巡回モニ タリング、修理工 料金の設定等

年度	コース名 (研修内容)	開催日	期間	参加 人数	対象者	備 考
2011 年度 (2 年次)	第 3 回修理工会議(カンスル <sup>ゴ</sup> 県)	2011 年 4 月 5 日	1 日間	19	ポンプ修理工	不足工具の確認、管理方法・体制の確認、スぺアパーツ管理方法、入札準備等
2011 年度 (2 年次)	第 3 回修理工会議(クルエ <sup>オ</sup> コ <sup>ゴ</sup> 県)	2011 年 4 月 6 日	1 日間	17	同上	同上
2011 年度 (2 年次)	第 3 回修理工会議(ウブリ <sup>テ</sup> ン <sup>ガ</sup> 県)	2011 年 4 月 7 日	1 日間	18	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	第 4 回修理工会議(カンスル <sup>ゴ</sup> 県)	2011 年 8 月 23 日	1 日間	18	ポンプ修理工	供与工具の確認、管理方法・体制確認、スぺアパーツ販売・管理方法など
2011 年度 (3 年次)	第 4 回修理工会議(クルエ <sup>オ</sup> コ <sup>ゴ</sup> 県)	2011 年 8 月 24 日	1 日間	15	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	第 4 回修理工会議(ウブリ <sup>テ</sup> ン <sup>ガ</sup> 県)	2011 年 8 月 25 日	1 日間	18	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	修理工ワークショップ(カンスル <sup>ゴ</sup> 県)	2011 年 11 月 4 日	1 日間	12	ポンプ修理工	リフォームの概念・各関係者の役割及び責任の抗議、修理業者としての申請手続き等
2011 年度 (3 年次)	修理工ワークショップ(クルエ <sup>オ</sup> コ <sup>ゴ</sup> 県)	2011 年 11 月 3 日	1 日間	10	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	修理工ワークショップ(ウブリ <sup>テ</sup> ン <sup>ガ</sup> 県)	2011 年 11 月 2 日	1 日間	15	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	第 2 回ポンプ修理業者研修	2011 年 11 月 8 日～11 日	4 日間	32	修理業者、県職員	保守巡回モニタリング活動、重解業務実施後の報告・精算手続き
2011 年度 (3 年次)	第 3 回修理工研修(ウブリ <sup>テ</sup> ン <sup>ガ</sup> 県)	2012 年 2 月 13 日～17 日	5 日間	19	修理工	複数のポンプ機種の修理・保守点検、巡回モニタリングに関する技術及び強化の習得
2011 年度 (3 年次)	第 3 回修理工研修(クルエ <sup>オ</sup> コ <sup>ゴ</sup> 県)	2012 年 2 月 20 日～20 日	5 日間	16	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	第 3 回修理工研修(カンスル <sup>ゴ</sup> 県)	2012 年 2 月 27 日～3 月 2 日	5 日間	19	同上	同上
2012 年度 (3 年次)	修理工組合管理研修	2012 年 5 月 21 日～23 日	3 日間	18		修理工組合の在庫管理・資金管理の知識の習得
2012 年度 (4 年次)	ポンプ修理業者組合連合設立総会	2012 年 9 月 24 日	1 日間	80	ポンプ修理工(組合構成員)、地方局・県局職員	中央プラトー地方における県修理業者組合連合の設立総会
2012 年度 (4 年次)	第 1 回追加コ <sup>ム</sup> ニ <sup>ン</sup> 修理業者研修(クルエ <sup>オ</sup> コ <sup>ゴ</sup> 県)	2012 年 10 月 1 日～4 日	4 日間	30	修理業者、県・コ <sup>ム</sup> ニ <sup>ン</sup> 職員	給水施設保守巡回業務に関する契約内容、入札手続き、巡回モニタリング、修理料金の設定等
2012 年度 (4 年次)	第 1 回追加コ <sup>ム</sup> ニ <sup>ン</sup> 修理業者研修(カンスル <sup>ゴ</sup> 県)	2012 年 10 月 8 日～11 日	4 日間	43	修理業者、県・コ <sup>ム</sup> ニ <sup>ン</sup> 職員	同上

添付資料 6

年度	コース名 (研修内容)	開催日	期間	参加 人数	対象者	備 考
2012 年度 (4 年次)	ウブリテン <sup>1</sup> 県修理業者対 象ブラッシュアップ <sup>2</sup> 研修	2012 年 10 月 15 日 ～18 日	4 日間	35	修理業者・アシスタント、県局職 員	給水施設保守巡 回業務に関する 契約内容、入札 手続き、巡回モニ タリング手法、修理 料金の設定、水 質評価手法等
2012 年度 (4 年次)	第 2 回追加コミュニティ修理業 者研修(クルウェゴ <sup>3</sup> 県)	2012 年 10 月 22 日 ～25 日	4 日間	24	修理業者・アシスタント、県局職 員	保守巡回モニタリ ング活動、重解業 務実施後の報 告・精算手続き
2012 年度 (4 年次)	第 2 回追加コミュニティ修理業 者研修(カンスル <sup>4</sup> 県)	2012 年 11 月 5 日～ 8 日	4 日間	32	修理業者・アシスタント	同上
<b>【4】衛生啓発・教育に関する活動(成果4関連)</b>						
2009 年度 (1 年次)	衛生普及活動シナジーミーテ ィング <sup>5</sup>	2009 年 9 月 11 日	1 日間	16 名	DGAEUE、DGRE、 DHPES/MS、 DGRE/SDI-AEP、 DRDP/MEBA、 DRAHRH/PCL、UNICEF、 DANIDA、JICA、CREPA Burkina、APS、Water Aid	アクター間の連携 確認、衛生啓 発・教育教材の 策定について
2009 年度 (1 年次)	衛生啓発・教育教材作成 ワークショップ <sup>6</sup>	2009 年 10 月 6 日	1 日間	17 名	DGAEUE、DGRE、 DHPES/MS、 DGRE/SDI-AEP、 DRDP/MEBA、 DRAHRH/PCL、UNICEF、 DANIDA、JICA、CREPA Burkina、APS、Water Aid、 ACF、ONEA	教材案の内容確 認・情報の追 加、PHAST カード <sup>7</sup> のイメージ確認・修 正等
2009 年度 (1 年次)	行政指導員に対する衛 生教育啓発活動指導者 育成研修	2010 年 3 月 22 日～ 26 日	5 日間	34 名	DRAH/PCL、 DREBA/PCL、DRS/PCL、 DPAH、DPEBA、DS、 ZAT、CEB/CPI、 CSPS/AIS、ハイロットコミュニティ、 ACF、APS	啓発活動手法の 習得、プロジェクト 実施メカニズム、 フォローアップシ ステムの理解促 進
2010 年度 (1 年次)	住民アニメーター研修(ダ <sup>8</sup> ペ ロコ)	2010 年 4 月 29 日～ 30 日	2 日間	29	対象 5 村落及び 4 小学校	啓発活動手法、 問題・課題分析 方法の習得等
2010 年度 (1 年次)	住民アニメーター研修(ソル ゴ)	2010 年 4 月 21 日～ 22 日	2 日間	41	対象 7 村落及び 6 小学校	同上
2010 年度 (1 年次)	住民アニメーター研修(トエ ケン)	2010 年 4 月 15 日～ 16 日	2 日間	24	対象 4 村落及び 4 小学校	同上
2010 年度 (2 年次)	衛生教材改訂ワークショップ <sup>9</sup>	2010 年 9 月 23 日	1 日間	12 名	水資源総局、衛生・汚水・廃 棄物総局、DRAH、保健省、 水道・衛生公社、NGO等	1 年次に作成し た衛生啓発教 材・マニュアルの改 訂
2010 年度 (2 年次)	行政指導員フォローアップ研 修	2010 年 9 月 13 日～ 15 日	3 日間	33 名	行政スーパーバイザー、コミュ ン代表者等	1 年次の活動確 認、フォローアップ・モ ニタリング方法等
2010 年度 (2 年次)	行政指導員研修	2010 年 10 月 18 日 ～22 日	5 日間	24 名	ZAT/UAT、視学官、教育指 導員、保健指導員等	給水・衛生施設 の管理方法、衛 生行動改善促進 のための知識の 習得及び実践
2010 年度 (2 年次)	住民アニメーター研修(ダ <sup>8</sup> ペ ロコ)	2010 年 11 月 24 日 ～25 日	2 日間	120	住民アニメーター	衛生啓発活動の 実践、問題と課題 の分析方法の習 得等

年度	コース名 (研修内容)	開催日	期間	参加 人数	対象者	備 考
2010 年度 (2 年次)	住民アニメーター研修(ゾルゴ①)	2010 年 11 月 2 日～ 3 日	2 日間	96	同上	同上
2010 年度 (2 年次)	住民アニメーター研修(ゾルゴ②)	2010 年 11 月 8 日～ 9 日	2 日間	109	同上	同上
2010 年度 (2 年次)	住民アニメーター研修(トエケン)	2010 年 11 月 18 日 ～19 日	2 日間	82	同上	同上
2010 年度 (2 年次)	衛生教育教員研修(ダヘロコ)	2011 年 1 月 27 日～ 28 日	2 日間	138	小学校教員	衛生啓発活動の 実践、問題と課 題の分析方法の 習得等
2010 年度 (2 年次)	衛生教育教員研修(トエケン)	2011 年 1 月 20 日～ 21 日	2 日間	53	同上	同上
2010 年度 (2 年次)	衛生教育教員研修(ゾルゴ)	2011 年 2 月 2 日～3 日	2 日間	209	同上	同上
2011 年度 (3 年次)	衛生啓発・教材改訂会合①	2011 年 8 月 23 日	1 日間	53 名	農業水利省・保健省・国民 教育識字省のそれぞれ地 方局、県局、コミューン機関等	これまでに実践 されてきた現場 活動に基づいた 教材改訂
2011 年度 (3 年次)	衛生啓発・教材改訂会合②	2011 年 9 月 13 日	1 日間	19 名	農業水利省、国民教育・識 字省、保健省関係局、 NGO、JICA	教材(改定案)の 最終化
2011 年度 (3 年次)	衛生行政指導者研修	2011 年 10 月 4 日～ 8 日	5 日間	64 名	衛生スーパーバイザー、農業水 利省、国民教育・識字省、 保健省関係局、NGO、JICA	給水・衛生施設の 管理方法、衛生 行動改善促進の ための知識の習 得及び実践
2011 年度 (3 年次)	衛生行政指導員フォローアップミーティング(ゾルゴ)	2011 年 10 月 31 日	1 日間		衛生スーパーバイザー、 ZAT/UAT、視学官、教育指 導員、保健指導員等	村落・学校におけ る衛生啓発・教育 活動のレビュー、村 落・学校の衛生状 況の把握、衛生 活動実践者の活 動継続への意欲 の確認
2011 年度 (3 年次)	衛生行政指導員フォローアップミーティング(ダヘロコ)	2011 年 11 月 14 日	1 日間		同上	同上
2011 年度 (3 年次)	衛生行政指導員フォローアップミーティング(トエケン)	2011 年 11 月 15 日	1 日間		同上	同上
2011 年度 (3 年次)	衛生教育教員再研修(ダヘロコ)	2012 年 1 月 12 日～ 14 日	3 日間	139 名	小学校教員	PHAST 手法の実 施方法等
2011 年度 (3 年次)	衛生教育教員再研修(トエケン)	2012 年 2 月 2 日～4 日	3 日間	60 名	小学校教員	同上
2011 年度 (3 年次)	衛生教育教員再研修(ゾルゴ)	同上	3 日間	209 名	小学校教員	同上
2011 年度 (3 年次)	住民アニメーター再研修(ダヘロコ)	2012 年 1 月 26 日～ 28 日	3 日間	161 名	住民アニメーター	同上
2011 年度 (3 年次)	住民アニメーター再研修(トエケン)	2012 年 2 月 2 日～4 日	3 日間	98 名	住民アニメーター	同上
2011 年度 (3 年次)	住民アニメーター再研修(ゾルゴ①)	2012 年 1 月 26 日～ 28 日	3 日間	99 名	住民アニメーター	同上
2011 年度 (3 年次)	住民アニメーター再研修(ゾルゴ②)	2012 年 1 月 19 日～ 21 日	3 日間	103 名	住民アニメーター	同上
2011 年度 (3 年次)	第 1 回衛生啓発・教育活動モニタリング会合(ダヘロコ)	2012 年 1 月 4 日	1 日間		衛生行政指導員	モニタリング結果の 確認と情報共有
2011 年度 (3 年次)	第 1 回衛生啓発・教育活動モニタリング会合(トエケン)	2012 年 1 月 5 日	1 日間		同上	モニタリング結果の 確認と情報共有
2011 年度 (3 年次)	第 1 回衛生啓発・教育活動モニタリング会合(ゾルゴ)	2012 年 1 月 6 日	1 日間		同上	モニタリング結果の 確認と情報共有

添付資料 6

年度	コース名 (研修内容)	開催日	期間	参加 人数	対象者	備 考
2011 年度 (3 年次)	第 2 回衛生啓発・教育活動モニタリング会合(タペロ)	2012 年 3 月 19 日	1 日間		同上	モニタリング結果の 確認と情報共有
2011 年度 (3 年次)	第 2 回衛生啓発・教育活動モニタリング会合(トゲン)	同上	1 日間		同上	モニタリング結果の 確認と情報共有
2011 年度 (3 年次)	第 2 回衛生啓発・教育活動モニタリング会合(ソルゴ)	2012 年 3 月 20 日	1 日間		同上	モニタリング結果の 確認と情報共有
<b>【5】給水及び衛生状況のモニタリング・評価に関する活動(成果5関連)</b>						
2009 年度 (1 年次)	DRAH 職員対象給水施設維持管理システム研修	2010 年 2 月 17 日～ 19 日	3 日間	31 名	DRAH 水資源部職員、 DPAH 水資源部職員 ZAT 職員	リフォームに基づく 給水施設維持管理 システムの紹介、アクター (AUE、コミュニティ、 ポンプ修理業者 等)の関係等の 習得
2010 年度 (2 年次)	DRAH 職員対象給水施設維持管理システム研修	2011 年 2 月 14 日～ 18 日	5 日間	63 名	DRAH 水資源部職員、 DPAH 水資源部職員 ZAT・UAT 職員	同上
2011 年度 (3 年次)	研修講師養成 DRAH/DPAH 研修	2012 年 3 月 12 日～ 16 日	5 日間	11 名	DRAH 水資源部職員、 DPAH 局長・水資源部職員	11 追加コミュニティ 対象研修のための 講師研修
2012 年度 (3 年次)	研修講師養成 DRAH/DPAH/ZAT 研修	2012 年 5 月 7 日～ 11 日	5 日間	27 名	DRAH 水資源部職員、 DPAH 水資源部職員 20 コミュニティの ZAT 長	11 追加コミュニティ AUE 対象の第 1 回研修のための 講師研修
2012 年度 (4 年次)	DRAH 職員対象給水施設維持管理システム再研修	2012 年 9 月 26 日～ 28 日	3 日間	36 名	DRAH 水資源部職員・その 他職員、DPAH 局長・水資源 部職員 ZAT 長・UAT 長	リフォームに基づく 給水施設維持管理 システムの紹介、アクター (AUE、コミュニティ、 ポンプ修理業者 等)の関係、 DRAH/DPAH の リフォーム適用化と その定着に係る 役割等の習得
2012 年度 (4 年次)	DRAH 職員対象給水施設維持管理システム再研修	2012 年 10 月 1 日～ 3 日	3 日間	45 名	同上	同上

PROCES-VERBAL DES DISCUSSIONS  
 ENTRE  
 L'EQUIPE DE JICA POUR L'EVALUATION FINALE  
 ET  
 LE MINISTERE DE L'EAU, DES AMENAGEMENTS HYDRAULIQUES ET DE  
 L'ASSAINISSEMENT DU GOUVERNEMENT DU BURKINA FASO  
 SUR  
 LE PROJET DE COOPERATION TECHNIQUE POUR LE RENFORCEMENT DE LA GESTION  
 DES INFRASTRUCTURES HYDRAULIQUES D'APPROVISIONNEMENT  
 EN EAU POTABLE ET DE PROMOTION DE L'HYGIENE ET DE L'ASSAINISSEMENT  
 DANS LE PLATEAU CENTRAL (PROGEA/PCL)

L'équipe d'évaluation finale conjointe organisée par l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après dénommé «JICA») et le Ministère de l'Eau, des Aménagements Hydrauliques et de l'Assainissement et conduite par M. Tatsuya IMAI (ci-après dénommé «l'équipe»), a mené l'évaluation finale au Burkina Faso du 24 janvier au 14 février 2013 sur la coopération technique japonaise pour le Projet de renforcement de la gestion des infrastructures hydrauliques d'approvisionnement en eau potable et de promotion de l'hygiène et de l'assainissement dans le Plateau Central (ci-après dénommé « le Projet »).

Pendant son séjour, l'équipe et les autorités burkinabè concernées ont eu une série de discussions et d'échanges sur le Projet.

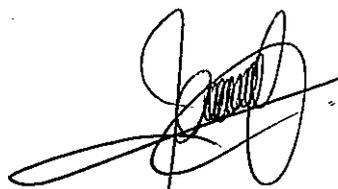
Comme résultat de l'étude intensive et de l'analyse des activités et des réalisations du Projet, l'équipe a élaboré le Rapport d'évaluation finale conjointe (ci-après dénommé «le Rapport») joint en appendice au présent PV et l'a présenté au Comité de pilotage du Projet tenu le 13 février 2013.

Suite aux discussions à l'égard des recommandations et problématiques pour la mise en œuvre avec succès du Projet, le comité de pilotage a adopté le contenu et les points décrits dans le Rapport. Les représentants respectifs des parties burkinabè et japonaise ont convenu des points mentionnés dans le document attaché.

A Ouagadougou, le 14 février 2013



M. Tatsuya IMAI  
 Chef de l'équipe  
 Equipe d'évaluation finale  
 JICA



M. Jacob OUÉDRAOGO  
 Secrétaire Général  
 Ministère de l'Eau, des Aménagements  
 Hydrauliques et de l'Assainissement  
 Burkina Faso

## Attachement

### 1. Le Rapport

Le Rapport ci-joint a été expliqué par l'équipe au comité de pilotage. La conclusion, les problématiques et les recommandations ont été discutées entre l'équipe et le comité de pilotage. Le Rapport a été accepté et adopté par le comité de pilotage.

### 2. Les recommandations discutées et convenues au comité de pilotage sont les suivantes :

#### (1) Partager les résultats du projet

Le présent projet a généré les connaissances et expériences utiles qui seront requises dans le processus de mise en œuvre de la Réforme, comme méthodologies à suivre pour la mise en place des AUE et l'amélioration du comportement en matière d'hygiène et d'assainissement. Les travaux ont déjà commencé, afin de capitaliser ces connaissances et expériences sous forme de manuel. Les parties prenantes du projet devront s'efforcer de transmettre les informations liées aux résultats du projet et à l'élaboration de ces manuels aux structures concernées, de sorte à bien partager ces connaissances et expériences entre les différents acteurs travaillant pour l'application de la Réforme dans les différentes régions du pays et à les faire exploiter par eux. Les solutions envisagées par rapport aux problèmes pourraient servir d'expériences pour la révision du processus et des outils de mise en œuvre de la Réforme, il sera souhaitable de les intégrer dans le manuel sous forme d'enseignements tirés.

#### (2) Entamer des démarches pour l'acquisition budgétaire à partir de 2014

Comme décrit ci-dessus, afin de s'assurer de la pérennité organisationnelle des AUE, les activités de sensibilisation à travers les visites de villages par les agents des ZAT/UAT et d'autres structures, seront nécessaires jusqu'à ce que tous arrivent à la compréhension du sens de la Réforme et que le paiement des tarifs d'eau soit perpétuel par tous les habitants solvables des villages concernés. Le budget d'appui aux activités des ZAT/UAT est déjà acquis pour l'exercice 2013, mais le maintien budgétaire après 2014 reste un problème à résoudre. Les services concernés du MAH, à commencer par la DGRE, devront assumer la démarche auprès des services compétents pour le maintien du budget de la Réforme dans la région du Plateau Central pour l'exercice 2014 et après.

#### (3) Prendre des mesures incitatives à l'égard des animateurs villageois en charge de la PHA

Le comportement des populations en matière d'hygiène et d'assainissement a déjà changé au niveau des villages des 3 communes pilotes. Pour que ce comportement en matière d'hygiène et d'assainissement soit implanté dans leur habitude, il sera souhaitable que les animateurs villageois formés poursuivent leurs activités après la fin du projet. A cet effet, les communes sont appelées à assurer, en collaboration avec les structures concernées (le MAH, le MENA et le MS), l'appui aux activités des animateurs villageois pour soutenir leur volonté par l'organisation des concours d'hygiène, lors des journées d'excellence du MENA, par exemple.

#### (4) Elargir les activités de la PHA

Les manuels PHA élaborés par le projet vont être mis à jour en prévoyant leur application dans le pays. Il sera souhaitable que les activités PHA soient mises en œuvre dans les autres communes de la région autres que communes pilotes et dans les autres régions en se référant à ces manuels. Concernant les activités PHA à mener aux écoles, il sera utile d'envisager la mise en œuvre des activités en impliquant les comités de gestion des écoles, en collaboration avec le MENA. Pour se faire la DGAEUE doit œuvrer à une inscription budgétaire sur le budget de l'Etat pour prendre en charge ces activités.

#### (5) Renforcer les capacités des communes

Pour ce qui concerne l'administration communale, des services d'eau et d'assainissement existent dans une partie des communes avec l'appui financier des PTF ou ONG. Pour le moment, le personnel dans le secteur de l'eau et de l'assainissement et les activités ne sont pas pris en charge par le budget communal. La Réforme consistant à accompagner le transfert des compétences sur la gestion des IH d'AEP aux communes, il est préférable qu'à l'avenir, les structures concernées apportent leur appui pour la mise en place des services de l'eau et de l'assainissement, l'affectation de personnels et budget. A ce moment, il sera souhaitable de mettre en valeur le personnel existant,

comme les points focaux détachés aux communes de la part des services centraux.

3. Le souhait de la partie burkinabè

La prolongation du PROGEA/PCL jusqu'à fin 2013 dans le but d'accompagner les communes surtout dans le renforcement de capacités et la mise en place effective des services d'eau et d'assainissement.

La mise en œuvre des projets similaires dans d'autres régions.

Pièce jointe : Rapport de l'évaluation finale conjointe

fo



Document en appendice

**RAPPORT DE L'EVALUATION FINALE CONJOINTE**

**COOPERATION TECHNIQUE JAPONAISE**

**LE PROJET DE RENFORCEMENT DE LA GESTION DES  
INFRASTRUCTURES HYDRAULIQUES  
D'APPROVISIONNEMENT EN EAU POTABLE ET DE  
PROMOTION DE L'HYGIENE ET DE L'ASSAINISSEMENT  
DANS LE PLATEAU CENTRAL  
(PROGEA/PCL)**

**Février 2013**  
**Equipe d'évaluation conjointe**

## Tableau des sigles

ABS	Appui Budgétaire Sectoriel
APD	Assistance Publique au Développement
AUE	Association des Usagers de l'Eau
CFA	Communauté Financière Africaine
CPE	Comité de Point d'Eau
CSLP	Cadre Stratégique de Lutte contre la Pauvreté
DGAEUE	Direction Générale de l'Assainissement, des Eaux Usées et des Excrétas, MAH
DGRE	Direction Générale des Ressources en Eau, MAH
DPAH	Direction Provinciale de l'Agriculture et de l'Hydraulique, MAH
DRAH	Direction Régionale de l'Agriculture et de l'Hydraulique, MAH
DRAH/PCL	Direction Régionale de l'Agriculture et de l'Hydraulique du Plateau Central, MAH
JICA	Agence Japonaise de Coopération Internationale
MAH	Ministère de l'Agriculture et de l'Hydraulique
OMD	Objectifs du Millénum pour le Développement
ONG	Organisation Non-Gouvernementale
PHA	Promotion de l'Hygiène et de l'Assainissement
PHAST	Participatory Hygiene and Sanitation Transformation
PIB	Produit Intérieur Brut
PMH	Pompes à Manivelle Humaine
PN-AEPA	Programme National d'Approvisionnement en Eau Potable et d'Assainissement
PTF	Partenaire Technique et Financier
PV	Procès-verbal des discussions
SCADD	Stratégie de Croissance Accélérée et de Développement Durable
UAT	Unité d'Animation Technique
ZAT	Zone d'Appui Technique

## Table des matières

1. Aperçu de l'étude d'évaluation finale.....	1
1.1 Contexte et objectifs de l'étude.....	1
1.2 Composition de l'équipe d'évaluation conjointe .....	1
1.3 Calendrier de l'étude.....	1
1.4 Méthodologie de l'étude.....	2
1.5 Collecte de données.....	2
1.6 Aperçu du projet.....	2
2. Réalisations du projet.....	3
2.1 Mise en place des intrants.....	3
2.2 Etat d'accomplissement des résultats.....	3
2.2.1 Etat d'achèvement du résultat 0.....	3
2.2.2 Etat d'achèvement du résultat 1.....	4
2.2.3 Etat d'achèvement du résultat 2.....	5
2.2.4 Etat d'achèvement du résultat 3.....	6
2.2.5 Etat d'achèvement du résultat 4.....	7
2.2.6 Etat d'achèvement du résultat 5.....	8
2.3 Etat d'accomplissement de l'objectif du projet.....	9
2.4 Possibilité d'atteinte du but global.....	10
2.5 Processus de mise en œuvre.....	11
2.5.1 Etat d'avancement des activités.....	11
2.5.2 Difficultés rencontrées dans le processus de mise en œuvre du projet.....	11
2.5.3 Communication et suivi-évaluation.....	13
2.5.4 Etat de démarche à l'égard des recommandations formulées par la revue à mi-parcours.....	13
3. Résultats d'évaluation en fonction de 5 critères.....	14
3.1 Pertinence.....	14
3.2 Efficacité.....	14
3.3 Efficience.....	14
3.4 Impacts.....	15
3.5 Durabilité.....	15
4. Conclusion.....	15
5. Recommandations et enseignements à tirer .....	16
5.1 Recommandations.....	16
5.2 Enseignements à tirer.....	17
Annexe-1 : Calendrier de l'étude.....	18
Annexe-2 : Liste des personnes rencontrées.....	19
Annexe-3 : Cadre logique du Projet.....	22
Annexe-4 : Réalisations des intrants.....	27
Annexe-5 : Grille d'évaluation.....	50

## 1. Aperçu de l'étude d'évaluation finale

### 1.1 Contexte et objectif de l'étude

Le gouvernement du Burkina Faso s'est lancé très tôt dans la lutte contre la pauvreté, qui a abouti en juin 2003 à la validation du «Cadre Stratégique de Lutte contre la Pauvreté (CSLP)» et par la suite à son renouvellement par la «Stratégie de Croissance Accélérée et de Développement Durable (SCADD)» adoptée en décembre 2010. Dans la SCADD, le secteur de l'eau et de l'assainissement est placé dans une des quatre axes stratégiques : «l'accroissement des revenus par la consolidation du capital humain à travers l'aménagement des services sociaux», et l'accent est mis sur l'amélioration du taux d'accès à l'eau potable et à l'assainissement. Il n'en reste pas moins que selon les statistiques burkinabè le taux d'accès à l'eau potable en milieu rural est de 58,5 % contre 80 % en milieu urbain et le taux d'accès aux installations d'assainissement en milieu rural n'est que de 0,8 %, par rapport au milieu urbain qui est de 21,5 % (chiffres de 2011). Dans ce contexte, le gouvernement burkinabè a élaboré le «Programme national d'approvisionnement en eau potable et d'assainissement à l'horizon 2015 (PN-AEPA 2015)», dans le but de réduire de moitié, au plus tard en 2015, la proportion de la population qui n'a pas accès, de façon durable, à un approvisionnement en eau potable et à l'assainissement en 2005, conformément aux Objectifs du Millénaire pour le Développement (OMD).

Dans l'optique de la mise en œuvre du PN-AEPA, le gouvernement du Burkina Faso a adressé au gouvernement du Japon, en 2005, une demande pour une aide financière non-remboursable en faveur du «Projet d'approvisionnement en eau potable dans les régions du Plateau Central et du Centre Sud», consistant en la construction des infrastructures d'AEPA dans les six (06) provinces de ces deux régions qui n'ont pas bénéficié jusque-là d'appui technique et financier du Japon. Le Projet a démarré en 2009 pour s'achever en 2012 et la deuxième phase dont la négociation est assez avancée va bientôt commencer.

Pour ce qui concerne le volet de la gestion/maintenance des infrastructures d'approvisionnement en eau potable (AEP), à travers l'organisation des usagers de l'eau, la pratique du recouvrement des tarifs d'eau et l'exploitation adéquate des infrastructures, le gouvernement burkinabè a formulé en 2006 une requête pour une coopération technique en faveur du présent projet, qui vise l'implantation d'un système de gestion et de maintenance par les usagers de l'eau et la promotion de la santé, de l'hygiène et de l'assainissement dans les deux régions en question. En réponse à cette requête, la JICA a envoyé en juillet 2007 une mission d'étude préliminaire pour conclure un accord sur l'ébauche du procès-verbal des discussions. Mais, suite à une modification du cadre du projet d'aide financière non-remboursable ci-dessus cité avec lequel le présent projet devrait entrer en synergie et pour d'autres raisons, la JICA a procédé, en décembre 2008, à une nouvelle étude préliminaire, pour arriver à la signature du PV le 30 mars 2009 pour un projet couvrant la seule région du Plateau Central. Ainsi le projet de renforcement de la gestion des infrastructures hydrauliques d'AEP et de PHA dans le Plateau Central (PROGEA/PCL) a démarré en juin 2009. Depuis le début du PROGEA/PCL les experts japonais sont envoyés chaque année pour les activités du projet et en août 2012 ils sont envoyés pour les activités de la quatrième et dernière année.

La fin du projet étant prévue en mai 2013, une étude d'évaluation finale a été conduite conjointement par les parties burkinabè et japonaise, pour déterminer le degré d'achèvement des activités du projet, procéder à une évaluation intégrée du projet en fonction de cinq (5) critères (pertinence, efficacité, efficience, impact et durabilité), afin de formuler des recommandations pour les activités résiduelles du projet et pour d'éventuelles améliorations du système de gestion des IH d'AEP.

### 1.2 Composition de l'équipe d'évaluation finale

#### (1) La partie japonaise

JICA		
Chef de mission	IMAI Tatsuya	Directeur, 2 <sup>nd</sup> e Division de la gestion des ressources en eau, Département de l'environnement global, JICA
Planification de la coopération	KAGEYAMA Tadashi	2 <sup>nd</sup> e Division de la gestion des ressources en eau, Département de l'environnement global, JICA
Evaluation et analyse	KUBO Hideyuki	Consultant, Global Link Management
Interprète	MORITA Toshiyuki	Japan International Cooperation Center

#### (2) La partie burkinabè

M. ZONGO Trinita	Direction des Etudes et de la Planification (DEP), Ministère de l'Agriculture et de l'Hydraulique (MAH)
M. OUBDA Jean	Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable (DAEP), Direction Générale des Ressources en Eau (DGRE), MAH

### 1.3 Calendrier de l'étude

La partie japonaise de l'équipe d'évaluation finale a séjourné au Burkina Faso pendant 22 jours du 24 janvier au 14 février 2013. (Voir l'Annexe-1)

### 1.4 Méthodologie de l'étude

La présente étude d'évaluation finale a été conçue conformément aux nouvelles «Lignes directives de la JICA pour l'évaluation des projets (1<sup>ère</sup> version)» et suivant le cadre logique du projet (Voir l'Annexe-3). Les points essentiels de la conception peuvent être résumés comme suit :

- ◆ Suite à l'examen des réalisations et du processus de mise en œuvre, procéder à l'évaluation en fonction de cinq critères, pour en déduire des recommandations et des enseignements ;
- ◆ Concernant les réalisations, confirmer la mise en place effective des intrants, le degré d'atteinte des résultats et objectif spécifique du projet, ainsi que la possibilité d'atteinte du but global ;
- ◆ Concernant le processus de mise en œuvre du projet, confirmer l'état d'exécution des intrants et les problématiques rencontrées sur le plan de la gestion du projet ;
- ◆ Extraire les facteurs facilitant et entravant l'atteinte de l'objectif du projet ;

Les cinq critères d'évaluation sont définis comme suit :

#### 1. Pertinence

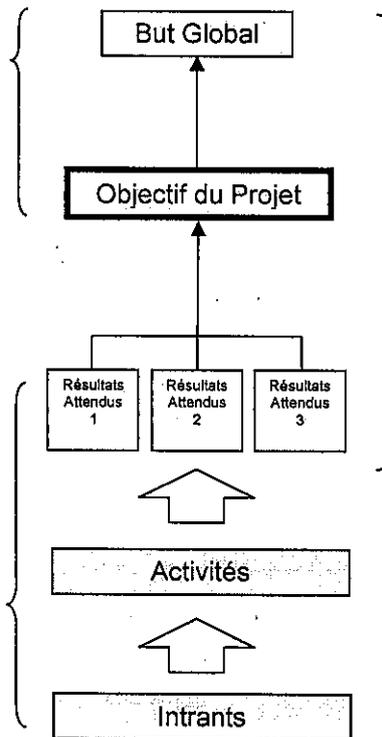
La pertinence du projet est évaluée du point de vue de la validité de l'objectif du projet et du but global par rapport à la politique-cadre du gouvernement du Burkina Faso et aux besoins des bénéficiaires.

#### 2. Efficacité

L'efficacité est évaluée par l'analyse de la probabilité d'atteindre l'objectif du projet à la fin de la période du projet et la mesure dans laquelle les résultats contribuent à la réalisation du but du projet.

#### 3. Efficience

L'efficience de la mise en œuvre du projet est analysée en se focalisant sur la relation entre les intrants et les résultats en termes de calendrier, de qualité et de quantité.



#### 4. Impact

L'impact des activités du projet est identifié en examinant les effets positifs et négatifs qui sont causés ou susceptibles d'être causés par le projet. Ils intègrent les effets qui n'étaient pas initialement prévus dans le plan du projet.

#### 5. Durabilité

La durabilité du projet est évaluée en analysant la mesure dans laquelle les acquis du projet seront maintenus ou étendus après la fin du projet. L'analyse est faite des points de vue organisationnel, financier, technique, social et environnemental.

Source : Etabli par l'équipe d'étude d'après les nouvelles «Lignes directives de la JICA pour l'évaluation des projets (1<sup>ère</sup> version)».

### 1.5 Collecte de données

Les méthodes de collecte de données et sources d'informations de l'étude seront principalement :

- ◆ Documents de conception du projet, tels que PV des discussions, entente de coopération, rapports d'évaluations préliminaires, etc.
- ◆ Documents du projet, tels que rapports sur l'état d'avancement des activités, rapport intermédiaire, rapport de la revue à mi-parcours, etc.
- ◆ Interview auprès des experts japonais, des homologues et des différentes parties prenantes du projet
- ◆ Interview auprès des membres de l'exécutif des AUE des sites cibles.

### 1.6 Aperçu du projet

(1) Période de la coopération : de juin 2009 à mai 2013 (4 ans)

(2) Organismes homologues : Ministère de l'Agriculture et de l'Hydraulique (MAH)<sup>1</sup>

Au niveau central :

Direction Générale des Ressources en Eau (DGRE)

Direction Générale de l'Assainissement, des Eaux

<sup>1</sup> Le MAH a été scindé au début janvier 2013 en deux ministères : Ministère de l'Agriculture et de la Sécurité Alimentaire et Ministère de l'Eau, des Aménagements hydrauliques et de l'Assainissement. Nous continuons à utiliser l'ancienne entité dans ce rapport.

Usées et Excrétas (DGAEUE)  
 Au niveau déconcentré : Direction Régionale de l'Agriculture et de  
 l'Hydraulique du Plateau Central (DRAH/PCL)

(3) Aperçu du Cadre logique du Projet (révisé le 19 septembre 2011)

But global	Dans la région du Plateau Central, l'environnement en matière de santé, d'hygiène et d'assainissement est amélioré.
Objectif du projet	L'état de gestion et de maintenance des IH et le comportement en matière d'hygiène et d'assainissement des populations sont améliorés dans les communes cibles.
Résultats attendus	1 Le système de gestion et de maintenance des infrastructures hydrauliques (IH) est établi dans les communes cibles conformément à la Réforme.
	2 Les capacités des organisations villageoises dans la gestion et la maintenance des IH sont renforcées.
	3 En ce qui concerne la gestion et la maintenance des IH, le système d'approvisionnement en pièces détachées et celui de réparation sont améliorés.
	4 Dans les 3 communes cibles du Plateau Central, le comportement en matière d'hygiène et d'assainissement des populations sont améliorés.
	5 Chaque Direction provinciale de l'Agriculture et de l'Hydraulique (DPAH) arrive à : effectuer le suivi-évaluation de l'état d'approvisionnement en eau, d'hygiène et d'assainissement : accorder des appuis-conseils aux communes.

## 2. Réalisations du projet

### 2.1 Mise en place des intrants

Les intrants mis en place par les deux parties, japonaise et burkinabè, depuis le début du projet sont montrés dans les tableaux suivants. Voir les détails dans l'Annexe-4.

#### (1) Intrants mis en place par la partie japonaise

Experts	12 experts japonais ont été envoyés, pour couvrir les domaines suivant : chef de l'équipe ; renforcement de capacités d'organisation ; AEP en milieu rural ; éducation en hygiène ; gestion et maintenance des IH d'AEP ; coordination des formations, administration
Formation au Japon	Au total 9 participants ont suivi des formations au Japon.
Fourniture d'équipements	Equipements et matériels, tels que motocycles, onduleurs (asi), PC, imprimantes, copieuses, projecteurs, etc. ont été fournis
Frais locaux	Le montant total de 164 151 195 yens a été dépensé jusqu'à la fin décembre 2012 comme frais locaux.

#### (2) Intrants mis en place par la partie burkinabè

Affectation des homologues	Au total 70 personnes ont été affectées comme homologues au présent projet au niveau central et local.
Mise à la disposition des locaux	Les locaux de bureau, équipés de mobiliers, comme bureaux et chaises, ont été mis à la disposition du projet au sein du MAH à Ouagadougou et à Ziniaré.
Frais locaux	Le montant total de 69 228 609 francs CFA (équivalent d'à peu près 12 910 000 yens) a été dépensé jusqu'à la fin décembre 2012 comme frais locaux (indemnités des homologues, frais de gestion du matériel, des consommables). Et les frais courant des bureaux (10 000 000 francs CFA pour eau, électricité, téléphone) sont aussi pris en charge.

### 2.2 Etat d'accomplissement des résultats

L'état d'accomplissement des résultats attendus au moment de l'évaluation finale est décrit dans les lignes qui suivent.

#### 2.2.1 Etat d'accomplissement du résultat 0

Résultat 0 : Les indicateurs du PDM sont définis.

Les indicateurs du PDM étaient déjà fixés lors de la revue à mi-parcours faite en septembre 2011.

Néanmoins, étant donné que la modification du PDM a été proposée par la revue à mi-parcours, les indicateurs utilisés pour la présente évaluation finale ont été fixés en novembre 2011.

#### 2.2.2 Etat d'accomplissement du résultat 1

Résultat 1 : Le système de gestion et de maintenance des infrastructures hydrauliques (IH) est établi dans les communes cibles conformément à la Réforme.

Le résultat 1 est accompli.

La mise en place des AUE, la conclusion de la convention entre les communes et les AUE et la passation du contrat entre les communes et les maintenanciers ont été réalisées dans les 9 communes cibles, ainsi que la mise en place des AUE est presque terminée dans les 11 communes supplémentaires. Ce qui nous permet de dire qu'un système de gestion et de maintenance des IH d'AEP conforme à la Réforme est mis en place. L'état d'accomplissement des indicateurs est récapitulé dans le tableau suivant.

Indicateur 1-1 : Plus de 90% des agents des ZAT et UAT des communes cibles suivent la formation. Plus de 80% d'eux réussissent au test de confirmation.	Etat d'accomplissement : Il existe 28 agents vulgarisateurs des ZAT et UAT dans les 9 communes cibles (sauf agents récemment mutés). Tous ont suivi les formations. Parmi eux 22 agents (78 %) ont réussi au test de confirmation.
Indicateur 1-2 : Les Associations des Usagers de l'Eau (AUE) sont constituées dans tous les villages des 3 communes pilotes avant la fin de mai 2010	Etat d'accomplissement : Dans les 3 communes pilotes (80 villages <sup>2</sup> ), 36 AUE ont été mises en place dans 36 villages (45 %) avant la fin de mai 2010. En plus, 44 AUE ont été mises en place dans 44 autres villages avant la fin d'octobre 2010. (100 % au total)
Indicateur 1-3 : La convention de délégation de gestion des PMH est signée entre les 3 communes pilotes et 80% de leurs AUE avant février 2010.	Etat d'accomplissement : Sur les 80 AUE constituées dans les 3 communes pilotes, 50 AUE (63 %) ont passé la convention de délégation de gestion des PMH avec les communes avant février 2011. Les 29 autres AUE l'ont conclu avant décembre 2012 et la dernière n'a pas encore conclu au moment de l'étude d'évaluation finale.
Indicateur 1-4 : Les AUE des communes de l'Oubritenga excepté la commune pilote sont constituées avant juin 2011.	Etat d'accomplissement : Dans les 6 communes (192 villages) de l'Oubritenga autres que la commune pilote, 192 AUE ont été mises en place avant juin 2011 dans les 192 villages (100 %). Suite à la scission de 2 villages et à la création de nouveaux villages, 2 AUE ont été ajoutées, portant le nombre total d'AUE à 194.
Indicateur 1-5 : La convention de délégation de gestion des PMH est signée entre les communes de l'Oubritenga excepté la commune pilote et 80% de leurs AUE avant février 2012.	Etat d'accomplissement : Toutes les 192 AUE ont conclu la convention de délégation de gestion des PMH avec les communes avant février 2012 (100 %). 2 AUE récemment créées l'ont aussi conclue avant décembre 2012.
Indicateur 1-6 : Les AUE sont constituées dans tous les villages des 11 communes supplémentaires avant la fin de mai 2012.	Etat d'accomplissement : Dans les 11 communes supplémentaires (292 villages), 288 AUE ont été mises en place dans 288 villages avant la fin de mai 2012 (99 %). S'y ajoutent 4 AUE prévues, mais elles n'ont pas encore vu le jour au moment de l'évaluation finale.
Indicateur 1-7 : La convention de délégation de gestion des PMH est signée entre les communes supplémentaires et les AUE avant décembre 2012.	Etat d'accomplissement : 10 communes sur les 11 communes supplémentaires ont signé la convention de délégation de gestion des PMH avec leurs AUE avant décembre 2012. Ce qui correspond aux AUE des 215 villages sur les 216 des 10 communes (dans un village qui reste l'AUE a été mise en place en janvier 2013.)
Indicateur 1-8 : Le contrat relatif à la maintenance et aux tournées de suivi des PMH est passé entre les communes cibles et 80% de leurs maintenanciers avant février 2013.	Etat d'accomplissement : Il existe 35 maintenanciers de PMH dans les 9 communes cibles, le contrat relatif à la maintenance et aux tournées de suivi des PMH a été passé avec 24 d'entre eux (69 %) avant la fin de décembre 2012. (Note : Les contrats qui sont passés par une commune sont limités à un nombre requis <sup>3</sup> , la formulation de l'indicateur consistant en la passation du contrat avec 80 % de maintenanciers n'est pas appropriée.)

<sup>2</sup> Comme division administrative, il existe comme sous-ensemble des communes «secteur» (au centre des communes) et «village» (dans les zones périphériques). Dans ce rapport on unifie au terme de village.

<sup>3</sup> Lors de la passation des contrats relatifs aux tournées de suivi et d'entretien des PMH installées au niveau des AUE, les communes procèdent à un regroupement par lots. Elles passent les contrats avec les maintenanciers par lots. Ces lots correspondent à «un nombre requis». Le regroupement par lots est déterminé par chaque commune d'après sa superficie, le nombre de villages et celui de PMH existant.

### 2.2.3 Etat d'accomplissement du résultat 2

**Résultat 2 : Les capacités des organisations villageoises dans la gestion et la maintenance des IH sont renforcées.**

Les capacités des AUE dans la gestion et la maintenance des ouvrages hydrauliques ont certainement été renforcées, comme en témoignent l'organisation de réunions, la gestion financière, les dispositions prises pour réparer les pannes de PMH, etc. Mais, étant donné que le dispositif de recouvrement des tarifs d'eau n'est pas encore complètement mis au point, le résultat 2 n'est pas encore accompli.

272 AUE ont été mises en place dans les 9 communes cibles avant octobre 2012. Sur ces AUE, 266 AUE (98 %) ont déjà organisé au moins une assemblée générale (AG) ; 251 AUE (92 %) pratiquent la gestion des fonds par enregistrement sur cahiers ; 241 AUE (89 %) ont ouvert des comptes dans les institutions financières. Tandis que 2 à 3 semaines étaient nécessaires pour la réparation d'une PMH après sa panne, la durée de réparation simple a été raccourcie en moyenne de 5,9 jours par intervention en octobre 2012 (la moyenne des délais figurant dans les réponses données par 193 AUE).

Pour ce qui concerne le recouvrement des tarifs d'eau, chaque AUE a fixé le montant total des tarifs d'eau à recouvrir de la part des usagers par an (la recette minimum). Mais, durant les deux premières années (2011-2012), la proportion des AUE qui ont pu collecter plus de 70 % de la recette minimum a été de 18 % dans les 3 communes pilotes et de 6 % dans les 6 communes cibles autres que communes pilotes<sup>4</sup>. Ces chiffres sont très éloignés de 70 % visés. Les capacités des AUE restent toujours à renforcer.

Quant aux redevances que chaque AUE devra payer à la commune, plus de 70 % des AUE ont payé la redevance aux 6 communes cibles autres que communes pilotes en 2012, mais moins de 30 % des AUE des 3 communes pilotes ont réglé la redevance en 2012. En 2011 elles étaient plus de 70 % dans les communes pilotes et moins de 10 % dans les 6 communes cibles. L'état d'accomplissement des indicateurs est récapitulé dans le tableau suivant.

<p>Indicateur 2-1 : Plus de 70% des AUE des communes pilotes arrivent à payer la redevance aux communes et plus de 70% des gestionnaires parviennent à effectuer le recouvrement à 70% avant la fin de novembre 2011.</p>	<p>Etat d'accomplissement : La situation du règlement des redevances par les AUE des 3 communes pilotes est montrée dans le tableau suivant :</p>																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">Communes</th> <th rowspan="2">Nbr. d'AUE</th> <th colspan="2">Nbr. d'AUE ayant réglé les redevances</th> </tr> <tr> <th>2011</th> <th>2012</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toéghin</td> <td>18</td> <td>18 (100 %)</td> <td>0 (0 %)</td> </tr> <tr> <td>Zorgho</td> <td>33</td> <td>22 (67 %)</td> <td>13 (39 %)</td> </tr> <tr> <td>Dapélogo</td> <td>29</td> <td>28 (97 %)</td> <td>9 (31 %)</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td>80</td> <td>68 (85 %)</td> <td>22 (28 %)</td> </tr> </tbody> </table>	Communes	Nbr. d'AUE	Nbr. d'AUE ayant réglé les redevances		2011	2012	Toéghin	18	18 (100 %)	0 (0 %)	Zorgho	33	22 (67 %)	13 (39 %)	Dapélogo	29	28 (97 %)	9 (31 %)	Total	80	68 (85 %)	22 (28 %)												
Communes	Nbr. d'AUE			Nbr. d'AUE ayant réglé les redevances																															
		2011	2012																																
Toéghin	18	18 (100 %)	0 (0 %)																																
Zorgho	33	22 (67 %)	13 (39 %)																																
Dapélogo	29	28 (97 %)	9 (31 %)																																
Total	80	68 (85 %)	22 (28 %)																																
	<p>Le nombre d'AUE qui a réalisé le recouvrement des tarifs d'eau à plus de 70 % (recouvrement annuel minimal) est montré dans le tableau suivant :</p>																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Communes</th> <th>Nbr. d'AUE</th> <th>AUE possédant les données valables</th> <th>AUE ayant réalisé le recouvrement à plus de 70 %</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toéghin</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Zorgho</td> <td>33</td> <td>29</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>Dapélogo</td> <td>29</td> <td>21</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td>80</td> <td>68</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	Communes	Nbr. d'AUE	AUE possédant les données valables	AUE ayant réalisé le recouvrement à plus de 70 %	Toéghin	18	18	1	Zorgho	33	29	8	Dapélogo	29	21	3	Total	80	68	12														
Communes	Nbr. d'AUE	AUE possédant les données valables	AUE ayant réalisé le recouvrement à plus de 70 %																																
Toéghin	18	18	1																																
Zorgho	33	29	8																																
Dapélogo	29	21	3																																
Total	80	68	12																																
<p>Indicateur 2-2 : Plus de 70% des AUE des communes cibles de l'Oubritenga arrivent à payer la redevance aux communes et plus de 70% des gestionnaires parviennent à effectuer le recouvrement à 70% avant la fin de projet.</p>	<p>Etat d'accomplissement : La situation du règlement des redevances par les AUE des 6 communes cibles de l'Oubritenga autres que la communes pilotes est montrée dans le tableau suivant :</p>																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">Communes</th> <th rowspan="2">Nbr. d'AUE</th> <th colspan="2">Nbr. d'AUE ayant réglé les redevances</th> </tr> <tr> <th>2011</th> <th>2012</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Absouya</td> <td>19</td> <td>0 (0 %)</td> <td>17 (89 %)</td> </tr> <tr> <td>Nagréongo</td> <td>19</td> <td>0 (0 %)</td> <td>18 (95 %)</td> </tr> <tr> <td>Loumbila</td> <td>31</td> <td>8 (26 %)</td> <td>21 (68 %)</td> </tr> <tr> <td>Ourgou-Manéga</td> <td>28</td> <td>0 (0 %)</td> <td>21 (75 %)</td> </tr> <tr> <td>Zitenga</td> <td>45</td> <td>9 (20 %)</td> <td>32 (71 %)</td> </tr> <tr> <td>Ziniaré</td> <td>50</td> <td>0 (0 %)</td> <td>40 (80 %)</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td>192</td> <td>17 (9 %)</td> <td>149 (78 %)</td> </tr> </tbody> </table>	Communes	Nbr. d'AUE	Nbr. d'AUE ayant réglé les redevances		2011	2012	Absouya	19	0 (0 %)	17 (89 %)	Nagréongo	19	0 (0 %)	18 (95 %)	Loumbila	31	8 (26 %)	21 (68 %)	Ourgou-Manéga	28	0 (0 %)	21 (75 %)	Zitenga	45	9 (20 %)	32 (71 %)	Ziniaré	50	0 (0 %)	40 (80 %)	Total	192	17 (9 %)	149 (78 %)
Communes	Nbr. d'AUE			Nbr. d'AUE ayant réglé les redevances																															
		2011	2012																																
Absouya	19	0 (0 %)	17 (89 %)																																
Nagréongo	19	0 (0 %)	18 (95 %)																																
Loumbila	31	8 (26 %)	21 (68 %)																																
Ourgou-Manéga	28	0 (0 %)	21 (75 %)																																
Zitenga	45	9 (20 %)	32 (71 %)																																
Ziniaré	50	0 (0 %)	40 (80 %)																																
Total	192	17 (9 %)	149 (78 %)																																

<sup>4</sup> A titre indicatif, la proportion des AUE qui ont pu recouvrir plus de 50 % de la recette minimum a été de 37 % dans les 3 communes pilotes, de 30 % dans les 6 communes cibles autres que les communes pilotes.

	<p>Le nombre d'AUE qui a réalisé le recouvrement des tarifs d'eau à plus de 70 % (recouvrement annuel minimal) est montré dans le tableau suivant :</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Communes</th> <th>Nbr. d'AUE</th> <th>AUE possédant les données valables</th> <th>AUE ayant réalisé le recouvrement à plus de 70 %</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Absouya</td> <td>19</td> <td>18</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>Nagréongo</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>Loumbila</td> <td>31</td> <td>28</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Ourgou-Manéga</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Zitenga</td> <td>45</td> <td>44</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Ziniaré</td> <td>50</td> <td>43</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td>192</td> <td>180</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	Communes	Nbr. d'AUE	AUE possédant les données valables	AUE ayant réalisé le recouvrement à plus de 70 %	Absouya	19	18	0	Nagréongo	19	19	2	Loumbila	31	28	1	Ourgou-Manéga	28	28	1	Zitenga	45	44	1	Ziniaré	50	43	6	Total	192	180	11
Communes	Nbr. d'AUE	AUE possédant les données valables	AUE ayant réalisé le recouvrement à plus de 70 %																														
Absouya	19	18	0																														
Nagréongo	19	19	2																														
Loumbila	31	28	1																														
Ourgou-Manéga	28	28	1																														
Zitenga	45	44	1																														
Ziniaré	50	43	6																														
Total	192	180	11																														
Indicateur 2-3 : Plus de 70% des AUE des communes supplémentaires démarre leurs activités telles que le recouvrement de frais d'eau et la gestion financière avant la fin de projet.	Etat d'accomplissement : Le nombre d'AUE qui a démarré le recouvrement des frais d'eau (ou l'ouverture de comptes) avant octobre 2012 a été de 23 sur les 292 AUE (8 %).																																

#### 2.2.4 Etat d'accomplissement du résultat 3

Résultat 3 : En ce qui concerne la gestion et la maintenance des IH, le système d'approvisionnement en pièces détachées et celui de réparation sont améliorés.

Le résultat 3 est accompli à un niveau satisfaisant.

Comme le montre l'état d'accomplissement des indicateurs détaillé ci-dessous, toutes les communes possèdent déjà des informations requises pour le changement de pièces de rechange. Les réparations simples sont exécutées par les maintenanciers avec un niveau technique supérieur aux attentes. Mais, le nombre de communes dans lesquelles un chargé de l'eau et de l'assainissement est nommé est limité, par conséquent les informations acquises ne sont pas encore mises en valeur par les AUE. De l'autre côté, les associations des maintenanciers ont été organisées dans les 3 provinces de la région du Plateau Central, facilitant le partage d'informations sur l'approvisionnement en pièces de rechange parmi les professionnels. Ce qui permet de dire que le système d'approvisionnement en pièces de rechange et celui de réparation des pompes sont en train d'être améliorés. L'état d'accomplissement des indicateurs est récapitulé dans le tableau suivant.

Indicateur 3-1 : Les maintenanciers arrivent à répondre à plus de 60% des besoins de maintenance et de tournées de suivi demandés par les communes avant octobre 2012.	Etat d'accomplissement : Le nombre de demandes d'interventions (maintenance et tournée de suivi) de la part des communes a été de 24 avant l'étude d'évaluation finale. Les maintenanciers ont pu répondre à toutes ces demandes.
Indicateur 3-2 : Toutes les 20 communes de la région du Plateau Central possèdent les informations nécessaires pour la procuration de pièces de rechange (magasins, procédure de commande, etc.)	Etat d'accomplissement : Toutes les 20 communes possèdent au moins partiellement des informations liées aux coordonnées des réparateurs, prix des pièces de rechange, magasins de vente avant octobre 2012.
Indicateur 3-3 : Le délai de réparation simple est réduit à moins d'un mois.	Etat d'accomplissement : Le délai de réparation simple a été en moyenne de 5,9 jours par intervention avant octobre 2012 (la moyenne des interventions auprès des 193 AUE qui ont répondu à l'enquête sur les 270 AUE enquêtées.)

#### 2.2.5 Etat d'accomplissement du résultat 4

Résultat 4 : Dans les 3 communes cibles du Plateau Central, le comportement en matière d'hygiène et d'assainissement des populations sont améliorées.

Le résultat 4 est accompli.

Comme détaillé dans le commentaire sur l'indicateur 3 de l'objectif du projet, dans 72 % de villages plus de 6 sur les 10 comportements en matière d'hygiène et d'assainissement<sup>5</sup> ont été améliorés. Ce qui permet de dire que le comportement en matière d'hygiène et d'assainissement des populations a été amélioré. L'état d'accomplissement des indicateurs est récapitulé dans le tableau suivant.

<p>Indicateur 4-1 : Le programme et les manuels de la sensibilisation et de l'éducation en matière de l'amélioration d'hygiène et d'assainissement sont élaborés.</p>	<p>Etat d'accomplissement : Les matériels didactiques suivants ont été élaborés pour la sensibilisation et l'éducation en matière d'hygiène et d'assainissement :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>♦ Manuel pour la formation des formateurs administratifs pour la promotion de l'hygiène et de l'assainissement (PHA) ;</li> <li>♦ Guide pratique pour les animateurs villageois à l'hygiène et les enseignants sur la PHA ;</li> <li>♦ Boîte à images de SARAR/PHAST ;</li> <li>♦ Manuels sur les comportements en hygiène et en assainissement et la gestion des installations sanitaires.</li> </ul> <p>Le contenu de ces matériels didactiques est effectivement exploité comme programme de sensibilisation et d'éducation pour la PHA.</p>																								
<p>Indicateur 4-2 : Dans les villages des 3 communes pilotes, plus de 600 agents s'occupant du programme de promotion de l'hygiène et de l'assainissement ou celui de l'enseignement (enseignants, agents du centre de santé, agents chargés de l'hygiène et de l'assainissement aux services techniques, animateurs villageois) sont formés.</p>	<p>Etat d'accomplissement : Les enseignants, agents de santé, agents chargés de l'hygiène des services administratifs et animateurs villageois qui ont participé aux formations de sensibilisation et d'éducation pour la PHA, au niveau des 3 communes pilotes, sont au total 973 personnes, répartis comme suit :</p> <table border="0"> <tr> <td>Formateurs administratifs en PHA</td> <td>57 pers.</td> </tr> <tr> <td>Commune de Toéghin</td> <td>165 pers.</td> </tr> <tr> <td>Commune de Zorgho</td> <td>435 pers.</td> </tr> <tr> <td>Commune de Dapélogo</td> <td>316 pers.</td> </tr> </table> <p>(Les formateurs administratifs en santé désignent les agents du MENA, du MS et du MAH au niveau provincial et communal.)</p> <p>A la question sur l'existence ou non du plan de poursuite des activités d'hygiène après la fin du projet, le nombre de villages où des animateurs villageois ont répondu positivement est comme suit :</p> <table border="0"> <tr> <td>Commune de Toéghin</td> <td>6 villages sur 10 villages</td> </tr> <tr> <td>Commune de Zorgho</td> <td>30 villages sur 31 villages</td> </tr> <tr> <td>Commune de Dapélogo</td> <td>15 villages sur 25 villages</td> </tr> <tr> <td><b>Total</b></td> <td><b>51 villages sur 66 villages (77 %)</b></td> </tr> </table>	Formateurs administratifs en PHA	57 pers.	Commune de Toéghin	165 pers.	Commune de Zorgho	435 pers.	Commune de Dapélogo	316 pers.	Commune de Toéghin	6 villages sur 10 villages	Commune de Zorgho	30 villages sur 31 villages	Commune de Dapélogo	15 villages sur 25 villages	<b>Total</b>	<b>51 villages sur 66 villages (77 %)</b>								
Formateurs administratifs en PHA	57 pers.																								
Commune de Toéghin	165 pers.																								
Commune de Zorgho	435 pers.																								
Commune de Dapélogo	316 pers.																								
Commune de Toéghin	6 villages sur 10 villages																								
Commune de Zorgho	30 villages sur 31 villages																								
Commune de Dapélogo	15 villages sur 25 villages																								
<b>Total</b>	<b>51 villages sur 66 villages (77 %)</b>																								
<p>Indicateur 4-3 : Dans les villages des 3 communes pilotes, les activités de sensibilisation sont mises en œuvre au moins 6 fois par an par les agents s'occupant du programme de promotion de l'hygiène et de l'assainissement ou celui de l'enseignement.</p>	<p>Etat d'accomplissement : Les réalisations des activités de sensibilisation pour l'amélioration de l'hygiène et de l'assainissement au niveau des villages sont récapitulées dans le tableau suivant (les chiffres indiquent le pourcentage de villages où les activités ont été menées plus de 6 fois par an) :</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Communes</th> <th>2010</th> <th>2011</th> <th>2012</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toéghin</td> <td>Pas de données</td> <td>22 %</td> <td>0 %</td> </tr> <tr> <td>Zorgho</td> <td>28 %</td> <td>49 %</td> <td>23 %</td> </tr> <tr> <td>Dapélogo</td> <td>Pas de données</td> <td>57 %</td> <td>40 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>Les réalisations des activités de sensibilisation pour la PHA au niveau des écoles primaires sont récapitulées dans le tableau suivant (les chiffres indiquent le pourcentage de villages où les activités ont été menées plus de 6 fois par an) :</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Communes</th> <th>2010</th> <th>2011</th> <th>2012</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toéghin</td> <td>Le début</td> <td>84 %</td> <td>16 %</td> </tr> </tbody> </table>	Communes	2010	2011	2012	Toéghin	Pas de données	22 %	0 %	Zorgho	28 %	49 %	23 %	Dapélogo	Pas de données	57 %	40 %	Communes	2010	2011	2012	Toéghin	Le début	84 %	16 %
Communes	2010	2011	2012																						
Toéghin	Pas de données	22 %	0 %																						
Zorgho	28 %	49 %	23 %																						
Dapélogo	Pas de données	57 %	40 %																						
Communes	2010	2011	2012																						
Toéghin	Le début	84 %	16 %																						

<sup>5</sup> Dix (10) comportements en matière d'hygiène et d'assainissement sont : D'où puise-t-on de l'eau ? (mare d'eau, puits, forage); Avec quoi transporte-t-on l'eau ? (bassine, réservoir en plastique); Dans quoi stocke-t-on l'eau ? (pot avec couvercle, sans couvercle); Comment conserve-t-on de l'eau ? (après filtrage, sans filtrage, filtrage et désinfection); Comment traite-t-on l'eau potable ? (distinction entre le gobelet à puiser et celui à boire); Comment se lave-t-on les mains ? (partage de l'eau du seau, eau courante, savon + eau courante); Y a-t-il des latrines ? (n'y a pas, type traditionnel, type amélioré); Comment fait-on excréation ? (en plein air, mode d'emploi des latrines); Nettoie-t-on les latrines et comment ? ; Assure-t-on l'hygiène aux puits ? (avec ou sans clôture).

	Zorgho	des activités en 2011	52 %	74 %
	Dapélogo		74 %	Pas de données
Indicateur 4-4 : Le guide pour le monitoring des activités en hygiène et l'entretien des infrastructures sanitaires est élaboré et le système de gestion des infrastructures sanitaires publiques est mis en place.	Etat d'accomplissement : Le guide élaboré est mentionné dans l'indicateur 4-1. Quant au système de gestion (suivi) des infrastructures sanitaires publiques (écoles, centres de santé, marchés, gares routières), le consensus a été trouvé sur la pratique du suivi sur les écoles et centres de santé par la structure en charge et celle sur les marchés et gares routières par les communes.			
Indicateur 4-5 : Sur la base du guide pour le monitoring des activités en hygiène et l'entretien des infrastructures sanitaires, le suivi-évaluation sur la gestion des infrastructures sanitaires et le comportement en matière d'hygiène et d'assainissement est mené dans chaque site au moins 2 fois par an.	Etat d'accomplissement : Les réalisations du suivi-évaluation sur la gestion des infrastructures sanitaires et le comportement en matière d'hygiène et d'assainissement sont récapitulées dans le tableau suivant (les chiffres indiquent le pourcentage de villages où le monitoring a été mené plus de 2 fois par an) :			
	Communes	2010	2011	2012
	Toéghin	78 %	100 %	100 %
	Zorgho	59 %	78 %	93 %
	Dapélogo	62 %	79 %	69 %
	Les réalisations du suivi-évaluation sur la gestion des infrastructures sanitaires et le comportement en matière d'hygiène et d'assainissement au niveau des écoles primaires sont récapitulées dans le tableau suivant (les chiffres indiquent le pourcentage d'écoles où le suivi-évaluation a été mené plus de 2 fois par an) :			
	Communes	2010	2011	2012
	Toéghin	Le début	95 %	100 %
	Zorgho	des activités	94 %	76 %
	Dapélogo	en 2011	85 %	82 %
	Il est à noter que le suivi-évaluation est mis en œuvre par les agents du MENA, du MS et du MAH au niveau provincial et communal avec l'appui financier de projet PROGEA.			
Indicateur 4-6 : Les infrastructures sanitaires publiques sont gérées par les populations <sup>6</sup> .	Etat d'accomplissement : Sur 19 centres de santé situés dans les 3 communes pilotes, les latrines sont nettoyées régulièrement dans tous ces établissements sauf un pour lequel il n'y a pas de données disponibles (95 %). Les latrines sont nettoyées régulièrement dans 91 des 91 écoles pour lesquelles les données sont disponibles parmi les 105 écoles primaires au total (85 %). Il existe par ailleurs 14 latrines placées sous la gestion des communes (5 à Toéghin, 5 à Zorgho, 4 à Dapélogo), dont les 10 de Toéghin et de Zorgho sont nettoyées régulièrement (100 %).			

**2.2.6 Etat d'accomplissement du résultat 5**

Résultat 5 : Chaque Direction Provinciale de l'Agriculture et de l'Hydraulique (DPAH) arrive à : effectuer le suivi-évaluation de l'état d'approvisionnement en eau, d'hygiène et d'assainissement : accorder des appuis-conseils aux communes.

Concernant le résultat 5, plus de 80 % des agents ont effectué en 2012 plus de 2 fois par an les activités de suivi-évaluation prises en charge par la DPAH. Ce qui permet de dire que le résultat est accompli. La description de la 2<sup>ème</sup> partie : «accorder des appuis-conseils aux communes» ne porte pas un contenu concret. A défaut d'un indicateur afférent, il est difficile de le juger dans le cadre de l'évaluation finale. L'état d'accomplissement des indicateurs est récapitulé dans le tableau suivant.

<sup>6</sup> Nous adoptons ici une interprétation selon laquelle les parties prenantes regroupées autour des communes assurent la gestion et la maintenance, à la place des «populations» en tant qu'acteurs de la gestion et de la maintenance, étant donné que les infrastructures sanitaires sont gérées par les communes au niveau des installations publiques (marchés, etc.), par les centres de santé au niveau des centres de santé, par les écoles au niveau des écoles.

<p>Indicateur 5-1 : Le suivi-évaluation sur les éléments suivants sont effectué 2 fois par an par chaque DPAH à partir de 2010 : le taux de fonctionnement des IH, l'état financier des AUE, le taux de recouvrement par les gestionnaires, l'état de maintenance et de gestion des IH par les maintenanciers.</p>	<p>Etat d'accomplissement : La proportion des agents des DPAH/DRAH, ZAT/UAT qui ont réalisé le suivi-évaluation plus de 2 fois par an sur l'état de gestion des IH villageoises est récapitulée dans le tableau suivant :</p>																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Appartenance des personnels</th> <th>2010</th> <th>2011</th> <th>2012</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DPAH/DRAH (17 pers.)</td> <td>2 pers.</td> <td>9 pers.</td> <td>13 pers.</td> </tr> <tr> <td>Toéghin (2 pers.)</td> <td>2 pers.</td> <td>2 pers.</td> <td>2 pers.</td> </tr> <tr> <td>Zorgho (3 pers.)</td> <td>2 pers.</td> <td>3 pers.</td> <td>3 pers.</td> </tr> <tr> <td>Dapélogo (4 pers.)</td> <td>1 pers.</td> <td>3 pers.</td> <td>2 pers.</td> </tr> <tr> <td>Absouya (1 pers.)</td> <td></td> <td>1 pers.</td> <td>1 pers.</td> </tr> <tr> <td>Nagréongo (5 pers.)</td> <td></td> <td>4 pers.</td> <td>4 pers.</td> </tr> <tr> <td>Loumbila (6 pers.)</td> <td></td> <td>4 pers.</td> <td>5 pers.</td> </tr> <tr> <td>Ourgou-Manéga (1 pers.)</td> <td></td> <td>1 pers.</td> <td>0 pers.</td> </tr> <tr> <td>Zitenga (5 pers.)</td> <td></td> <td>5 pers.</td> <td>3 pers.</td> </tr> <tr> <td>Ziniaré (5 pers.)</td> <td></td> <td>5 pers.</td> <td>5 pers.</td> </tr> <tr> <td>11 communes supplémentaires (32 pers. au total)</td> <td></td> <td></td> <td>28 pers.</td> </tr> <tr> <td><b>Total</b></td> <td><b>7/26 (27 %)</b></td> <td><b>37/49 (76 %)</b></td> <td><b>66/81 (81 %)</b></td> </tr> </tbody> </table>	Appartenance des personnels	2010	2011	2012	DPAH/DRAH (17 pers.)	2 pers.	9 pers.	13 pers.	Toéghin (2 pers.)	2 pers.	2 pers.	2 pers.	Zorgho (3 pers.)	2 pers.	3 pers.	3 pers.	Dapélogo (4 pers.)	1 pers.	3 pers.	2 pers.	Absouya (1 pers.)		1 pers.	1 pers.	Nagréongo (5 pers.)		4 pers.	4 pers.	Loumbila (6 pers.)		4 pers.	5 pers.	Ourgou-Manéga (1 pers.)		1 pers.	0 pers.	Zitenga (5 pers.)		5 pers.	3 pers.	Ziniaré (5 pers.)		5 pers.	5 pers.	11 communes supplémentaires (32 pers. au total)			28 pers.	<b>Total</b>	<b>7/26 (27 %)</b>	<b>37/49 (76 %)</b>	<b>66/81 (81 %)</b>
Appartenance des personnels	2010	2011	2012																																																		
DPAH/DRAH (17 pers.)	2 pers.	9 pers.	13 pers.																																																		
Toéghin (2 pers.)	2 pers.	2 pers.	2 pers.																																																		
Zorgho (3 pers.)	2 pers.	3 pers.	3 pers.																																																		
Dapélogo (4 pers.)	1 pers.	3 pers.	2 pers.																																																		
Absouya (1 pers.)		1 pers.	1 pers.																																																		
Nagréongo (5 pers.)		4 pers.	4 pers.																																																		
Loumbila (6 pers.)		4 pers.	5 pers.																																																		
Ourgou-Manéga (1 pers.)		1 pers.	0 pers.																																																		
Zitenga (5 pers.)		5 pers.	3 pers.																																																		
Ziniaré (5 pers.)		5 pers.	5 pers.																																																		
11 communes supplémentaires (32 pers. au total)			28 pers.																																																		
<b>Total</b>	<b>7/26 (27 %)</b>	<b>37/49 (76 %)</b>	<b>66/81 (81 %)</b>																																																		
	<p>(Le nombre entre parenthèse indique celui d'agents affectés auprès des localités en question.)</p>																																																				
<p>Indicateur 5-2 : Le suivi-évaluation sur l'état d'hygiène et d'assainissement est effectué 2 fois par an par chaque DPAH à partir de 2010<sup>7</sup>.</p>	<p>Etat d'accomplissement : La proportion des formateurs administratifs qui ont réalisé le suivi-évaluation plus de 2 fois par an sur la situation de l'amélioration d'hygiène et d'assainissement est récapitulée dans le tableau suivant :</p>																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Communes</th> <th>2010</th> <th>2011</th> <th>2012</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toéghin</td> <td>38 %</td> <td>77 %</td> <td>83 %</td> </tr> <tr> <td>Zorgho</td> <td>48 %</td> <td>95 %</td> <td>89 %</td> </tr> <tr> <td>Dapélogo</td> <td>42 %</td> <td>85 %</td> <td>94 %</td> </tr> </tbody> </table>	Communes	2010	2011	2012	Toéghin	38 %	77 %	83 %	Zorgho	48 %	95 %	89 %	Dapélogo	42 %	85 %	94 %																																				
Communes	2010	2011	2012																																																		
Toéghin	38 %	77 %	83 %																																																		
Zorgho	48 %	95 %	89 %																																																		
Dapélogo	42 %	85 %	94 %																																																		
	<p>Le nombre de villages<sup>8</sup> où le suivi-évaluation a été réalisé plus de 2 fois par an sur la situation de l'amélioration d'hygiène et d'assainissement est récapitulé dans le tableau suivant :</p>																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Communes</th> <th>2010</th> <th>2011</th> <th>2012</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toéghin</td> <td>83 %</td> <td>100 %</td> <td>100 %</td> </tr> <tr> <td>Zorgho</td> <td>57 %</td> <td>74 %</td> <td>90 %</td> </tr> <tr> <td>Dapélogo</td> <td>42 %</td> <td>58 %</td> <td>58 %</td> </tr> </tbody> </table>	Communes	2010	2011	2012	Toéghin	83 %	100 %	100 %	Zorgho	57 %	74 %	90 %	Dapélogo	42 %	58 %	58 %																																				
Communes	2010	2011	2012																																																		
Toéghin	83 %	100 %	100 %																																																		
Zorgho	57 %	74 %	90 %																																																		
Dapélogo	42 %	58 %	58 %																																																		
<p>Indicateur 5-3 : A la suite du suivi-évaluation, 70% d'appui-conseils nécessaires sont accordés suivant les moyens de chaque DPAH.</p>	<p>Etat d'accomplissement : Etant donné qu'il a été impossible de collecter des données concrètes lors de l'étude d'évaluation finale, il est impossible de mesurer l'état d'accomplissement.</p>																																																				

### 2.3 Etat d'accomplissement de l'objectif du projet

L'état d'accomplissement de l'objectif du projet au moment de l'évaluation finale est comme suit.

Objectif du projet : L'état de gestion et de maintenance des IH et le comportement en matière d'hygiène et d'assainissement des populations sont améliorés dans les communes cibles<sup>9</sup>.

L'objectif du projet est accompli.

Le taux de fonctionnement des IH d'AEP dans les 9 communes cibles a été amélioré (excepté la commune

<sup>7</sup> Car le suivi-évaluation dans le domaine de l'hygiène et de l'assainissement n'est pas seulement assuré par la DPAH, mais aussi par les formateurs administratifs des DPEBA et des DS, nous considérons ici le suivi-évaluation faite par toutes ces parties prenantes.

<sup>8</sup> Il arrive que les quartiers, sous-ensembles des secteurs/villages, sont comptés dans le nombre de villages constituant le dénominateur. Ce qui peut être expliqué par la taille trop importante de secteurs en question nécessitant la mise en œuvre du suivi au niveau des quartiers. Les dénominateurs sont respectivement 18 à Toéghin, 42 à Zorgho et 55 à Dapélogo.

<sup>9</sup> Tandis que le volet de l'amélioration de la gestion des IH d'AEP concerne 9 communes cibles, le volet de l'amélioration du comportement d'hygiène ne concerne que 3 communes pilotes.

de Loumbila<sup>10</sup>), comme le montre l'état d'accomplissement de l'indicateur 1. Aussi le comportement des populations en matière d'hygiène et d'assainissement a été amélioré comme expliqué au résultat 4. Pour ces raisons, l'objectif du projet est jugé déjà accompli lors de l'évaluation finale. L'état d'accomplissement des indicateurs est récapitulé dans le tableau suivant :

<p>Indicateur 1 : Le taux de fonctionnement des IH dans les 9 communes cibles progresse de 70% à 80%.</p>	<p>Etat d'accomplissement : Le taux de fonctionnement des IH dans les 9 communes cibles est récapitulé dans le tableau suivant :</p> <table border="1" data-bbox="635 338 1331 656"> <thead> <tr> <th>Communes</th> <th>2009</th> <th>Octobre 2012</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toéghin</td> <td>89 %</td> <td>93 %</td> </tr> <tr> <td>Zorgho</td> <td>87 %</td> <td>98 %</td> </tr> <tr> <td>Dapélogo</td> <td>83 %</td> <td>89 %</td> </tr> <tr> <td>Absouya</td> <td>75 %</td> <td>87 %</td> </tr> <tr> <td>Nagréongo</td> <td>86 %</td> <td>95 %</td> </tr> <tr> <td>Loumbila</td> <td>81 %</td> <td>73 %</td> </tr> <tr> <td>Ourgou-Manéga</td> <td>76 %</td> <td>98 %</td> </tr> <tr> <td>Zitenga</td> <td>80 %</td> <td>95 %</td> </tr> <tr> <td>Ziniaré</td> <td>75 %</td> <td>78 %</td> </tr> </tbody> </table>	Communes	2009	Octobre 2012	Toéghin	89 %	93 %	Zorgho	87 %	98 %	Dapélogo	83 %	89 %	Absouya	75 %	87 %	Nagréongo	86 %	95 %	Loumbila	81 %	73 %	Ourgou-Manéga	76 %	98 %	Zitenga	80 %	95 %	Ziniaré	75 %	78 %
Communes	2009	Octobre 2012																													
Toéghin	89 %	93 %																													
Zorgho	87 %	98 %																													
Dapélogo	83 %	89 %																													
Absouya	75 %	87 %																													
Nagréongo	86 %	95 %																													
Loumbila	81 %	73 %																													
Ourgou-Manéga	76 %	98 %																													
Zitenga	80 %	95 %																													
Ziniaré	75 %	78 %																													
<p>Indicateur 2 : Le système de la gestion des IH conformément à la Réforme est mis en place dans les 11 communes supplémentaires<sup>11</sup>.</p>	<p>Etat d'accomplissement : Le nombre d'AUE constituées dans les 11 communes supplémentaires avant mai 2012 est de 288 (99 %). En plus, 3 AUE seront constituées, mais elles ne sont pas encore mises en place lors de l'évaluation finale<sup>12</sup>. 10 communes sur les onze 11 communes supplémentaires ont déjà passé la convention de délégation de gestion des PMH avec leurs AUE avant décembre 2012. Il s'agit d'AUE des 215 villages sur les 216 des 10 communes. (74 % sur l'ensemble)</p>																														
<p>Indicateur 3 : Le comportement des populations des communes pilotes sur les pratiques en matière de l'approvisionnement en eau potable, d'hygiène et d'assainissement (10 articles) est amélioré au moins 60%.</p>	<p>Etat d'accomplissement : Dans les 3 communes pilotes, le nombre de villages dans lesquels les pratiques en matière de l'AEP, d'hygiène et d'assainissement (10 articles) ont été améliorées de plus de 60 % est montré dans le tableau suivant :</p> <table border="1" data-bbox="635 1025 1331 1218"> <thead> <tr> <th>Communes</th> <th>Nbr. de villages</th> <th>Nbr. de villages améliorés</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Toéghin</td> <td>18</td> <td>21 (61 %)</td> </tr> <tr> <td>Zorgho</td> <td>39</td> <td>31 (79 %)</td> </tr> <tr> <td>Dapélogo</td> <td>30</td> <td>11 (70 %)</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td>87</td> <td>63 (72 %)</td> </tr> </tbody> </table> <p>Note : Il arrive qu'on compte des sous-ensembles de villages (quartiers ou secteurs) comme villages<sup>4</sup>.</p>	Communes	Nbr. de villages	Nbr. de villages améliorés	Toéghin	18	21 (61 %)	Zorgho	39	31 (79 %)	Dapélogo	30	11 (70 %)	Total	87	63 (72 %)															
Communes	Nbr. de villages	Nbr. de villages améliorés																													
Toéghin	18	21 (61 %)																													
Zorgho	39	31 (79 %)																													
Dapélogo	30	11 (70 %)																													
Total	87	63 (72 %)																													

## 2.4 Possibilité d'atteinte du but global

La possibilité d'atteinte du but global au moment de l'étude d'évaluation finale est estimée comme suit.

But global : Dans la région du Plateau Central, l'environnement en matière de santé, d'hygiène et d'assainissement est amélioré.

La possibilité d'atteinte du but global sous l'effet de l'accomplissement de l'objectif du projet est jugée probable dans une certaine mesure au moment de l'étude d'évaluation finale.

La DRAH/PCL dispose déjà d'une enveloppe de 56 millions de francs CFA comme budget de contrepartie du projet. Il sera donc possible que les activités d'appui des agents vulgarisateurs des ZAT/UAT soient poursuivies pour un certain temps après la fin du projet<sup>13</sup>. Pour la période au-delà de 2014, rien n'est encore déterminé, mais la demande d'une inscription budgétaire a déjà été adressée de la part de la DRAH/PCL à la DGRE, par conséquent l'octroi du budget de l'Appui Budgétaire Sectoriel (ABS) reste possible. Ainsi, un fonctionnement constant des PMH grâce aux activités des AUE et un accès permanent des populations à l'eau potable dans les 20 communes de la région du Plateau Central seront possibles dans une certaine mesure. L'état d'accomplissement des indicateurs est récapitulé dans le tableau suivant.

<sup>10</sup> La commune de Loumbila est située à proximité de la capitale Ouagadougou et l'aménagement relativement avancé du système d'adduction d'eau sur utilisation des eaux des barrages rend inutile le recours aux forages. Dans un cas comme celui-ci, la gestion et la maintenance des PMH par les habitants n'étant pas requises, le taux de fonctionnement de PMH reste naturellement bas.

<sup>11</sup> On pourra juger que «le système de la gestion (...) est mis en place» si et seulement si (1) l'AUE est constituée et (2) la convention de délégation de gestion des PMH est signée entre la commune et l'AUE.

<sup>12</sup> La raison du retard de la constitution est dans un conflit foncier qui oppose plusieurs quartiers du village sur les limites des propriétés, qui empêchent l'organisation des actions concertées, donc rien à voir avec la Réforme.

<sup>13</sup> Le budget de contrepartie du projet comprend les indemnités des homologues, mais exclue les frais de mission et de carburant pour les tournées de villages par les agents vulgarisateurs. Il est donc nécessaire que ces frais soient inscrits par le MAH.

Indicateur 1 : Le taux de population pouvant se servir durablement de points d'eau améliorés passe de 70 % à 80 % avant 2015.	Possibilité d'accomplissement (indicateurs 1 et 2) : Ces indicateurs sont basés sur l'argument suivant : «une organisation et un dispositif de réparation sont mis en place et les AUE fonctionnent de façon adéquate» → «des pannes des PMH sont réparées immédiatement» → «le taux de fonctionnalité constante des IH est amélioré» → «les populations qui bénéficient des IH fonctionnelles de manière permanente augmentent (300 habitants par IH). Sur la mise en place de l'organisation et celle du dispositif de réparation, comme il a été expliqué concernant les résultats 1 et 3, ils sont en train d'être mis en place dans toutes les 20 communes de la région du Plateau Central. Les capacités des AUE ont été dans une certaine mesure améliorées. Mais, comme il a été expliqué concernant le résultat 2, la difficulté liée au recouvrement des tarifs d'eau persiste dans les 9 communes cibles. Les capacités restent donc toujours à renforcer. De l'autre côté, dans les 11 communes supplémentaires, les AUE viennent d'être mises en place, le vrai renforcement de capacités de ces AUE démarrera bientôt. Pour l'accomplissement des deux indicateurs, les activités d'appui aux AUE par les agents vulgarisateurs des ZAT/UAT seront indispensables même après la fin du projet. Comme expliqué ci-dessus, la DRAH/PCL dispose d'une enveloppe budgétaire pour l'application de la Réforme en 2013. Le budget de l'exercice 2014 reste encore indéterminé pour le moment, mais le maintien du budget est toujours possible. Il s'en suit que l'accomplissement des indicateurs est jugé possible dans une certaine mesure.
Indicateur 2 : Le taux de fonctionnement des IH passe de 70 % à 80 % avant 2015.	
Indicateur 3 : La situation sur l'approvisionnement en eau potable, l'hygiène et l'assainissement des populations est améliorée avant 2015.	Possibilité d'accomplissement : Comme il est montré concernant le résultat 4, le comportement en matière d'hygiène et d'assainissement a été amélioré dans les 3 communes pilotes, mais le déploiement de ces activités dans d'autres communes n'est ni planifié ni budgétisé. Au sein de chaque AUE, des hygiénistes sont désignés, il serait donc possible que les activités PHA soient poursuivies même après la fin du projet. Mais leurs activités sont bien limitées par rapport aux activités PHA mises en œuvre sur le résultat 4 et il n'y a pas de plan de formation des animateurs villageois. On ne pourrait pas attendre les activités PHA telles que pratiquées dans les 3 communes pilotes. L'accomplissement de l'indicateur est donc peu probable. (Il est à noter que la zone cible pour les activités liées à l'amélioration du comportement en matière d'hygiène et d'assainissement est limitée aux 3 communes pilotes, l'extension des activités dans les 17 autres communes n'est pas programmée.)

## 2.5 Processus de mise en œuvre

### 2.5.1 Etat d'avancement des activités

Les activités du projet planifiées sont régulièrement conduites dans leur ensemble. On ne constate pas de problèmes particuliers.

### 2.5.2 Difficultés rencontrées dans le processus de mise en œuvre du projet

#### (1) Le recouvrement des tarifs d'eau par AUE

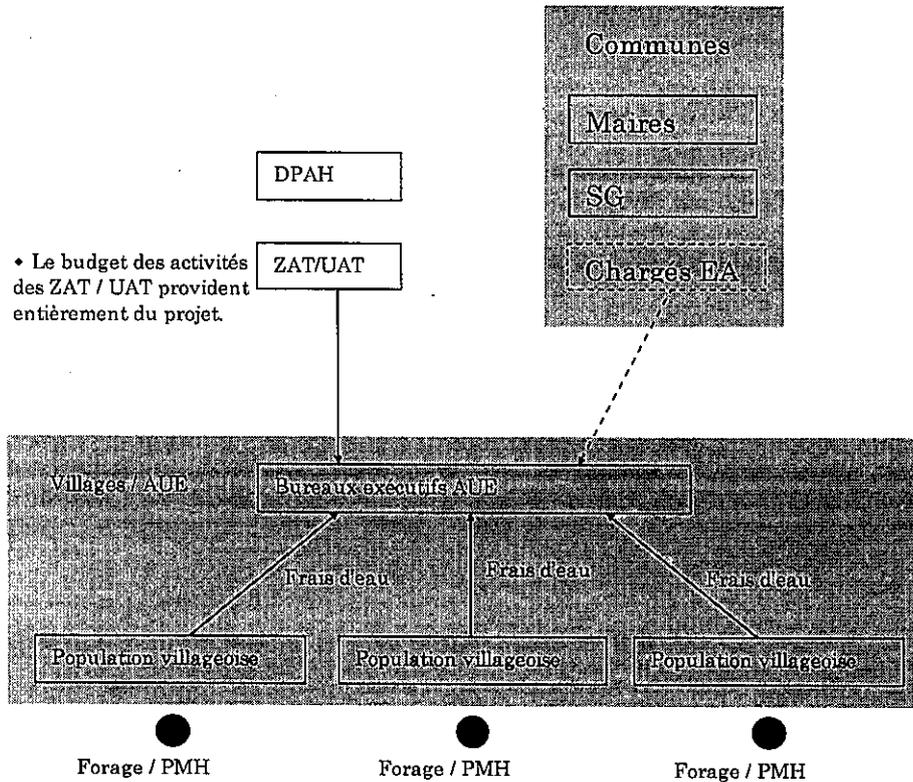
La problématique liée au recouvrement des tarifs d'eau a été déjà signalée au paragraphe sur le résultat 2 (2.2.3). Sur les 12 AUE qui ont fait l'objet de l'interview au cours de l'étude d'évaluation finale, tous les membres ont payé en 2012 dans une seule AUE, 5 à 10 % des habitants n'ont pas payé dans 6 AUE, et personne n'a payé dans 5 AUE. Il faut noter que ces AUE appartiennent aux 9 communes cibles. Pour 6 AUE dont une partie des habitants n'ont pas payé, la raison principale du non paiement est attribuée à une incompréhension du sens de la Réforme. Et pourtant, les membres du bureau exécutif des AUE en question ont fait remarquer l'importance capitale d'une compréhension intégrale du sens de la Réforme. Parmi les 5 AUE dans lesquelles personne n'a payé, 2 AUE dont les habitants qui n'avaient pas payé en 2011 ont pu continuer à utiliser de l'eau, ce qui a entraîné les autres habitants à refuser de payer en 2012. Pour les 3 autres AUE, la raison principale de non recouvrement des cotisations des membres est la baisse des récoltes due à la sécheresse de 2011. Le recouvrement sera repris en 2013. La situation du recouvrement des tarifs d'eau est récapitulée dans le tableau suivant.

En 2011, dans 9 des 12 AUE, une partie des habitants ont refusé de payer, tout en continuant à utiliser gracieusement de l'eau. Sur ces 9 AUE, 6 n'ont pas subi l'influence négative des non payeurs et la plupart des habitants ont continué à régler les tarifs d'eau l'année suivante. Mais pour les 2 autres AUE, tous les

habitants ont refusé de payer en 2012. Il est à noter que l'AUE dans laquelle tous les membres paient les tarifs d'eau depuis 2011 a institué une sanction consistant à stopper l'utilisation de l'eau à tous ceux qui refusent d'obéir à la 3<sup>ème</sup> demande de paiement de la part de l'AUE<sup>14</sup>.

2010	2011	2012
Mise en place des AUE dans les 9 communes cibles	Une partie des habitants ne paient pas les tarifs d'eau. (9 AUE). ♦ On expose le rôle des AUE dans l'AG, mais ce n'est pas tous les habitants qui participent à l'AG, certains ne partagent donc pas d'informations.	Une partie d'habitants ne paient pas les tarifs d'eau. (6 AUE) ♦ Grâce à la présence des habitants qui comprennent le rôle des AUE, l'effondrement moral est évité.
	Tous les habitants ont payé les tarifs d'eau. (2 AUE)	Tous les habitants ne paient pas les tarifs d'eau. (2 AUE) ♦ Même les habitants qui comprennent le rôle des AUE n'acceptent pas l'état d'inéquité.
		Tous les habitants ne paient pas les tarifs d'eau. (3 AUE) ♦ La mauvaise saison des pluies cause la baisse des revenus, et le paiement devient difficile.
		Tous les habitants paient les tarifs d'eau. (1 AUE)

La figure suivante représente une schématisation du système de gestion/maintenance des PMH par les AUE.



Les AUE n'étant pas une organisation administrative ne sont donc pas dotées d'une compétence de recouvrer les tarifs d'eau. Le recouvrement des tarifs est basé sur un consensus entre les parties prenantes. Les membres du bureau exécutif des AUE n'ont pas le pouvoir coercitif de collecter les tarifs d'eau de la part des habitants qui refusent de payer<sup>15</sup>. De l'autre côté, la Réforme s'appuie sur le fait que les communes sont maîtres d'ouvrage des IH d'AEP. En principe, dans le cadre du transfert des compétences, l'Etat burkinabè doit transférer le personnel et le budget en charge du secteur de l'eau et de l'assainissement dans l'administration communale, pour assurer l'appui aux AUE pour leur recouvrement des tarifs d'eau. Mais, à

<sup>14</sup> Il existait réellement des habitants qui ont refusé d'obéir à la 3<sup>ème</sup> demande de l'AUE juste après sa création, l'AUE a stoppé leur utilisation de l'eau.

<sup>15</sup> Les membres du bureau exécutif des AUE restent habitants du village. Dans un village où les coutumes de grandes familles sont conservées, il serait difficile, du point de vue du bon sens, aux membres de l'exécutif de forcer à payer d'autres membres, qui sont comme leurs parents.

l'état actuel, l'administration communale n'assure pas le rôle qui lui est dévolu dans le cadre de la communalisation dans le secteur EA et il est difficile sous ces conditions qu'elle se charge directement de l'appui à accorder aux AUE pour le recouvrement des tarifs d'eau.

(2) La gestion financière incorrecte des communes

Toutes les redevances payées par les AUE en 2012 n'ont pas été utilisées pour les tournées de suivi dans la commune de Toéghin, une des 3 communes pilotes. La 1<sup>ère</sup> tournée de suivi et d'entretien a été faite par les maintenanciers dans l'année, sans que la commune effectue le paiement et 2<sup>nde</sup> tournée n'a pas été faite. Il existe d'autres cas de gestion financière incorrecte des communes, en dehors de la commune de Toéghin, le MAH a effectuée une étude dont le rapport a été achevé en septembre 2012. Ce rapport préconise comme mesure à prendre une ligne budgétaire indépendante pour l'eau et l'assainissement.

(3) Les PMH qui ont une détérioration avancée

La recette annuelle requise pour le recouvrement des tarifs d'eau par AUE est maintenant calculée sur la base de 100 000 francs CFA par PMH. Ce montant correspond aux besoins de prévisions pour des petites pannes quotidiennes. Mais, dans la zone cible du projet, il existe des PMH qui présentent une détérioration avancée après plusieurs décennies d'utilisation. Si ces pompes ont des pannes compliquées nécessitant des interventions de grande envergure, il sera impossible aux AUE de prendre en charge toutes les dépenses pour la réparation.

L'Etat a financé en 2012 la réhabilitation de 100 PMH dans la région du Plateau Central. Il transfère depuis 2010 des fonds aux communes pour la réhabilitation des PMH âgées d'au moins 15 ans.

**2.5.3 Communication et suivi-évaluation**

La communication entre les différentes parties prenantes du projet est excellente. Toutes les informations sur l'avancement du projet sont partagées entre les parties prenantes et la prise de conscience sur la situation n'est pas différente entre elles.

Pour le suivi-évaluation, les sessions du Comité de pilotage du projet ont été organisées 5 fois au niveau central, pour délibérer des rapports d'activités, des plans du travail et des budgets (voir le tableau). Au niveau régional, les réunions mensuelles convoquées par la DRAH/PCL permettent aux chargés du secteur de l'eau au niveau des 3 provinces de la région de faire état de l'avancement des activités du projet, ainsi qu'aux experts japonais de rendre compte des différents points liés à la gestion.

Comité de pilotage	Date	Principaux points délibérés
1 <sup>ère</sup> session	25 janvier 2010	Discussion sur le Plan du Travail et du Budget Annuel (PTBA) 2010
2 <sup>ème</sup> session	8 septembre 2010	Compte-rendu des activités du 1 <sup>er</sup> semestre 2010 Discussions sur les activités du 2 <sup>nd</sup> semestre 2010
3 <sup>ème</sup> session	26 janvier 2011	Compte-rendu des activités du 2 <sup>nd</sup> semestre 2010 Discussions sur le PTBA 2011
4 <sup>ème</sup> session	28 septembre 2011	Compte-rendu des activités du 1 <sup>er</sup> semestre 2011 Compte-rendu du résultat de la revue conjointe à mi-parcours
5 <sup>ème</sup> session	2 février 2012	Compte-rendu des activités du 2 <sup>nd</sup> semestre 2011 Discussions sur le PTBA 2012

**2.5.4 Etat de démarche à l'égard des recommandations formulées par la revue à mi-parcours**

Le tableau suivant relate l'état de mise en œuvre des recommandations formulées au projet lors de la revue conjointe à mi-parcours.

Recommandations	Etat de démarche
Activités pour l'amélioration du comportement en matière d'hygiène et d'assainissement	L'objectif du présent projet consiste en l'amélioration du comportement des populations en matière d'hygiène et d'assainissement dans les 3 communes pilotes. A travers les activités du projet, des changements sont constatés dans le comportement des populations : habitude de lavage de mains ; utilisation de latrines ; nettoyage des abords de forages, etc., la plupart de ces habitudes semblent naturellement se perpétuer sans une intervention active des animateurs villageois. Nous jugeons donc qu'il ne sera pas particulièrement nécessaire de mettre en place un mécanisme pour maintenir la motivation des animateurs villageois, pour se préparer à l'après-projet. Le but global porte sur l'amélioration de «l'environnement en matière de santé, d'hygiène et d'assainissement» dans la région du Plateau Central et le présent projet ne planifie pas une application des activités faites dans les 3 communes pilotes à d'autres communes.
Extension des communes	Les activités ont démarré au niveau des 11 communes supplémentaires (248

*fo*

*(Signature)*

cibles dans la région du PCL	villages) et au total 288 AUE ont été déjà mises en place dans 245 villages.
Maintien de la durabilité après l'achèvement du projet	Le budget de l'application de la Réforme est déjà disponible pour l'exercice 2013. Pour l'exercice 2014 et après, la demande pour la mise à la disposition de l'appui budgétaire sectoriel a été déjà faite par la DRAH/PCL, mais le maintien du budget n'est pas encore acquis.

**3. Résultat d'évaluation en fonction de cinq (5) critères d'évaluation**

**3.1 Pertinence**

La pertinence est élevée, jugée du point de vue de la cohérence du présent projet par rapport à la politique de développement du gouvernement burkinabè et aux orientations de la coopération japonaise au Burkina Faso, de l'adéquation aux besoins intérieurs en accès à l'eau potable et aux installations d'assainissement, ainsi que de la justesse de la conception du projet.

Le gouvernement burkinabè a adopté en 2000 le «document cadre de la réforme du système de la gestion des infrastructures hydrauliques d'approvisionnement en eau potable en milieu rural et semi-urbain» (décret N° 2000 -514/PRES/PM/MEE). Une Réforme institutionnelle qui consiste au transfert des compétences sur la construction et la gestion des ouvrages hydrauliques de l'Etat aux communes a démarré. En 2006, le plan cadre du développement du secteur de l'eau et de l'assainissement le «Programme national d'approvisionnement en eau potable et d'assainissement à l'horizon 2015 (PN-AEPA 2015)» a été adopté avec les objectifs d'améliorer le taux d'accès en 2005 à AEP (60 %) et à l'installation d'assainissement (10 %) en milieu rural à 80 % et à 54 % respectivement avant 2015. Le présent projet agit effectivement pour l'application de la Réforme dans la région du Plateau Central et vise par là à apporter des améliorations dans le taux d'accès à l'eau potable et le comportement des populations en matière d'hygiène et d'assainissement. Dans ce sens le projet contribue directement à la politique de développement et à la satisfaction des besoins intérieurs du pays.

Selon le «Livre blanc de l'Assistance Publique au Développement du Japon 2011», le secteur de l'eau et de l'assainissement est pris pour l'un des secteurs prioritaires de l'APD japonaise à l'égard du Burkina Faso. Surtout, la satisfaction des besoins fondamentaux des couches vulnérables vivant en milieu rural est considérée prioritaire du point de vue de la lutte contre la pauvreté. Le présent projet qui contribue directement à l'amélioration de l'accès à l'AEPA et du comportement en hygiène et assainissement des exploitations agricoles s'aligne parfaitement sur ce principe directeur<sup>16</sup>.

Le présent projet est conçu autour de deux axes : (1) la mise en place d'un dispositif de réparation des PMH basé sur la capacité des AUE renforcée et sa collaboration avec les communes et les maintenanciers ; (2) l'amélioration du comportement des populations en matière d'hygiène et d'assainissement, en plus on ajoute comme troisième (3) l'appui apporté par les bureaux locaux du MAH aux AUE et communes pour la promotion des activités. La Réforme consistant en l'accompagnement du transfert des compétences de la gestion des IH d'AEP aux communes qui viennent d'être mises sur pied, la conception du recours au dispositif de vulgarisation existant (agents vulgarisateurs du MAH) pour aménager un système de gestion et de maintenance des installations et renforcer les capacités des AUE et communes est judicieuse.

**3.2 Efficacité**

L'efficacité est élevée, jugée du point de vue de la possibilité d'atteinte de l'objectif du projet.

Le dispositif de gestion et de maintenance des PMH centré sur les AUE fonctionne dans les 9 communes cibles et le taux de fonctionnement des PMH est amélioré par rapport à la période précédant l'introduction de la Réforme. D'autre part, le comportement des populations en matière d'hygiène et d'assainissement s'est nettement amélioré dans les 3 communes pilotes. En plus, la mise en place des AUE est menée avec succès dans les 11 communes supplémentaires. Ainsi, l'étude d'évaluation finale montre que l'objectif du projet est déjà atteint à travers la mise en œuvre des activités et l'accomplissement des résultats attendus du projet.

**3.3 Efficience**

L'efficience est relativement élevée, jugée du point de vue de l'état d'exécution des intrants.

D'un côté, la plupart des intrants ont été mis en place conformément au planning, pour accomplir les résultats liés à la mise en place des AUE, à la mise au point d'un dispositif de réparation centré autour des artisans réparateurs, à l'amélioration du comportement des populations en hygiène et assainissement et à la pratique du suivi-évaluation par les DPAH. De l'autre côté, malgré l'achèvement du renforcement de capacités des AUE jusqu'à une certaine mesure dans les 9 communes cibles, la proportion des AUE qui réalisent le recouvrement à plus de 70 % de la recette visée représente moins de 10 %. Les capacités de gestion des AUE n'est pas satisfaisant.

D'autre part, la Réforme consistant au transfert des compétences dans la gestion et de la maintenance des

<sup>16</sup> Il est à noter qu'au moment de l'étude d'évaluation finale, le secteur de l'eau et de l'assainissement n'est plus compté parmi les secteurs prioritaires de l'APD japonaise à l'égard du Burkina Faso.

IH d'AEP aux communes, il fallait prévoir certains investissements mérités au renforcement de capacités des communes (la gestion de données sur les AUE, le traitement comptable, etc.). Or, du fait que les communes ne s'occupent pas réellement des activités du secteur de l'eau et de l'assainissement, le rôle à jouer par les communes dans la région du Plateau Central a été limité au passation des conventions ou des contrats avec les AUE et maintenanciers.

### 3.4 Impact

L'impact est relativement élevé, jugé du point de vue de la possibilité d'atteinte du but global et des effets de répercussion.

Les AUE fonctionnent et le taux de fonctionnalité des PMH a été amélioré au moment de l'étude d'évaluation finale. Mais, pour que la proportion des populations ayant accès aux forages et le taux de fonctionnalité des PMH soient améliorés dans l'ensemble de la région du Plateau Central en 2015, la poursuite de l'appui par les agents des ZAT/UAT aux AUE est indispensable même après la fin du projet. A l'état actuel, le budget de l'application de la Réforme pour l'exercice 2013 a été partiellement retenu comme budget de contrepartie du projet. Mais, pour l'exercice 2014 et après, malgré la demande à l'inscription budgétaire de l'Appui budgétaire sectoriel (ABS) faite par la DRAH/PCL, le budget n'est toujours pas acquis. Concernant les activités de PHA, étant donné que les activités sont limitées aux 3 communes pilotes et que leur développement sur l'ensemble de la région du Plateau Central n'est ni planifié ni budgétisé, il est difficile de prévoir une amélioration du comportement en matière d'hygiène et d'assainissement sur l'ensemble de la région.

Comme effets de répercussion, le matériel didactique PHA élaboré par le projet fera l'objet d'une vulgarisation au niveau national sur l'initiative de la DGAEUE. A cet effet, la DGAEUE a organisé un atelier avec la participation des structures administratives concernées des 13 régions du pays, des PTF et ONG, etc., pour collecter le feed-back en vue d'une mise à jour sur la base du partage des informations sur le contenu et le mode d'emploi du matériel didactique en question. Le matériel didactique sera révisé sur la base du feed-back avant d'être distribué à travers le pays. Au niveau de la DGRE, les responsables, à commencer par le DG, apprécient hautement les résultats du projet et ont l'intention d'élaborer un manuel des activités de la promotion de la Réforme en révisant le manuel en cours de réalisation par le projet, afin de le vulgariser à travers le pays. Des impacts négatifs n'ont pas été observés par l'équipe d'évaluation finale.

### 3.5 Durabilité

La durabilité est modérée, jugée du point de vue du maintien de la production des effets du projet après la fin de la coopération.

Sur le plan politique, la Réforme poursuivie par le gouvernement burkinabè continuera à être promue comme une politique principale du secteur de l'AEP en milieu rural.

Sur le plan technique, les travaux de réparation étaient depuis longtemps pris en charge par des artisans réparateurs locaux, on ne constate pas de problèmes particuliers, y compris des améliorations techniques apportées par des formations du projet. Pour ce qui concerne le comportement des populations en matière d'hygiène et d'assainissement, un certain changement est déjà perceptible, comme le lavage de mains, l'utilisation de latrines, le nettoyage des abords de forages, etc. Mais, à défaut de la poursuite des démarches actives des animateurs villageois, ces nouveaux modes de comportement auront des difficultés pour s'implanter durablement. Bien qu'il soit bien possible que ces comportements deviennent des habitudes, il est difficile au stade actuel d'affirmer que la durabilité est garantie.

Sur le plan organisationnel et financier, comme décrit ci-dessus, le renforcement de capacités des AUE n'a pas encore atteint un niveau satisfaisant. Le dispositif d'appui aux AUE par les communes n'est pas assez fonctionnel non plus. La durabilité organisationnelle des AUE est assurée si et seulement si la compréhension de la Réforme est partagée par les habitants. Or, il persiste toujours au sein de la plupart des AUE un certain nombre d'habitants qui n'arrivent pas à comprendre la Réforme. Parce qu'ils continuent à utiliser de l'eau sans payer autant, ils finissent par décourager les bons payeurs. Si cet état de fait perdure, les AUE auront des difficultés à recouvrir les tarifs d'eau, ce qui entrainerait des retards dans la réparation de PMH et par conséquent la rupture de l'accès à l'eau potable. L'appui des agents vulgarisateurs des ZAT/UAT est donc indispensable jusqu'à la compréhension de la Réforme par tous les habitants. Même si le budget de l'application de la Réforme (le budget des activités des agents vulgarisateurs) pour l'exercice 2013 a été obtenu par la DRAH/PCL, rien n'est encore acquis pour les exercices 2014 et après. En plus, la mise sur pied de l'administration communale demandera encore un certain temps, vu les contraintes budgétaires de l'Etat. Sous ces conditions, il est difficile au moment de l'étude d'évaluation finale de juger de la durabilité sur le plan organisationnel. Il sera nécessaire de procéder ultérieurement encore au renforcement organisationnel.

## 4. Conclusion

A travers la mise en œuvre du présent projet, les AUE ont été mises en place dans toutes les 20 communes de la région du Plateau Central, les communes et les AUE ont signé la convention de délégation de gestion des PMH au niveau des 9 communes cibles, et les communes et les maintenanciers ont passé le contrat

relatif aux tournées de suivi et d'entretien des pompes. Les capacités des AUE et des maintenanciers en matière de gestion/maintenance et de réparation des PMH ont été renforcées. Or, les capacités des AUE n'ont pas encore atteint le niveau attendu. Il y a lieu de continuer le renforcement de capacités jusqu'à ce que tous les habitants capables de payer comprennent le sens de la Réforme et que les AUE arrivent à recouvrir convenablement les tarifs d'eau. Auprès des 3 communes pilotes parmi les communes cibles, le comportement des populations en matière d'hygiène et d'assainissement a été amélioré. Pour le suivi, les agents vulgarisateurs du MAH (ZAT/UAT) assurent les activités de collecte d'informations et de conseils à travers leurs visites des AUE. Ces résultats sont très hautement appréciés par les cadres des DGRE et DGAEUE du MAH, organismes homologues, et tous les deux DG ont l'intention de capitaliser les expériences du projet sous forme de matériel didactique ou manuels pour les vulgariser par la suite au niveau national.

Le résultat d'évaluation en fonction de cinq critères donne la pertinence et l'efficacité élevées, l'efficacité et l'impact relativement élevés. La durabilité est jugée modérée, à cause de la nécessité de la poursuite des appuis par les agents vulgarisateurs pour le renforcement de capacités des AUE, de l'incertitude au moment de l'étude d'évaluation finale quant aux dispositions budgétaires après 2014 pour l'appui des agents vulgarisateurs, ainsi que de l'absence du dispositif d'appui des AUE par les communes.

## 5. Recommandations et enseignements à tirer

### 5.1 Recommandations

Sur la base des résultats de l'évaluation, l'équipe d'évaluation finale conjointe formule les recommandations suivantes aux parties prenantes du projet.

#### ➤ Partager les résultats du projet

Le présent projet a généré les connaissances et expériences utiles qui seront requises dans le processus de mise en œuvre de la Réforme, comme méthodologies à suivre pour la mise en place des AUE et l'amélioration du comportement en matière d'hygiène et d'assainissement. Les travaux ont déjà commencé, afin de capitaliser ces connaissances et expériences sous forme de manuel. Les parties prenantes du projet devront s'efforcer de transmettre les informations liées aux résultats du projet et à l'élaboration de ces manuels aux structures concernées, de sorte à bien partager ces connaissances et expériences entre les différents acteurs travaillant pour l'application de la Réforme dans les différentes régions du pays et à les faire exploiter par eux. Les solutions envisagées par rapport aux problèmes pourraient servir d'expériences pour la révision du processus et des outils de mise en œuvre de la Réforme, il sera souhaitable de les intégrer dans le manuel sous forme d'enseignements tirés.

#### ➤ Entamer des démarches pour l'acquisition budgétaire à partir de 2014

Comme décrit ci-dessus, afin de s'assurer de la pérennité organisationnelle des AUE, les activités de sensibilisation à travers les visites de villages par les agents des ZAT/UAT et d'autres structures, seront nécessaires jusqu'à ce que tous arrivent à la compréhension du sens de la Réforme et que le paiement des tarifs d'eau soit perpétuel par tous les habitants solvables des villages concernés. Le budget d'appui aux activités des ZAT/UAT est déjà acquis pour l'exercice 2013, mais le maintien budgétaire après 2014 reste un problème à résoudre. Les services concernés du MAH, à commencer par la DGRE, devront assumer la démarche auprès des services compétents pour le maintien du budget de la Réforme dans la région du Plateau Central pour l'exercice 2014 et après.

#### ➤ Prendre des mesures incitatives à l'égard des animateurs villageois en charge de la PHA

Le comportement des populations en matière d'hygiène et d'assainissement a déjà changé au niveau des villages des 3 communes pilotes. Pour que ce comportement en matière d'hygiène et d'assainissement soit implanté dans leur habitude, il sera souhaitable que les animateurs villageois formés poursuivent leurs activités après la fin du projet. A cet effet, les communes sont appelées à assurer, en collaboration avec les structures concernées (le MAH, le MENA et le MS), l'appui aux activités des animateurs villageois pour soutenir leur volonté par l'organisation des concours d'hygiène, lors des journées d'excellence du MENA, par exemple.

#### ➤ Elargir les activités de la PHA

Les manuels PHA élaborés par le projet vont être mis à jour en prévoyant leur application dans le pays. Il sera souhaitable que les activités PHA soient mises en œuvre dans les autres communes de la région autres que communes pilotes et dans les autres régions en se référant à ces manuels. Concernant les activités PHA à mener aux écoles, il sera utile d'envisager la mise en œuvre des activités en impliquant les comités de gestion des écoles, en collaboration avec le MENA. Pour se faire la DGAEUE doit œuvrer à une inscription budgétaire sur le budget de l'Etat pour prendre en charge ces activités.

#### ➤ Renforcer les capacités des communes

Pour ce qui concerne l'administration communale, des services d'eau et d'assainissement existent dans une partie des communes avec l'appui financier des PTF ou ONG. Pour le moment, le personnel dans le secteur de l'eau et de l'assainissement et les activités ne sont pas pris en charge par le budget communal. La Réforme consistant à accompagner le transfert des compétences sur la gestion des IH d'AEP aux communes, il est préférable qu'à l'avenir, les structures concernées apportent leur appui pour la mise en place des services de l'eau et de l'assainissement, l'affectation de personnels et budget. A ce moment, il sera

souhaitable de mettre en valeur le personnel existant, comme les points focaux détachés aux communes de la part des services centraux.

## 5.2 Enseignements à tirer

A travers les expériences du projet, les enseignements à tirer applicables aux projets similaires sont les suivants :

➤ Les projets qui exigent un changement d'habitudes et de comportement des populations demandent un délai important avant d'atteindre les résultats attendus, (Au moins 5 ans seront requis comme durée totale du projet)

Le présent projet consiste formellement en la mise en place des AUE et en la promotion de la gestion des ouvrages hydrauliques par les AUE. Mais, du point de vue des habitants, il exige des habitants un changement radical du fait que «l'eau du forage est gratuite» vers un nouveau mode de vie «l'eau du forage est une denrée à payer et à gérer par l'ensemble de village». Un tel projet qui nécessite un changement de comportement repose sur la compréhension du nouveau mécanisme et de son implantation comme habitude quotidienne pour acquérir la durabilité. Mais ce processus nécessite du temps.

Etant donné que le recouvrement des tarifs d'eau par les AUE est insuffisant ce qui nous amène à juger que le résultat 2 n'est pas accompli. Mais, si l'on tient compte du fait que ce n'est qu'à partir de 2011 que les AUE ont commencé à assurer les activités de gestion des ouvrages hydrauliques, y compris le recouvrement des tarifs d'eau, au niveau des 9 communes cibles, l'on peut penser à la difficulté d'atteindre en si peu de temps (2 ans, c'est-à-dire 2 recouvrement des tarifs d'eau) un changement du mode de comportement lié au paiement. Il faudrait instituer une échelle de temps plus longue pour évaluer les résultats demandant un changement d'habitude ou de comportement que ceux qui ne supposent pas un tel changement.

➤ Multiple sens des formations au Japon

Les résultats des formations au Japon des cadres du MAH sont très hautement appréciés par les homologues et les experts. Pendant les formations au Japon, les experts japonais ont pu accompagner les homologues, pour faire des échanges sur le sens et le contenu du projet et partager des points de vue à un niveau élevé. Ce qui a permis d'approfondir la communication, facilitant par la suite la gestion du projet. Même si les échanges sont aussi faites au Burkina Faso, un cadre particulier de la communication pendant le séjour des homologues au Japon a contribué à intensifier les effets.

Annexe-1 Calendrier de l'étude

Calendrier de l'évaluation final du PROGEA/PCL

Date	Jour	Consultant (M.Kubo) Traducteur (M.Morita)	JICA (M. Imai, M. Kageyama)
24-janv.	Jeu	01h30 HND - CDG 06:20 (AF283); 10h55 CDG - OUA 17h40 (AF548)	
25-janv.	Ven	Entretien au bureau JICA Echanges avec les experts (concertation/interview)	
26-janv.	Sam	Dépouillement de données	
27-janv.	Dim	Dépouillement de données	
28-janv.	Lun	Matinée: visites de courtoisie : DGRE, DGAEUE Apr.-midi : Visite de courtoisie : DRAH/PCL ; entretien avec les évaluateurs de la partie burkinabè	
29-janv.	Mar	Matinée: Interview dans la commune de Toéghin Apr.-midi : Interview dans la commun de Boussé	
30-janv.	Mer	Matinée: Interview dans la commune de Zorghon Apr.-midi : Interview dans la commun de Zam	
31-janv.	Jeu	Matinée: Interview auprès des experts PACOGES Apr.-midi : Interview dans la commune de Dapélogo	
1-févr.	Ven	Matinée: Interview dans la commune de Ziniaré Apr.-midi : Interview dans la commune de Ziniaré	
2-févr.	Sam	Préparation du rapport	
3-févr.	Dim	Préparation du rapport	
4-févr.	Lun	Matinée: Interview auprès de la DRAH/PCL Apr.-midi : Interview auprès des experts	01h30 HND - CDG 06:20 (AF283); 10h55 CDG - OUA 17h40 (AF548)
5-févr.	Mar	Matinée: Entretien au bureau JICA Apr.-midi : Entretien avec les évaluateurs de la partie burkinaè; interview auprès des experts	
6-févr.	Mer	Matinée: Visite de courtoisie : DGRE, DGAEUE ; interview à AFD Apr.-midi : interview à la BM ; GIZ	
7-févr.	Jeu	Matinée: Visite de courtoisie : DRAH/PCL; visite dans la commune de Dapélogo Apr.-midi : Réunion interne sur le résultat des interview	
8-févr.	Ven	Discussion sur le rapport avec les évaluateurs de la partie burkinabè Visite de courtoisie au SG du MAH	Visite des sites de l'Ameli-Eaur
9-févr.	Sam	Concertation interne à l'équipe japonaise	
10-févr.	Dim	Concertation interne à l'équipe japonaise	
11-févr.	Lun	Réunion interne de l'équipe d'évaluation conjointe ; discussion sur le PV	
12-févr.	Mar	Discussion sur le PV	
13-févr.	Mer	Session du Comité de Pilotage Signature du PV	
14-févr.	Jeu	Compte-rendu au bureau JICA ; Ambassade du Japon 21h10 OUA - (AF547)	
15-févr.	Ven	- CDG (AF283) 06h20 - 10h55 CDG (AF282)	
16-févr.	Sam	- HND 6h55	

**Annexe-2**

**Liste des personnes rencontrées  
(Evaluation finale du PROGEA/PCL)**

**Ministère de l'Agriculture et de l'Hydraulique**

M. Jacob OUEDRAOGO Secrétaire général

DGRE

M. BINGBOURE Jean Mathieu Directeur général  
 M. SORI Alassoun Directeur de l'Approvisionnement en Eau Potable  
 M. OUBDA Jean SPAT/DAEP/DGRE  
 M. BONKOUNGOU Ousmane Chef SDI/DGRE  
 M. PORGO Mohamadi SDI/DGRE  
 Mme. TIENDREOGO Julienne Chef, SPAT/DAEP/DGRE  
 M. DE WINTER Peter AT PN-AEPA, chef de mission COWI

DGAEUE

Mme. SONDO/SAVADOGO Denis Marie Directrice générale  
 Mme. OUEDRAOGO-Baro Joséphine Directrice de Développement des Technologies, des Ouvrages d'Assainissement

DRAH/CPL

Mme. TAPSOBA Gisèle Directrice  
 M. NIKIEMA Barnaby SRE/DGAH/PCL  
 Mme. SANOU Mariam SAF/DRAH/PCL  
 Mme. CARABIRI Rokiatou SRE/DRAH/PCL  
 Mme. TRAORE Ouo Denise Sociologue, attachée en études et analyse  
 M. BALAYA Pascal SRE/DRAH/PCL  
 M. OUEDRAOGO Abdoul Slam SEP/DRAH/PCL  
 M. SAVADOGO Lassana SAF/DRAH/PCL

**Commune Toéghin (13/01/29)**

AUE Toéghin

M. BAGA Adama, président  
 M. DEMIAN Haoua, trésorier

AUE Zéquedeghin

M. COMPAORE Panebenongué, président  
 M. TAPSOBA G. P. Michel, secrétaire

AUE de Kangré

M. OUEDRAOGO P. Sayouba, président  
 M. SAWADOGO Toundassida, secrétaire

AUE de Gogsé

M. OUEDRAOGO Saaga, secrétaire  
 M. OUEDRAOGO Souleymane, président

M. TAPSOBA Idrissa, maintenancier  
 M. TAPSOBA Salam, maintenancier

M. SANOU Lucien, Chef ZAT Toéghin

**Commune de Boussé (13/01/29)**

M. KOAMA R. Richard, point focal secteur 1  
 Mme. YELBI Adama, Service eau, mairie

AUE secteur 5

Mme. ZOUNGRANA Pauline, trésorière  
 M. SAWADOGO Kimsé, secrétaire

AUE secteur 4

Mme. OUEDRAOGO O. Marie, trésorière  
 M. KAGAMBEGA K. Dieudonné, secrétaire

M. OUEDRAOGO Samwaogo, président

**Commune de Zorgho (13/01/30)**

AUE Bisghin

M. KABORE Bila Boukaré, président

M. KABORE Karim, secrétaire

AUE Digré

M. KABORE Pamoussa, trésorier

M. KABORE Toundou, président

M. KABORE Yamba Emanuel, secrétaire

AUE Dabega

M. SIMPORE Nedbala Marcel, président

M. KABORE Pierre, secrétaire

M. KABORE Salamata, trésorier

**Commune de Zorgho (13/01/30) Service Technique**

M. KABORE Amadou, DPAH/GNZ, chef UAT de Torodo

Mme. ILBOUDO Martine, DPAH/GNZ, chef ZAT Zorgho

Mme. CONGO Victorine, DPAH/GNZ, UAT de Zorgho-sud

M. SOUDRE G. Alassane, mairie Zorgho, conseiller municipal

M. DALLA Mamadou, mairie Zorgho, technicien eau et assainissement

M. OUEDRAOGO Alaye, DPAH-Ganzourgou, chef SRE

**Commune de ZAM (13/01/30)**

AUE Lalle

M. KABORE Zakaria, secrétaire

M. KAFANDO Karim, responsable info.

M. KORSAGA Rasmané, trésorier

M. TIEMTORE Yobi, président

AUE Damongto

M. KABORE T. Saidou, président

Mme. TORODO Rasmata, secrétaire

M. TIENDREBEOGO Moussa, trésorier adjoint

M. KABORE Moumini, responsable info.

AUE Gandeongo

Mme. COMPAORE Awa, trésorière

Mme. BOUKOUNGOU Nomam, présidente

M. KABORE Koumbou, secrétaire

M. OUEDRAOGO Souleymane, responsable info.

ZAT-Zam, mairie

M. NEYA Abou, chef UAT-Rapadama

Mme. COMPAORE Claudine, Point focal, mairie Zam

M. LINGANE J. Bertin, chef ZAT

M. YOUNGARE L. Paulin, SG, mairie de Zam

**Commune de Dapélogo (13/01/31)**

AUE secteur 3

M. OUEDRAOGO Sibiri, trésorier

M. OUEDRAOGO Jean d'Arc, secrétaire général

M. SAWADOGO Nongdo, responsable hygiéniste

M. SAWADOGO Baweneré, membre (S.G.) hygiéniste

AUE Soglozi

M. TIEMTORE Lassane, membre hygiéniste

M. ILBOUDO T. Boukaré, membre hygiéniste

M. ILBOUDO Kirsi, secrétaire général

M. SORE Adjara, vice-président

M. ILBOUDO T. Mathieu, gestionnaire PMH

**Commune de Zitenga**

AUE Tanlili

M. OUEDRAOGO Hamadou, conseiller

Mme. PACODE Decodie, trésorière

M. BOKORE Kantogo, secrétaire

AUE Souka

M. OUEDRAOGO Madi, président  
M. CONGO Mamouda, trésorier  
M. SINARE Souleymane, président  
M. SINARE Ussouf, trésorier  
M. SINARE Mahama, secrétaire

AUE Nogtaoli

Mme. BABRAOWA Alizeta, trésorière  
M. OUEDRAOGO Rasmane, président

AUE Kolgdisse

M. BAGUE Idrissa, président  
M. BAGUE Abdoulaye, chargé d'info.

**Commune + ZAT**

Mme. KIMA BOULOU Thérèse, Secrétaire générale/mairie  
M. ZIDA François de Salles, chef ZAT/Zitenga

**Commune de Dapélogo (13/02/07)**

AUE Somnawaye

M. OUEDRAOGO Emmanuel, président  
M. TAPSOBA Pierre, membre hygiéniste  
Mme. COMPAORE Bernadotte, trésorière  
Mme. NANA Christine, membre hygiéniste  
M. OUEDRAOGO N. Raphael, membre  
M. TAPSOBA Mathieu, membre  
M. OUEDRAOGO S. Paul, membre  
M. OUEDRAOGO J. Paul, membre  
M. OUEDRAOGO Didier, membre  
M. OUEDRAOGO Noël, membre  
M. OUEDRAOGO P. Benjamin, membre  
M. OUEDRAOGO Gilbert, membre  
M. OUEDRAOGO K. Gilbert, membre  
M. OUEDRAOGO B. Dieudonné, membre

### Annexe-3 Cadre logique du projet

08/11/2011

Résumé narratif du Projet	Indicateur	Moyens de vérification	Hypothèses importantes
<p><b>(But Global)</b>            Dans la région du Plateau Central, l'environnement en matière de santé, d'hygiène et d'assainissement est amélioré</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Le taux de population pouvant se servir durablement de points d'eau améliorés passe de 70% à 80% avant 2015.</li> <li>Le taux de fonctionnement des infrastructures hydrauliques passe de 70% à 80% avant 2015.</li> <li>La situation sur l'approvisionnement en eau potable, l'hygiène et l'assainissement des populations est améliorée avant 2015.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Rapport sur la Réforme du système de gestion des infrastructures hydrauliques</li> <li>Inventaires de la Direction Générale des Ressources en Eau (DGRE) et de la Direction Générale de l'Assainissement des Eaux Usées et Excrétas (DGAEUE).</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Les points d'eau actuels sont fonctionnels. La politique en matière de la Réforme de gestion des infrastructures hydrauliques d'approvisionnement en eau potable n'est pas changée.</li> <li>Le niveau de la capacité des infrastructures hydrauliques ne baisse pas par rapport au celui actuel.</li> <li>Les Directions Provinciales de l'Agriculture et de l'Hydraulique (DPAH) et les communes assurent le personnel pour la sensibilisation et le système budgétaire en collaboration avec les ZAT et UAT.</li> </ul>
<p><b>(Objectif du Projet)</b>            L'état de gestion et de maintenance des Infrastructures Hydrauliques et le comportement en matière d'hygiène et d'assainissement des populations sont améliorés dans les communes cibles (toutes les communes de l'Oubritenga et les communes pilotes du Ganzourgou et du Kourwéogo).</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Le taux de fonctionnement des Infrastructures Hydrauliques dans les 9 communes cibles (toutes les communes de l'Oubritenga et les communes pilotes du Ganzourgou et du Kourwéogo) progresse de 70% à 80%.</li> <li>Le système de la gestion des Infrastructures Hydrauliques conformément à la Réforme est mis en place dans les 11 communes supplémentaires (7 communes de la province du Ganzourgou et 4 communes de la province du Kourwéogo).</li> <li>Le comportement des populations des communes pilotes sur les pratiques en matière de l'approvisionnement en eau potable, d'hygiène et d'assainissement (10 articles) est amélioré au moins 60%.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Rapports du Projet</li> <li>Inventaire Nationale des Ouvrages Hydrauliques (INOH)</li> <li>Fiches du suivi</li> <li>Rapports du Projet</li> <li>Fiches du suivi</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Les agents ayant acquis les techniques continuent leur travail.</li> </ul>
<p><b>(Résultats)</b>            0 Les indicateurs du PDM sont définis.</p>			
<p>1 Le système de gestion et de maintenance des Infrastructures Hydrauliques est établi dans les communes cibles conformément à la Réforme.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Plus de 90% des agents des ZAT et UAT des communes cibles suivent la formation. Plus de 80% d'eux réussissent au test de confirmation.</li> <li>Les Associations des Usagers de l'Eau (AUE) sont constituées dans tous les villages des 3 communes pilotes avant la fin de mai 2010.</li> <li>La convention de délégation de gestion des PMH est signée entre les 3 communes pilotes et 80% de leurs AUE avant février 2011.</li> <li>Les AUE des communes de l'Oubritenga excepté la commune pilote sont constituées avant juin 2011.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Rapports de la formation</li> <li>Récépissés de la reconnaissance des AUE</li> <li>Conventions de délégation de gestion des PMH entre les communes et les AUE</li> <li>Récépissés de la reconnaissance des AUE</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Les agents ayant acquis les techniques continuent leur travail.</li> <li>Les agents ayant suivi la formation sont impliqués continuellement dans les actions du Projet.</li> <li>Les compétences et les ressources de l'Etat dans le domaine de l'approvisionnement en eau potable et de l'assainissement sont transférées aux communes.</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• La convention de délégation de gestion des PMH est signée entre les communes de l'Oubritenga excepté la commune pilote et 80% de leurs AUE avant février 2012.</li> <li>• Les Associations des Usagers de l'Eau (AUE) sont constituées dans tous les villages des 11 communes supplémentaires avant la fin de mai 2012.</li> <li>• La convention de délégation de gestion des PMH est signée entre les communes supplémentaires et les AUE avant décembre 2012.</li> <li>• Le contrat relatif à la maintenance et aux tournées de suivi des PMH est passé entre les communes cibles et 80% de leurs maintenanciers avant février 2013.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Conventions de délégation de gestion des PMH entre les communes et les AUE</li> <li>• Récépissés de la reconnaissance des AUE</li> <li>• Conventions de délégation de gestion des PMH entre les communes et les AUE</li> <li>• Contrat de suivi et d'entretien préventif des PMH entre la commune et les maintenanciers</li> </ul>	
<p>2 Les capacités des organisations villageoises dans la gestion et la maintenance des Infrastructures Hydrauliques sont renforcées.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Plus de 70% des AUE des communes pilotes arrivent à payer la redevance aux communes et plus de 70% des gestionnaires parviennent à effectuer le recouvrement à 70% avant la fin de novembre 2011.</li> <li>• Plus de 70% des AUE des communes cibles de l'Oubritenga arrivent à payer la redevance aux communes et plus de 70% des gestionnaires parviennent à effectuer le recouvrement à 70% avant la fin de projet.</li> <li>• Plus de 70% des AUE des communes supplémentaires démarre leurs activités telles que le recouvrement de frais d'eau et la gestion financière avant la fin de projet.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rapport sur les actions mises en place dans le Projet</li> <li>• Enquête auprès des vulgarisateurs ayant suivi la formation TOT.</li> <li>• Rapport sur le suivi-évaluation</li> <li>• Rapports des activités des AUE soumis aux communes</li> </ul>	
<p>3 En ce qui concerne la gestion et la maintenance des Infrastructures Hydrauliques, le système d'approvisionnement en pièces détachées et celui de réparation sont améliorés.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les maintenanciers arrivent à répondre à plus de 60% des besoins de maintenance et de tournées de suivi demandés par les communes avant octobre 2012.</li> <li>• Toutes les 20 communes de la région du Plateau Central possèdent les informations nécessaires pour la procuration de pièces de rechange (magasins, procédure de commande, etc.)</li> <li>• Le délai de réparations simple est réduit à moins d'un mois.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rapports sur le suivi-évaluation</li> <li>• Rapports sur le suivi-évaluation Rapports des maintenanciers</li> <li>• soumis aux communes</li> </ul>	
<p>4 Dans les 3 communes cibles du Plateau Central, le comportement en matière d'hygiène et d'assainissement des populations sont améliorés.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Le programme et les manuels de la sensibilisation et de l'éducation en matière de l'amélioration d'hygiène et d'assainissement sont élaborés.</li> <li>• Dans les villages des 3 communes pilotes, plus de 600 agents s'occupant du programme de promotion de l'hygiène et de l'assainissement</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rapports du projet</li> <li>• Manuels et outils élaborés</li> <li>• Rapports de la formation</li> </ul>	

	<p>ou celui de l'enseignement (enseignants, agents du centre de santé, agents charges de l'hygiène et de l'assainissement aux services techniques, animateurs villageois) sont formés.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Dans les villages des 3 communes pilotes, les activités de sensibilisation sont mises en œuvres au moins 6 fois par an par les agents s'occupant du programme de promotion de l'hygiène et de l'assainissement ou celui de l'enseignement.</li> <li>• Le guide pour le monitoring des activités en hygiène et l'entretien des infrastructures sanitaires est élaboré et le système de gestion des infrastructures sanitaires publiques est mis en place.</li> <li>• Sur la base du guide pour le monitoring des activités en hygiène et l'entretien des infrastructures sanitaires, le suivi-évaluation sur la gestion des infrastructures sanitaires et le comportement en matière d'hygiène et d'assainissement est mené dans chaque site au moins 2 fois par an.</li> <li>• Les infrastructures sanitaires publiques sont gérées par les populations.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Fiches du suivi</li> <li>• Guide élaboré</li> <li>• Fiches du suivi</li> <li>• Rappports du projet</li> <li>• Fiches du suivi</li> </ul>	
<p>5 Chaque Direction Provinciale de l'Agriculture et de Hydraulique (DPAH) arrive à : effectuer le suivi-évaluation de l'état d'approvisionnement en eau, d'hygiène, et d'assainissement : accorder des appui-conseils aux communes.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Le suivi-évaluation sur les éléments suivants sont effectués 2 fois par an par chaque DPAHRH à partir de 2010 : le taux de fonctionnement des Infrastructures Hydrauliques, l'état financier des AUE, le taux de recouvrement par les gestionnaires, l'état de maintenance et de gestion des Infrastructures Hydrauliques par les maintenanciers.</li> <li>• Le suivi-évaluation sur l'état d'hygiène et d'assainissement est effectué 2 fois par an par chaque DPAH à partir de 2010.</li> <li>• A la suite du suivi-évaluation, 70% d'appui-conseils nécessaires sont accordés suivant les moyens de chaque DPAH.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rappports du projet</li> <li>• Fiches du suivi</li> <li>• Rappports du projet</li> <li>• Fiches du suivi</li> <li>• Rappports du projet</li> <li>• Fiches du suivi</li> </ul>	
<b>(Activité)</b>		<b>(Intrants)</b>	
<p>0-1) Effectuer l'étude préliminaire pour confirmer le taux d'accès à l'eau., celui de fonctionnement des Infrastructures Hydrauliques, celui de couverture des infrastructures sanitaires(IS) et l'état de préparation de manuels au commencement du projet dans les 3 provinces cibles.</p> <p>1-1) En tenant compte du résultat de l'étude mentionnée à 0-1), la Direction Régionale de l'Agriculture et de l'Hydraulique du Plateau Central (DRAH/PCL) planifie la formation des agents des ZAT et UAT.</p> <p>1-2) En se basant sur le planning de formation, réviser les manuels existants en cas de besoin.</p>		<p align="center"><u>Partie japonais</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Envoi d'experts</li> <li>1 Conseiller en chef (renforcement des capacités d'organisation / approvisionnement en eau potable dans les zones rurales)</li> <li>2 Expert en génie sanitaire</li> </ul>	<p align="center"><u>Partie burkinabé</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 Mise à disposition du personnel homologue (salaires et indemnités)</li> <li>2 Affectation du personnel d'appui (secrétaire, comptable, chauffeur, gardien, etc.)</li> </ul>

- 1-3) La DPAH organise la formation pour le renforcement des capacités de gestion et de maintenance des Infrastructures Hydrauliques auprès des agents des ZAT et UAT qui travaillent dans les 3 provinces.
- 1-4) La DPAH effectue le test de confirmation de la formation auprès des agents des ZAT et UAT.
- 1-5) Sélectionner une commune pilote par province.
- 1-6) Les agents des ZAT et UAT, etc. appuient la sensibilisation sur les principes de gestion et de maintenance des Infrastructures Hydrauliques.
- 1-7) Les agents des ZAT et UAT, etc. des communes pilotes appuient la constitution des AUE.
- 1-8) Dans les communes pilotes, les agents des ZAT et UAT, etc. favorisent la signature de la convention entre les communes et les AUE ainsi que la conclusion du contrat entre les communes et les maintenanciers.
- 1-9) Dans les communes de l'Oubritenga excepté la commune pilote, les agents des ZAT et UAT, etc. appuient la constitution des AUE.
- 1-10) Dans les communes de l'Oubritenga excepté la commune pilote, les agents des ZAT et UAT, etc. favorisent la signature de la convention entre les communes et les AUE ainsi que la conclusion du contrat entre les communes et les maintenanciers.
- 1-11) Les agents des ZAT et UAT, etc. des communes supplémentaires appuient la constitution des AUE.
- 1-12) Dans les communes supplémentaires pilote, les agents des ZAT et UAT, etc. favorisent la signature de la convention de délégation de gestion des PMH entre les communes et les AUE ainsi que la conclusion du contrat de suivi et d'entretien des PMH entre les communes et les maintenanciers.
- 2-1) Les agents des ZAT et UAT, etc. des communes pilotes appuient la gestion de comptabilité et de finances auprès des AUE et le recouvrement auprès des gestionnaires.
- 2-2) Les agents des ZAT et UAT, etc. des communes autres que les communes pilotes appuient la gestion de comptabilité et de finances auprès des AUE et le recouvrement auprès des gestionnaires.
- 2-3) Les agents des ZAT et UAT, etc. des communes autres que les communes supplémentaires appuient la gestion de comptabilité et de finances auprès des AUE et le recouvrement auprès des gestionnaires.
- 3-1) Chaque DPAH fait l'état des lieux des magasins de pièces détachées de pompes par modèle ainsi que leur stock. Et elle relève des problèmes en matière d'approvisionnement en pièces détachées.
- 3-2) Sur la base des mesures d'amélioration contre les problèmes d'approvisionnement en pièces détachées, chaque DPAH fait le point des informations et des procédures nécessaires pour l'achat de pièces et les diffusent à toutes les communes.
- 3-3) Chaque DPAH organise la formation de réparation de pompes auprès des maintenanciers.
- 4-1) La DGAEUE du MAH élabore, en collaboration avec les Directions Régionales de la Santé (DRS) et de l'Education Nationale et de l'Alphabétisation (DRENA), le

- 3 Expert en gestion et maintenance des infrastructures hydrauliques d'AEP
- Contrats avec des bureaux d'étude locaux ou des ONG (activités pour accélérer la formation des organisations villageoises en collaboration avec les agents ZAT et UAT).
  - Fourniture d'équipements: véhicules, motos, équipements informatiques etc.
  - Frais nécessaires aux activités: l'étude préliminaire, la constitution des AUE, la mise en œuvre de formation pour la gestion et la maintenance des Infrastructures Hydrauliques et l'améliorer le système sanitaire.

- 3 Locaux pour le bureau des experts et des agents pour le Projet, l'électricité, le gaz, et l'eau courant.
- 4 Fourniture de documents et d'information
- 5 Une partie de matériels nécessaires à l'aménagement des installations sanitaire.

- 
- programme et les outils de sensibilisation et d'éducation en matière de promotion de l'hygiène et de l'assainissement en se référant au programme ou au système existants pour les trois communes pilotes.
- 4-2) Les Directions Régionale de la Santé (DRS) et de l'Education Nationale et de l'Alphabétisation (DRENA) organisent la formation en se basent sur les outils élaborés et mentionnés au 4-1) auprès des agents chargés de la sensibilisation et de l'éducation en matière d'hygiène et d'assainissement (enseignants, agents des centres de santé, agents chargés d'hygiène et d'assainissement aux services techniques et animateurs villageois) dans les communes pilotes.
- 4-3) Les agents chargés de la sensibilisation et de l'éducation en matière d'hygiène et d'assainissement mettent en œuvre le programme de sensibilisation et d'éducation dans les villages et les écoles des communes pilotes.
- 4-4) Elaborer le manuel de gestion et de maintenance des infrastructures sanitaires publiques (ISP) avec les Directions Régionales de la Santé (DRS) et de l'Education Nationale et de l'Alphabétisation (DRENA) (à l'aide de ce manuel, établir le système de vérification en matière de gestion des infrastructures sanitaires).
- 4-5) Les agents chargés de sensibilisation et d'éducation en matière d'hygiène et d'assainissement accordent un soutien à la formation des organisations villageoises faisant la gestion et la maintenance des ISP.
- 5-1) Chaque DPAH établit une liste des éléments nécessitant les informations concernant l'approvisionnement en eau et l'état d'amélioration en matière d'hygiène et d'assainissement ainsi qu'un formulaire afin de remplir ces données.
- 5-2) Les communes faisant l'objet du Projet recueillissent les informations concernant l'approvisionnement en eau et l'état d'amélioration en matière d'hygiène et d'assainissement de la part des AUE et les transmettent à la DPAH.
- 5-3) Chaque DPAH établit le système d'appui auprès des organismes concernés qui fournissent les informations sur le plan technique ou envoient des techniciens.



## Annexe-4

Réalisations des Intrants

## 1. Intrants de la partir japonaise

## (1) Envoi d'expert

Nom et prénom	Charge	Période d'envoi (y compris une prévision pour 4 <sup>ème</sup> année)
ONO Takeshi	Chef de l'équipe / Renforcement des capacités d'organisation (1) / AEP en milieu rural	1 <sup>ère</sup> année : 01 août – 13 décembre 2009 12 janvier – 15 mars 2010 12 avril – 26 mai 2010 2 <sup>ème</sup> année 4 juillet – 9 juillet 2010 1 août – 29 octobre 2010 23 novembre – 23 décembre 2010 23 janvier – 01 mai 2011 3 <sup>ème</sup> année 8 août – 19 novembre 2011 4 janvier – 2 avril 2012 21 avril – 29 juin 2012 4 <sup>ème</sup> année 27 août – 12 novembre 2012 7 janvier – 4 mars 2013 17 mars – 30 avril 2013
OHNO Akiko	Education en hygiène (1)	1 <sup>ère</sup> année 01 octobre 2009 – 19 mais 2010 (retour au pays : 16 dévembre – 5 janvier) 2 <sup>ème</sup> année 23 août – 2 décembre 2010 4 janvier – 01 mai 2011
SUGIMOTO Kikue	Education en hygiène (2)	1 <sup>ère</sup> année 12 août – 10 octobre 2009 12 avril – 5 mai 2010
FUKABAYASHI Mari	Education en hygiène (1)	3 <sup>ème</sup> année 22 avril – 29 juin 2012 4 <sup>ème</sup> année 27 août – 5 octobre 2012 14 janvier – 17 février 2013 01 avril – 30 avril 2013
NISHIYAMA Noriyuki	Education en hygiène (2)	3 <sup>ème</sup> année 8 août – 6 octobre 2011 20 décembre 2011 – 12 janvier 2012
TAKAMIZAWA Kiyoko	Gestion et maintenance des IH d'AEP (1)	1 <sup>ère</sup> année 25 janvier – 23 février 2010 25 avril – 24 mai 2010 2 <sup>ème</sup> année 25 septembre – 24 octobre 2010 6 février – 7 mars 2011 3 <sup>ème</sup> année 13 août – 31 août 2011 17 octobre – 17 novembre 2011 29 janvier – 7 mars 2012 2 mai – 31 mai 2012 4 <sup>ème</sup> année 23 septembre – 8 octobre 2012 26 janvier – 9 février 2013 15 mars – 13 avril 2013
SUEHIRO Naoko	Gestion et maintenance des IH d'AEP (2)	1 <sup>ère</sup> année 24 novembre -23 décembre 2009 2 <sup>ème</sup> année 26 février – 12 mars 2011 31 mars – 14 avril 2011
KOZUKA Nagisa	Gestion et maintenance des IH d'AEP (2)	4 <sup>ème</sup> année 30 juin – 28 août 2012 01 février – 23 mars 2013
SUGAI Jun	Renforcement des capacités d'organisation (3)	3 <sup>ème</sup> année 20 décembre 2011 – 31 janvier 2012 02 mars – 29 juin 2012
TOMIZUKA Takanori	Administrateur / Renforcement des capacités d'organisation (2)	2 <sup>ème</sup> année 01 août – 10 novembre 2010* 04 janvier – 02 février 2011 20 mars – 30 avril 2011 3 <sup>ème</sup> année 01 avril – 29 juin 2012 4 <sup>ème</sup> année 23 septembre – 30 novembre 2012* 17 mars – 30 avril 2013
ESASHI Kazuhiro	Administrateur / Renforcement des capacités d'organisation (2)	1 <sup>ère</sup> année 01 août – 13 décembre 2009
ISHI Ayano	Administrateur / Coordination des formations	4 <sup>ème</sup> année 02 octobre – 30 novembre 2012

\* Périodes d'envoi incluant celles prises en charge par entreprise

## (2) Participation aux formations au Japon

Nom et prénom de participant	Période d'accueil	Domaine	Thème de formation et organisme d'accueil	Poste occupé lors de l'envoi
OUEDRAOGO Josephine	25 janvier – 14 février 2010	Gestion AEPA	Administration de l'AEPA au Japon (Direction de l'eau de la préfecture de Tokyo, Direction de l'eau de la municipalité de Sapporo) ; Techniques de gestion/maintenance des IH et approches de l'éducation en hygiène (Université de Hokkaido, université de Fuji, etc.)	Directrice, DDTOA/DGAEUE
LOMPO Joanna Marie Delphine	Idem	Idem	Idem	Chef de service, SRE/DRAH-PCL
COMPAORE Adama	29 janvier – 06 février 2010	Gestion AEPA destinée aux hauts cadres	Compréhension de l'administration de l'AEPA au Japon (Direction de l'eau et de l'assainissement de la municipalité de Kyoto) ; compréhension des approches du secteur agricole (Préfecture de Shiga), etc.	SG/MAHRH
OUEDRAOGO M.Robert	Idem	Idem	Idem	DGPV/MAHRH
BINGBOURE Jean Mathieu	09 – 22 janvier 2011	Gestion AEPA	Compréhension de l'administration de l'AEPA au Japon (Direction de l'eau de la préfecture de Tokyo) ; Techniques de gestion/maintenance des IH et approches de l'éducation en hygiène (Centre de recyclage d'eau d'Ariake, San-tours Tokyo, etc.)	Directeur, DAEP/DGRE/MAH
TAPSOBA Gisèle	Idem	Idem	Idem	Directrice, DRAHRH-PCL
MAIGA Moussa	Idem	Idem	Idem	Directeur, DEP/MAH
PALENFO Fousseni	Idem	Idem	Idem	Directeur, DLPELD/DGAEUE
NAKOULMA Boukaré	Idem	Idem	Idem	DPAH-KWG

(3) Fourniture d'équipements

N°	Date d'arrivée	Appellation	Type	Marque	Prix d'achat (en yen)	lieu d'installation	But d'utilisation	Etat actuel
1	Nov. 2009	Motocycle	YBR125	YAMAHA	196 460	DPAH/OTG	Visite des villages, suivi des activités, etc.	Bon état de marche
2	Nov. 2009	Motocycle	YBR125	YAMAHA	196 460	DPAH/OTG	Visite des villages, suivi des activités, etc.	Bon état de marche
3	Nov. 2009	Motocycle	YBR125	YAMAHA	196 460	DPAH/OTG	Visite des villages, suivi des activités, etc.	Bon état de marche
4	Nov. 2009	Motocycle	YBR125	YAMAHA	196,460	DPAH/OTG	Visite des villages, suivi des activités, etc.	Bon état de marche
5	Nov. 2009	Motocycle	YBR125	YAMAHA	196 460	DPAH/OTG	Visite des villages, suivi des activités, etc.	Bon état de marche
6	Nov. 2009	Motocycle	YBR125	YAMAHA	196 460	DPAH/OTG	Visite des villages, suivi des activités, etc.	Bon état de marche
7	Nov. 2009	Motocycle	YBR125	YAMAHA	196 460	DPAH/OTG	Visite des villages, suivi des activités, etc.	Bon état de marche
8	Nov. 2009	Motocycle	YBR125	YAMAHA	196 460	DPAH/OTG	Visite des villages, suivi des activités, etc.	Bon état de marche
9	Nov.	Motocycle	YBR125	YAMAHA	196 460	DPAH/OTG	Visite des villages,	Bon état de

N°	Date d'arrivée	Appellation	Type	Marque	Prix d'achat (en yen)	lieu d'installation	But d'utilisation	Etat actuel
	2009						suivi des activités, etc.	marche
10	Nov. 2009	PC de bureau	DX2400	HP Compaq	123 310	DRAH/PCL	Préparation de documents, etc.	Bon état de marche
11	Nov. 2009	PC de bureau	DX2400	HP Compaq	123 310	DRAH/PCL	Préparation de documents, etc.	Bon état de marche
12	Nov. 2009	PC de bureau	DX2400	HP Compaq	123 310	Bureau de projet	Préparation de documents, etc.	Bon état de marche
13	Nov. 2009	PC de bureau	DX2400	HP Compaq	123 310	Bureau de projet	Préparation de documents, etc.	Bon état de marche
14	Nov. 2009	PC de bureau	DX2400	HP Compaq	123 310	DGRE	Préparation de documents, etc.	Bon état de marche
15	Nov. 2009	PC de bureau	DX2400	HP Compaq	123 310	DPAH/OTG	Préparation de documents, etc.	Bon état de marche
16	Nov. 2009	PC de bureau	DX2400	HP Compaq	123 310	DPAH/GNZ	Préparation de documents, etc.	Bon état de marche
17	Nov. 2009	PC de bureau	DX2400	HP Compaq	123 310	DPAH/KWG	Préparation de documents, etc.	Bon état de marche
18	Nov. 2009	Onduleur (ASI)	1200VA	Mercury	12 540	DRAH/PCL	Alimentation sans interruption	Bon état de marche
19	Nov. 2009	Onduleur (ASI)	1200VA	Mercury	12 540	DRAH/PCL	Alimentation sans interruption	Bon état de marche
20	Nov. 2009	Onduleur (ASI)	1200VA	Mercury	12 540	Bureau de projet	Alimentation sans interruption	Bon état de marche
21	Nov. 2009	Onduleur (ASI)	1200VA	Mercury	12 540	Bureau de projet	Alimentation sans interruption	Bon état de marche
22	Nov. 2009	Onduleur (ASI)	1200VA	Mercury	12 540	DGRE	Alimentation sans interruption	Bon état de marche
23	Nov. 2009	Onduleur (ASI)	1200VA	Mercury	12 540	DPAH/OTG	Alimentation sans interruption	Bon état de marche
24	Nov. 2009	Onduleur (ASI)	1200VA	Mercury	12 540	DPAH/GNZ	Alimentation sans interruption	Bon état de marche
25	Nov. 2009	Onduleur (ASI)	1200VA	Mercury	12 540	DPAH/KWG	Alimentation sans interruption	Bon état de marche
26	Nov. 2009	PC portable	L550-17P	TOSHIBA	120 175	DRAH	Ateliers, formations, etc. au niveau local	
27	Nov. 2009	Copieuse	IR2016	CANON	130 625	DRAH/PCL	Reproduction de documents, etc.	
28	Nov. 2009	Imprimante couleur à laser	4650	HP	313 500	DRAH/PCL	Impression de documents, etc.	En réparation
29	Nov. 2009	Imprimante couleur à laser	4650	HP	313 500	Bureau de projet	Impression de documents, etc.	En réparation
30	Nov. 2009	Imprimante couleur à laser	4650	HP	313 500	DGRE	Impression de documents, etc.	Bon état de marche
31	Nov. 2009	Imprimante N/B à laser	M1120	HP	31 350	Bureau de projet	Impression de documents, etc.	Bon état de marche
32	Nov. 2009	Imprimante N/B à laser	M1120	HP	31 350	DPAH/OTG	Impression de documents, etc.	Bon état de marche
33	Nov. 2009	Imprimante N/B à laser	M1120	HP	31 350	DPAH/GNZ	Impression de documents, etc.	Bon état de marche
34	Nov. 2009	Imprimante N/B à laser	M1120	HP	31 350	DRAH/PCL	Impression de documents, etc.	
35	Nov. 2009	Imprimante N/B à laser	M1120	HP	31 350	DPAH/KWG	Impression de documents, etc.	En réparation
36	Nov. 2009	Projecteur	EB-X&	EPSON	125 400	Bureau de projet	Organisation d'ateliers, séminaires, etc.	Bon état de marche
37	Juin 2012	Motocycle	YBR125	YAMAHA	166 770	DPAH/OTG	Visite des villages,	Bon état de

N°	Date d'arrivée	Appellation	Type	Marque	Prix d'achat (en yen)	lieu d'installation	But d'utilisation	Etat actuel
							suivi des activités, etc.	marche
38	Juin 2012	Motocycle	YBR125	YAMAHA	166 770	DPAH/GNZ	Visite des villages, suivi des activités, etc.	Bon état de marche

(4) Frais locaux (équivalents en yen ; en date de la fin décembre 2012)

Désignation	Montant (1 <sup>ère</sup> année)	Montant (2 <sup>ème</sup> année)	Montant (3 <sup>ème</sup> année)	Montant (4 <sup>ème</sup> année)	Total (de 1 <sup>ère</sup> à 4 <sup>ème</sup> année)
Personnesl	3 030 058	2 756 221	4 563 027	1 660 687	12 009 993
Entretien et maintenance des équipements du projet	426 423	440 488	1 151 950	629 265	2 648 126
Consommables	1 490 426	1 418 445	2 002 385	688 434	5 599 690
Déplacement et mission	627 288	1 842 035	7 239 217	1 925 766	11 634 306
Communication et transport	97 449	156 085	155 335	10 373	419 242
Préparations de documents, etc.	727 958	2 321 474	3 128 951	289 551	6 467 934
Location	1 093 635	225 480	552 600	353 640	1 872 069
Formations locales	546 607	4 284 812	17 594 987	2 288 738	24 715 144
Divers	56 989	50 630	215 855	20 150	343 624
Achats d'équipements / matériels à fournir ou à amener	4 248 460	183 000	683 540		5 115 000
Elaboration de rapports	300 000	620 000	619 048		1 539 048
Prestation de services	11 942 426	29 722 894	40 596 288	9 001 348	91 262 956
Réunions / conférences	24 120	46 342	69 316		139 778
Total (en yen)	24 611 839	44 098 906	78 572 498	16 867 952	164 151 195

(5) Réalisations de séminaires / formations (en date de la fin décembre 2012)

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
[ 1 ] Activités liées à la mise en place d'un système de gestion des IH d'AEP dans les communes cibles ; (dans le cadre du résultat 1)						
AF 2009 (1 <sup>ère</sup> année)	Atelier régional d'information sur la Réforme	10 février 2010	1 jour	84	Gouverneur/Rég. PCL ; Haut-commissaires ; Préfets ; Maires ; Personnels DRAH / DPAH ; NGO ; Organisations sous-traitant ; etc.	Fourniture d'informations sur la Réforme
AF 2009 (1 <sup>ère</sup> année)	Ateliers communaux d'information sur la Réforme	16-18 mars 2010	3 jours (1 jour par com.)	343.	Maires ; conseillers municipaux ; CVD ; préfets de département	Faciliter la compréhension des rôles et responsabilités des responsables communaux dans la Réforme
AF 2010 (1 <sup>ère</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation aux communes pilotes sur la Réforme : Dapélogo (1 <sup>er</sup> groupe)	3-4 mai 2010	2 jours	38	Maires ; SG, comptables de commune ; préfets de département ; conseillers municipaux ; Personnels des DRAH ; DPAH ; ZAT	Explication sur la Réforme du système ; fixation du prix minimum par commune ; contractualisation entre les différents acteurs
AF 2010 (1 <sup>ère</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation aux communes pilotes sur la Réforme : Dapélogo (2 <sup>nd</sup> e groupe)	5-6 mai 2010	2 jours	33	Idem	Idem
AF 2010 (1 <sup>ère</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation aux communes pilotes sur la Réforme : Zorgho (1 <sup>er</sup> groupe)	10-11 mai 2010	2 jours	49	Idem	Idem
AF 2010 (1 <sup>ère</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation aux communes pilotes sur la Réforme : Zorgho (2 <sup>nd</sup> e groupe)	12-13 mai 2010	2 jours	44	Idem	Idem
AF 2010 (1 <sup>ère</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation aux communes pilotes sur la Réforme : Toéghin	28-29 avril 2010	2 jours	47	Idem	Idem
AF 2010 (1 <sup>ère</sup> année)	Voyage d'étude des acteurs concernés des communes pilotes sur la Réforme	19-21 mai 2010	3 jours	16	Représentants des communes pilotes ; chefs ZAT ; Directeurs provinciaux DPAH ; Personnel des SRE/DRAH -PCL ; chef d'équipe ANTEA	Acquérir les expériences de la région du Sahel qui est en avance par son expérimentation réalisée dans le cadre du PAR, afin d'améliorer les connaissances sur l'application de la Réforme
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation aux communes pilotes	6-7 décembre 2010	2 jours	40	Maires ; SG de commune ; conseillers municipaux ; préfets de département ; comptables ; contrôleurs financiers ; personnels DRAH ; etc.	Convention de délégation de gestion des IH ; opération et contrat de tournée de suivi et d'entretien des IH ; etc.
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation aux communes pilotes	10-11 mars 2011	2 jours	42	Maires ; SG de commune ; conseillers municipaux ; préfets de département ; comptables ; contrôleurs financiers ; personnels DRAH ; etc.	Sélection des réparateurs des PMH ; passation du contrat ; mise en place des tournées de suivi et compte-rendu ; mode de paiement ; etc.

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Ateliers communaux d'information sur la Réforme aux communes (Absouya ; Loumbila)	13 déc. 2010	1 jour	157	Responsables communaux ; préfets de département ; CEB ; CSPS ; organisations d'habitants ; réparateurs de pompe ; etc.	Faciliter la compréhension des rôles et responsabilités des responsables communaux dans la Réforme
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Ateliers communaux d'information sur la Réforme aux communes (Nagréongo ; Ourgou-Manéga)	14 déc. 2010	1 jour	147	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Ateliers communaux d'information sur la Réforme aux communes (Ziniaré ; Zitenga)	15 déc. 2010	1 jour	251	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation aux communes cibles	15-16 mars 2011	2 jours	67	Responsables communaux ; préfets de département ; DRAH, DPAH ; etc.	Problématiques du système de gestion et de maintenance des IH ; fixation du prix minimum de l'eau ; contractualisation entre AUE et réparateurs, etc.
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation aux communes cibles sur la Réforme	25-27 octobre 2011	3 jours	40	Maires ; SG de commune ; comptables ; conseillers municipaux ; préfets de département ; etc.	Convention de délégation de gestion des IH ; contrat de tournée de suivi et d'entretien ; sélection de réparateurs de pompe et passation du contrat ; etc.
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation aux communes cibles sur la Réforme	2-4 nov. 2011	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Atelier communal d'information sur la Réforme aux communes supplémentaires (Boussé)	07 février 2012	1 jour	85	Responsables communaux ; préfets de département ; CEB ; CSPS ; organisations d'habitants ; réparateurs de pompe ; etc.	Faciliter la compréhension des rôles et responsabilités des responsables communaux dans la Réforme
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Atelier communal d'information sur la Réforme aux communes supplémentaires (Laye)	13 février 2012	1 jour	47	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Atelier communal d'information sur la Réforme aux communes supplémentaires (Niou)	13 février 2012	1 jour	97	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Atelier communal d'information sur la Réforme aux communes supplémentaires (Sourgoubila)	07 février 2012	1 jour	71	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Atelier communal d'information sur la Réforme aux communes supplémentaires (Boudry 1)	08 février 2012	1 jour	118	Idem	Idem

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Atelier communal d'information sur la Réforme aux communes supplémentaires (Boudry 2)	09 février 2012	1 jour	87	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Atelier communal d'information sur la Réforme aux communes supplémentaires (Khogo)	08 février 2012	1 jour	57	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Atelier communal d'information sur la Réforme aux communes supplémentaires (Meguet)	08 février 2012	1 jour	82	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Atelier communal d'information sur la Réforme aux communes supplémentaires (Mogtedo)	09 février 2012	1 jour	85	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Atelier communal d'information sur la Réforme aux communes supplémentaires (Salogo)	09 février 2012	1 jour	68	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Atelier communal d'information sur la Réforme aux communes supplémentaires (Zam)	10 février 2012	1 jour	118	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Atelier communal d'information sur la Réforme aux communes supplémentaires (Zoungou)	13 février 2012	1 jour	71	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation aux communes supplémentaires (Provence KWG)	20-21 mars 2012	2 jours	44	Maires ; SG et comptables de commune ; conseillers municipaux ; préfets de département ; contrôleurs financiers ; etc.	Problématiques du système de gestion et de maintenance des IH ; mode de fixation du prix d'eau ; convention et contrats entre AUE et réparateurs ; etc.
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation aux communes supplémentaires (province GNZ 1)	28-29 mars 2012	2 jours	49	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation aux communes supplémentaires (province GNZ 2)	26-27 mars 2012	2 jours	47	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation aux communes supplémentaires (province KWG)	9-10 octobre 2012	2 jours	55	Idem	Convention de délégation de gestion des PMH entre communes et AUE ; élaboration des budgets communaux ; mode de sélection des réparateurs de pompe ; contrat de tournée de suivi et d'entretien entre communes et réparateurs de pompe

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation aux communes supplémentaires (province GNZ 1)	16-17 octobre 2012	2 jours	57	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation aux communes supplémentaires (province GNZ 2)	18-19 octobre 2012	2 jours	47	Idem	Idem
[ 2 ] Activités liées au renforcement de capacités des organisations villageoises sur la gestion des IH d'AEP ; (dans le cadre du résultat 2)						
AF 2009 (1 <sup>ère</sup> année)	Formation des animateurs chargés de l'appui à la mise en place de l'AUE (communes pilotes)	4-11 mars 2010	5 jours	6	Animateurs des sous-traitants locaux	Aperçu de la Réforme ; rôle et présentation des acteurs ; pratiques liées aux activités de mise en place de l'AUE ; etc.
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Formation des animateurs chargés de l'appui à la mise en place de l'AUE (communes pilotes et cibles)	15-21 sept. 2010	5 jours	15	Animateurs des sous-traitants locaux	Aperçu de la Réforme ; rôle et présentation des acteurs ; pratiques liées aux activités de mise en place de l'AUE ; etc.
AF 2011. (3 <sup>ème</sup> année)	Formation des animateurs chargés de l'appui à la mise en place de l'AUE (communes cibles)	3-7 oct. 2011	5 jours	9	Animateurs des sous-traitants locaux	Aperçu de la Réforme ; rôle et présentation des acteurs ; pratiques liées aux activités de mise en place de l'AUE ; etc.
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Formation des animateurs chargés de l'appui à la mise en place de l'AUE (communes supplémentaires)	26/janv.-01 /févr. 2012	5 jours	30	Animateurs des sous-traitants locaux	Aperçu de la Réforme ; rôle et présentation des acteurs ; pratiques liées aux activités de mise en place de l'AUE ; etc.
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	Formation des animateurs chargés de l'appui à la mise en place de l'AUE (communes supplémentaires)	17-21 sept. 2012	5 jours	9	Animateurs des sous-traitants locaux	Aperçu de la Réforme ; rôle et présentation des acteurs ; pratiques liées aux activités de mise en place de l'AUE ; etc.
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Formation des formateurs des AUE (1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes pilotes)	18-24 nov. 2010	5 jours	9	Animateurs des sous-traitants locaux	Pratiques liées à l'encadrement des formations des AUE, etc.
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Formation des formateurs des AUE (2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes)	21-25 mars 2011	5 jours	4	Animateurs des sous-traitants locaux	Pratiques liées à l'encadrement des formations des AUE, etc.
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Formation des formateurs des AUE (2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles)	7-11 nov. 2011	5 jours	9	Animateurs des sous-traitants locaux	Pratiques liées à l'encadrement des formations des AUE, etc.
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Formation des formateurs des AUE (3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes)	4-6 janvier 2012	3 jours	9	Animateurs des sous-traitants locaux	Pratiques liées à l'encadrement des formations des AUE, etc.
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Formation des formateurs des AUE (3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles)	19-21 mars 2012	3 jours	9	Animateurs des sous-traitants locaux	Pratiques liées à l'encadrement des formations des AUE, etc.

Jo

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	Formation des formateurs des AUE (2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires)	23-30 oct. 2012	5 jours	9	Animateurs des sous-traitants locaux	Pratiques liées à l'encadrement des formations des AUE, etc.
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Toéghin 1)	29/nov.-01/déc. 2010	3 jours	36	Représentants AUE : président, secrétaire, trésorier, etc.	Pratiques de la gestion des IH d'AEP
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Toéghin 2)	2-4 déc. 2010	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Dapélogo 1)	29/nov.-01/déc. 2010	3 jours	35	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Dapélogo 2)	2-4 déc. 2010	3 jours	45	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Dapélogo 3)	6-8 déc. 2010	3 jours	30	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Zorgho 1)	29/nov.-01/déc. 2010	3 jours	39	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Zorgho 2)	2-4 déc. 2010	3 jours	39	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Zorgho 3)	6-8 déc. 2010	3 jours	46	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Toéghin 1)	28-30 mars 2011	3 jours	36	Représentants des AUE : président, secrétaire, trésorier, chargé d'info.	Responsabilité des acteurs concernés dans la convention, le contrat et la gestion financière ; gestion financière ; compte-rendu des activités à l'AG ; etc.
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Toéghin 2)	31/mars-2/avril 2011	3 jours	35	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Dapélogo 1)	28-30 mars 2011	3 jours	39	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Dapélogo 2)	31/mars-2/avril 2011	3 jours	34	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Dapélogo 3)	4-6 avril 2011	3 jours	39	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Zorgho 1)	4-6 avril 2011	3 jours	38	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Zorgho 2)	7-9 avril 2011	3 jours	46	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Zorgho 3)	7-9 avril 2011	3 jours	43	Idem	Idem

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Absouya 1)	27-29 avril 2011	3 jours	36	Représentants AUE : président, secrétaire, trésorier, chargé d'info. etc.	Pratiques de la gestion des IH d'AEP
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Absouya 2)	Idem	3 jours	39	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Nagréongo 1)	5-7 mai 2011	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Nagréongo 2)	Idem	3 jours	35	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Ourgou-Manéga 1)	27-29 avril 2011	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Ourgou-Manéga 2)	2-4 mai 2011	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Ourgou-Manéga 3)	Idem	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Loubila 1)	12-14 mai 2011	3 jours	47	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Loubila 2)	Idem	3 jours	47	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Loubila 3)	16-18 mai 2011	3 jours	24	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Zitenga 1)	2-4 mai 2011	3 jours	48	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Zitenga 2)	5-7 mai 2011	3 jours	48	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Zitenga 3)	9-11 mai 2011	3 jours	44	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Zitenga 4)	16-18 mai 2011	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Ziniaré 1)	9-11 mai 2011	3 jours	48	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Ziniaré 2)	Idem	3 jours	46	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Ziniaré 3)	12-14 mai 2011	3 jours	47	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Ziniaré 4)	16-18 mai 2011	3 jours	56	Idem	Idem

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Absouya 1)	14-16 nov. 2011	3 jours	36	Représentants des AUE : président, secrétaire, trésorier, chargé d'info. etc.	Compréhension des activités réalisées, des problématiques ; convention, contrat entre les parties prenantes ; gestion financière ; etc.
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Absouya 2)	17-19 nov. 2011	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Nagréngo 1)	14-19 nov. 2011	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Nagréngo 2)	17-19 nov. 2011	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Ourgou-Maréga1)	21-23 nov. 2011	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Ourgou-Maréga2)	24-26 nov. 2011	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Ourgou-Maréga3)	28-30 nov. 2011	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Loubila 1)	5-7 déc. 2011	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Loubila 2)	24-26 nov. 2011	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Loubila 3)	28-30 nov. 2011	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Gitenga 1)	5-7 déc. 2011	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Gitenga 2)	8-10 déc. 2011	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Gitenga 3)	12-14 déc. 2011	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Gitenga 4)	15-17 déc. 2011	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Gitenga 5)	19-21 déc. 2011	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Giniaré 1)	5-7 déc. 2011	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Giniaré 2)	8-10 déc. 2011	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Giniaré 3)	12-14 déc. 2011	3 jours	40	Idem	Idem

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Giniaré 4)	15-17 déc. 2011	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Giniaré 5)	19-21 déc. 2011	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Toéghin 1)	16-18 janv. 2012	3 jours	40	Représentants des AUE : président, secrétaire, comptable, chargé d'info. ; DRAH, DPAH ; ZAT, UAT ; représentants communaux	Activités de gestion et de maintenance, fonctions et rôle des AUE, etc.
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Toéghin 2)	19-21 janv. 2012	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Dapélogo 1)	16-19 janv. 2012	3 jours	45	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Dapélogo 2)	19-21 janv. 2012	3 jours	45	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Dapélogo 3)	23-25 janv. 2012	3 jours	41	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Zorgho 1)	23-25 janv. 2012	3 jours	50	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Zorgho 2)	26-28 janv. 2012	3 jours	49	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes pilotes (Zorgho 3)	26-28 janv. 2012	3 jours	49	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Ziniaré 1)	16-18 avril 2012	3 jours	61	Représentants des AUE : président, secrétaire, comptable, chargé d'info. ; DRAH, DPAH ; ZAT, UAT ; représentants communaux	Activités de gestion et de maintenance, fonctions et rôle des AUE, etc.
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Ziniaré 2)	Idem	3 jours	60	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Ziniaré 3)	19-21 avril 2012	3 jours	60	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Ziniaré 4)	Idem	3 jours	56	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Absouya 1)	16-18 avril 2012	3 jours	48	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Absouya 2)	Idem	3 jours	44	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Ourgou-Manéga 1)	19-21 avril 2012	3 jours	64	Idem	Idem

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Ourgou-Manéga 2)	Idem	3 jours	64	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Gitenga 1)	23-25 avril 2012	3 jours	56	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Gitenga 2)	Idem	3 jours	52	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Gitenga 3)	26-28 avril 2012	3 jours	48	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Gitenga 4)	Idem	3 jours	48	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Loubila 1)	23-25 avril 2012	3 jours	73	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Loubila 2)	Idem	3 jours	69	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Nagréongolo 1)	26-28 avril 2012	3 jours	48	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes cibles (Nagréongolo 2)	26-28 avril 2012	3 jours	49	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Laye)	14-16 mai 2012	3 jours	44	Représentants des AUE : président, secrétaire, comptable, chargé d'info. ; DRAH, DPAH ; ZAT, UAT ; représentants communaux	Pratiques de la gestion des IH d'AEP
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Niou 1)	Idem	3 jours	48	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Niou 2)	Idem	3 jours	45	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boussé 1)	7-9 juin 2012	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boussé 2)	Idem	3 jours	41	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Sourgoubila 1)	Idem	3 jours	44	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Sourgoubila 2)	Idem	3 jours	41	Idem	Idem

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boudry 1)	21-23 mai 2012	3 jours	48	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boudry 2)	Idem	3 jours	48	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boudry 3)	28-30 mai 2012	3 jours	64	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boudry 4)	Idem	3 jours	60	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boudry 5)	4-6 juin 2012	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boudry 6)	Idem	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Zam 1)	21-23 mai 2012	3 jours	48	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Zam 2)	Idem	3 jours	48	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Zam 3)	31/mai-02/juin 2012	3 jours	44	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Meguet 1)	24-26 mai 2012	3 jours	52	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Meguet 2)	Idem	3 jours	52	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Khogo)	Idem	3 jours	64	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Salogo)	31/mai-02/juin 2012	3 jours	60	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Mogtedo 1)	4-6 juin 2012	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Mogtedo 2)	Idem	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Mogtedo 3)	11-13 juin 2012	3 jours	36	Idem	Idem

40

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Zoungou 1)	28-30 mai 2012	3 jours	56	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Zoungou 2)	11-13 juin 2012	3 jours	52	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Laye)	15-17 nov. 2012	3 jours	40	Représentants des AUE : président, secrétaire, comptable, chargé d'info. ; DRAH, DPAH ; ZAT, UAT ; représentants communaux	Compréhension des activités réalisées, des problématiques ; convention, contrat entre les parties prenantes ; gestion financière ; etc.
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Niou 1)	8-10 nov. 2012	3 jours	44	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Niou 2)	13-15 déc. 2012	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boussé 1)	5-7 nov. 2012	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boussé 2)	19-21 nov. 2012	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Zourlgoubila 1)	12-14 nov. 2012	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Zourlgoubila 2)	5-7 déc. 2012	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boudry 1)	5-7 nov. 2012	3 jours	44	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boudry 2)	Idem	3 jours	44	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boudry 3)	12-14 nov. 2012	3 jours	44	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boudry 4)	Idem	3 jours	44	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boudry 5)	5-7 déc. 2012	3 jours	44	Idem	Idem

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boudry 6)	Idem	3 jours	44	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Boudry 7)	13-15 déc. 2012	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Zam 1)	8-10 nov. 2012	3 jours	48	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Zam 2)	Idem	3 jours	48	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Zam 3)	17-19 déc. 2012	3 jours	44	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Meguet 1)	19-21 nov. 2012	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Meguet 2)	Idem	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Meguet 3)	5-7 déc. 2012	3 jours	32	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Khogo 1)	5-7 nov. 2012	3 jours	32	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Khogo 2)	15-17 nov. 2012	3 jours	32	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Salogo 1)	8-10 nov. 2012	3 jours	32	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Salogo 2)	19-21 nov. 2012	3 jours	28	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Mogdeto 1)	15-17 nov. 2012	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Mogdeto 2)	Idem	3 jours	40	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Mogdeto 3)	13-15 déc. 2012	3 jours	36	Idem	Idem

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Zoungou 1)	12-14 nov. 2012	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Zoungou 2)	13-15 déc. 2012	3 jours	36	Idem	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> session de formation des AUE des communes supplémentaires (Zoungou 3)	17-19 déc. 2012	3 jours	36	Idem	Idem
[ 3 ] Activités liées à l'amélioration du système et au renforcement de capacités de maintenance et de réparation des ouvrages hydrauliques ; (dans le cadre du résultat 3)						
AF 2010 (1 <sup>ère</sup> année)	1 <sup>ère</sup> réunion d'information des artisans réparateurs (province GNZ)	10 mai 2010	1 jour	16	Artisans réparateurs de pompes	Rappel du système de réparation dans le cadre de la Réforme ; mise en place d'une base de données ; etc.
AF 2010 (1 <sup>ère</sup> année)	1 <sup>ère</sup> réunion d'information des artisans réparateurs (province KWG)	12 mai 2010	1 jour	24	Idem	Idem
AF 2010 (1 <sup>ère</sup> année)	1 <sup>ère</sup> réunion d'information des artisans réparateurs (province OTG)	14 mai 2010	1 jour	47	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Atelier des artisans réparateurs de pompes (province GNZ)	4 oct. 2010	1 jour	20	Artisans réparateurs de pompes	Objectifs et principes de la Réforme ; procédé de la passation d'un contrat avec les communes ; etc.
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Atelier des artisans réparateurs de pompes (province KWG)	6 oct. 2010	1 jour	21	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Atelier des artisans réparateurs de pompes (province OTG)	8 oct. 2010	1 jour	19	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> réunion des artisans réparateurs (province GNZ)	17 février 2011	1 jour	21	Artisans réparateurs de pompes	Distribution du certificat d'agrément ; activités de l'association de maintenanciers ; etc.
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> réunion des artisans réparateurs (province KWG)	18 février 2011	1 jour	24	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> réunion des artisans réparateurs (province OTG)	21 février 2011	1 jour	20	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> formation à la Réforme des maintenanciers	1-4 mars 2011	4 jours	42	Maintenanciers, personnels provinciaux et communaux	Teneur du contrat de tournée de suivi et d'entretien des IH ; procédure d'appel d'offres ; fixation des prix des tournées et réparations ; etc.

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> réunion des maintenanciers (province GNZ)	5 avril 2011	1 jour	19	Artisans réparateurs de pompes	Identification d'outils manquant ; méthodes ou système de gestion des outils ; méthodes de gestion des pièces de rechange ; préparation pour l'appel d'offres ; etc.
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> réunion des maintenanciers (province KWG)	6 avril 2011	1 jour	17	Idem	Idem
AF 2011 (2 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> réunion des maintenanciers (province OTG)	7 avril 2011	1 jour	18	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	4 <sup>ème</sup> réunion des maintenanciers (province GNZ)	23 août 2011	1 jour	18	Artisans réparateurs de pompes	Vérification des outils fournis ; méthodes ou système de gestion des outils ; système de vente et de gestion des pièces de rechange ; etc.
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	4 <sup>ème</sup> réunion des maintenanciers (province KWG)	24 août 2011	1 jour	15	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	4 <sup>ème</sup> réunion des maintenanciers (province OTG)	25 août 2011	1 jour	18	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Atelier de maintenanciers (province GNZ)	4 nov. 2011	1 jour	12	Artisans réparateurs de pompes	Concepts de la Réforme ; confirmation des rôles et responsabilités de chaque acteur ; procédure de demande d'agrément ; etc.
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Atelier de maintenanciers (province KWG)	3 nov. 2011	1 jour	10	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Atelier de maintenanciers (province OTG)	2 nov. 2011	1 jour	15	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> formation de maintenanciers	8-11 nov. 2011	4 jours	32	Maintenanciers, personnels provinciaux	Activités des tournées de suivi et d'entretien ; compte-rendu et paiement suite à gros travaux de démontage
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> formation de maintenanciers (province UTG)	13-17 février 2012	5 jours	19	Maintenanciers	Réparation et visite de différents types de pompe ; acquisition des techniques liées aux tournées de suivi et d'entretien
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> formation de maintenanciers (province KWG)	10-24 février 2012	5 jours	16	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	3 <sup>ème</sup> formation de maintenanciers (province GNZ)	27/févr.-2/ mars 2012	5 jours	19	Idem	Idem
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	Session de formation des associations de maintenanciers	21-23 mai 2012	3 jours	18	Représentants de chaque association provinciale des maintenanciers, SRE/DPAH	Acquisition des connaissances sur la gestion des stocks et gestion financière par association

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	Assemblée générale de la fédération des associations de maintenanciers	24 sept. 2012	1 jour	80	Maintenanciers (membres d'association) ; personnels des DRAH, DPAH	Création d'une fédération des associations de maintenanciers de la région du Plateau Central
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> formation des maintenanciers des communes supplémentaires (province KWG)	1-4 oct. 2012	4 jours	30	Maintenanciers ; personnels provinciaux et communaux	Teneur du contrat de tournée de suivi et d'entretien des IH ; procédure d'appel d'offres ; fixation des prix des tournées et réparations ; etc.
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> formation des maintenanciers des communes supplémentaires (province GNZ)	8-11 oct. 2012	4 jours	43	Maintenanciers ; personnels provinciaux et communaux	Idem
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	Formation de recyclage des maintenanciers de la province d'OTG	15-18 oct. 2012	4 jours	35	Maintenanciers et assistants ; personnels de la DRAH	Teneur du contrat de tournée de suivi et d'entretien des IH ; procédure d'appel d'offres ; fixation des prix des tournées et réparations ; méthodes d'évaluation de la qualité de l'eau ; etc.
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> formation des maintenanciers des communes supplémentaires (province KWG)	22-25 oct. 2012	4 jours	24	Maintenanciers et assistants ; personnels de la DRAH	Activités des tournées de suivi et d'entretien ; compte-rendu et paiement suite à gros travaux de démontage
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> formation des maintenanciers des communes supplémentaires (province GNZ)	5-8 nov. 2012	4 jours	32	Maintenanciers et assistants	Idem
<b>[ 4 ] Activités liées à la promotion de l'hygiène et de l'assainissement ; (dans le cadre du résultat 4)</b>						
AF 2009 (1 <sup>ère</sup> année)	Réunion pour synergie des activités PHA	11 sept. 2009	1 jour	16	DGAEUE, DGRE ; HPES /MS ; DGRE/SDI-AEP ; DRDP/MEBA ; DRAHRH/PCL ; UNICEF, DANIDA, JICA, CREPA Burkina, APS, Water Aid	Confirmation des collaborations entre des acteurs ; élaboration du matériel didactique PHA
AF 2009 (1 <sup>ère</sup> année)	Atelier de confection du matériel didactique PHA	6 oct. 2009	1 jour	17	DGAEUE, DGRE ; DHPES /MS ; DGRE /SDI-AEP ; DRDP /MEBA ; DRAHRH/PCL ; UNICEF, DANIDA, JICA, CREPA Burkina, APS, Water Aid, ACF, ONEA	Confirmation des conceptions du matériel didactique, informations supplémentaires ; confirmation et corrections des images PHAST ; etc.
AF 2009 (1 <sup>ère</sup> année)	Formation des formateurs administratifs de PHA	22-26 mars 2010	5 jours	34	DRAH/PCL ; DREBA /PCL ; DRS/PCL ; DPAH ; DPEBA ; DS ; ZAT, CEB /CPI ; CSPS/AIS, communes pilotes ; ACF, APS	Maîtrise de la méthode de sensibilisation ; compréhension du mécanisme d'exécution et du système du suivi du projet

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2010 (1 <sup>ère</sup> année)	Formation des animateurs villageois de PHA (Dapélogo)	29-30 avril 2010	2 jours	29	5 villages cibles et 4 écoles primaires	Approches de sensibilisation ; maîtrise des méthodes d'analyse des problèmes et défis ; etc.
AF 2010 (1 <sup>ère</sup> année)	Formation des animateurs villageois de PHA (Zorgho)	21-22 avril 2010	2 jours	41	7 villages cibles et 6 écoles primaires	Idem
AF 2010 (1 <sup>ère</sup> année)	Formation des animateurs villageois de PHA (Toéghin)	15-16 avril 2010	2 jours	24	4 villages cibles et 4 écoles primaires	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Atelier de remise à jour du matériel didactique PHA	23 sept. 2010	1 jour	12	DGAEUE, DGRE ; MS ; ONEA ; ONG ; etc.	Remise à jour du matériel didactique confectionné et des manuels élaborés en 1 <sup>ère</sup> année
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Formation de recyclage des formateurs administratifs	13-15 sept. 2010	3 jours	33	Superviseurs administratifs ; représentants communaux ; etc.	Confirmation des activités de la 1 <sup>ère</sup> année ; méthodes du suivi-monitoring ; etc.
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Formation des formateurs administratifs	18-22 oct. 2010	5 jours	24	ZAT/UAT ; inspecteurs et conseillers pédagogiques ; encadreurs en santé ; etc.	Méthodes de gestion des infrastructures AEPA ; acquisition des connaissances et application des pratiques PHA
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Formation des animateurs villageois d'hygiène (Dapélogo)	24-25 nov. 2010	2 jours	120	Animateurs villageois	Pratique des activités PHA ; acquisition des méthodes d'analyse des problématiques et défis ; etc.
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Formation des animateurs villageois d'hygiène (Zorgho 1)	2-3 nov. 2010	2 jours	96	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Formation des animateurs villageois d'hygiène (Zorgho 2)	8-9 nov. 2010	2 jours	109	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Formation des animateurs villageois d'hygiène (Toéghin)	18-19 nov. 2010	2 jours	82	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Formation des enseignants sur l'éducation à l'hygiène (Dapélogo)	27-28 janv. 2011	2 jours	138	Enseignants d'écoles primaires	Pratique des activités PHA ; acquisition des méthodes d'analyse des problématiques et défis ; etc.
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Formation des enseignants sur l'éducation à l'hygiène (Toéghin)	20-21 janv. 2011	2 jours	53	Idem	Idem
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Formation des enseignants sur l'éducation à l'hygiène (Zorgho)	2-3 février 2011	2 jours	209	Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Réunion pour révision des outils pédagogiques PHA 1	23 août 2011	1 jour	53	DRAH/DPAH ; DRS/DPS ; DREBA/DPEBA ; organismes communaux ; etc.	Remise à jour du matériel didactique sur la base des pratiques sur place
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Réunion pour révision des outils pédagogiques PHA 2	13 sept. 2011	1 jour	19	Services concernés du MAH, du MEBA et du MS ; ONG ; JICA	Finalisation des outils pédagogiques remis à jour

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Formation des formateurs administratifs PHA	4-8 oct. 2011	5 jours	64	Superviseurs de santé ; Services concernés du MAH, du MEBA et du MS ; ONG ; JICA	Méthodes de gestion des infrastructures AEPA ; acquisition des connaissances et application des pratiques PHA
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Réunion de recyclage des formateurs administratifs (Zorgho)	31 oct. 2011	1 jour		Superviseurs de santé ; ZAT/UAT ; inspecteurs et conseillers pédagogiques ; encadreurs de santé ; etc	Revue des activités de sensibilisation et d'éducation à l'hygiène faites aux villages et écoles ; compréhension de l'état d'hygiène aux villages et écoles ; confirmation de la volonté des praticiens pour la poursuite de leurs activités d'hygiène
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Réunion de recyclage des formateurs administratifs (Dapélogo)	14 nov. 2011	1 jour		Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Réunion de recyclage des formateurs administratifs (Toéghin)	15 nov. 2011	1 jour		Idem	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Formation de recyclage en matière de PHA pour les enseignants (Dapélogo)	12-14 janv. 2012	3 jours	139	Enseignants d'école primaire	Méthodes d'application de l'approche PHAST, etc.
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Formation de recyclage en matière de PHA pour les enseignants (Toéghin)	2-4 février 2012	3 jours	60	Enseignants d'école primaire	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Formation de recyclage en matière de PHA pour les enseignants (Zorgho)	Idem	3 jours	209	Enseignants d'école primaire	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Formation de recyclage en matière de PHA pour les animateurs villageois (Dapélogo)	26-28 janv. 2012	3 jours	161	Animateurs villageois	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Formation de recyclage en matière de PHA pour les animateurs villageois (Toéghin)	2-4 février 2012	3 jours	98	Animateurs villageois	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Formation de recyclage en matière de PHA pour les animateurs villageois (Zorgho 1)	26-28 janv. 2012	3 jours	99	Animateurs villageois	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Formation de recyclage en matière de PHA pour les animateurs villageois (Zorgho 2)	19-21 janv. 2012	3 jours	103	Animateurs villageois	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> réunion de restitution sur le suivi-monitoring de la PHA (Dapélogo)	4 janv. 2012	1 jour		Formateurs administratifs en santé	Confirmation des résultats du suivi-monitoring et partage d'informations
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> réunion de restitution sur le suivi-monitoring de la PHA (Toéghin)	5 janv. 2012	1 jour		Idem	Confirmation des résultats du suivi-monitoring et partage d'informations
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	1 <sup>ère</sup> réunion de restitution sur le suivi-monitoring de la PHA (Zorgho)	6 janv. 2012	1 jour		Idem	Confirmation des résultats du suivi-monitoring et partage d'informations

Année fiscale	Intitulé (teneur de formations)	Date	Durée	Nbr. de participants	Groupes cibles	Observations
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> réunion de restitution sur le suivi-monitorng de la PHA (Dapélogo)	19 mars 2012	1 jou		Idem	Confirmation des réultats du suivi-monitoring et partage d'informations
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> réunion de restitution sur le suivi-monitorng de la PHA (Toéghin)	Idem	1 jou		Idem	Confirmation des réultats du suivi-monitoring et partage d'informations
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	2 <sup>ème</sup> réunion de restitution sur le suivi-monitorng de la PHA(Zorgho)	20 mars 2012	1 jou		Idem	Confirmation des réultats du suivi-monitoring et partage d'informations

[ 5 ] Activités liées au suivi-évaluation sur l'AEPA ; (dans le cadre du résultat 5)

AF 2009 (1 <sup>ère</sup> année)	Formation des agents de la DRAH sur la Réforme de gestion des IH d'AEP	17-19 février 2010	3 jours	31	Agents SRE/DRAH ; agents SRE/DPAH ; agents ZAT	Présentation du système de gestion des IH d'AEP conformément à la Réforme ; relations entre des acteurs (AUE, communes, maintenanciers, etc. ; etc.
AF 2010 (2 <sup>ème</sup> année)	Formation des agents de la DRAH sur la Réforme de gestion des IH d'AEP	14-18 février 2011	5 jours	63	Agents SRE/DRAH ; agents SRE/DPAH ; agents ZAT/UAT	Idem
AF 2011 (3 <sup>ème</sup> année)	Formation des formateurs pour les agents DRAH /DPAH	12-16 mars 2012	5 jours	11	Agents SRE/DRAH ; Directeur DPAH ; agents SRE/DPAH	Formation des formateurs des 11 communes supplémentaires
AF 2012 (3 <sup>ème</sup> année)	Formation des formateurs pour les agents DRAH, DPAH et ZAT	7-11 mai 2012	5 jours	27	Agents SRE/DRAH ; agents SRE/DPAH ; chef ZAT des 20 communes	Formation des formateurs de la 1 <sup>ère</sup> session de formation des AUE des 11 communes supplémentaires
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	Formation de recyclage des agents de la DRAH sur la Réforme de gestion des IH d'AEP	26-28 sept. 2012	3 jours	36	Agents SRE/DRAH , autres agents ; Directeur DPAH, agents SRE/DPAH ; chefs ZAT/UAT	Présentation du système de gestion des IH d'AEP conformément à la Réforme ; relations entre des acteurs (AUE, communes, maintenanciers, etc. ; rôle à jouer des DRAH /DPAH dans l'application de la Réforme et son implantation , etc.
AF 2012 (4 <sup>ème</sup> année)	Formation de recyclage des agents de la DRAH sur la Réforme de gestion des IH d'AEP	1-3 oct. 2012	3 jours	45	Idem	Idem

2. Intrants de la partie burkinabè

(1) Affectation des homologues

Fonction	Nombre
Directeur de l'Approvisionnement en Eau Potable (DAEP), Direction Générale des Ressources en Eau (DGRE), Ministère de l'Agriculture et de l'Hydraulique (MAH)	1
Directrice de Développement des Technologies et Ouvrages d'Assainissement (DDTOA), Direction Générale de l'Assainissement, des Eaux Usées et Excrétas (DGAEUE), MAH	1
Directrice Régionale de l'Agriculture et de l'Hydraulique du Plateau Central (DRAH/PCL), MAH (Elle assume en même temps le Coordinatrice Nationale du PROGEA/PCL)	1
Agents du Service des Ressources en Eau (SRE), DRAH/PCL, MAH	4

Directeur Provincial de l'Agriculture et de l'Hydraulique d'Oubritenga (DPAH/OTG), et agents SRE/DPAH/OTG	2
Directeur Provincial de l'Agriculture et de l'Hydraulique de Kourwéogo (DPAH/KWG), et agents SRE/DPAH/KWG	2
Directeur Provincial de l'Agriculture et de l'Hydraulique de Ganzourgou (DPAH/GNZ), et agents SRE/DPAH/GNZ	2
Chargé de la sensibilisation et de l'éducation à l'hygiène, Direction Régionale de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation du Plateau Central (DREBA/PCL),	1
Chargé de la sensibilisation et de l'éducation à l'hygiène, Direction Régionale de la Santé du Plateau Central (DRS/PCL)	1
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune d'Absouya, DPAH/OTG	2
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Dapélogo, DPAH/OTG	3
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Nagréngo, DPAH/OTG	3
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune d'Ourgou-Manéga, DPAH/OTG	3
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Loumbila, DPAH/OTG	5
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Ziniaré, DPAH/OTG	5
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Gitenga, DPAH/OTG	3
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Toéghin, DPAH/KWG	1
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Boussé, DPAH/KWG	4
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Niou, DPAH/KWG	3
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Laye, DPAH/KWG	2
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Sourgoubila, DPAH/KWG	4
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Zorgho, DPAH/GNZ	3
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Boudry, DPAH/GNZ	3
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Zam, DPAH/GNZ	2
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Kogho, DPAH/GNZ	2
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Salogo, DPAH/GNZ	2
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Meguet, DPAH/GNZ	2
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Mogtedo, DPAH/GNZ	2
Chef Zone d'Appui Technique (ZAT), chef de l'Unité d'Animation Technique (UAT) de la commune de Zourgou, DPAH/GNZ	1

(2) Frais locaux pris en charge par la partei burkinabè (en frans CFA ; jusqu'à la fin décembre 2012)

Désignation	Montant (2009)	Montant (2010)	Montant (2011)	Montant (2012)	Total (2009 à 2012)
Indemnités aux homologues affectés		10 800 000	9 120 000	11 780 000	31 700 000
Gestion et maintenance matériel ; consommables (entretien véhicules, articles de bureau, consommables d'informatiques, etc.)		14 518 609	9 144 000	12 866 000	36 528 609
Carburant		1 000 000			1 000 000
Total (frans CFA)		26 318 609	18 264 000	24 646 000	69 228 609

Annexe-5 Grille d'évaluation

Grille d'évaluation (ébauche) : Projet de renforcement de la gestion des infrastructures hydrauliques d'approvisionnement en eau potable et de promotion de l'hygiène et de l'assainissement dans le Plateau Central (PROGEA/PCL) (version du 20/01/2013)

添付資料7

	Rubriques	Point de vue / Points d'étude	Indicateurs, activités, informations, données à vérifier	Sources d'information, méthode d'étude (voir la note)
	Subdivision			
Examen des réalisations	Etat d'exécution des intrants	Les intrants de la partie japonaise (envoi d'experts, fourniture d'équipements, formation des homologues, budget) ont-ils été exécutés comme programmé ?	Réalisation des intrants	Documents de projet / experts
		Les intrants de la partie burkinabè (personnel, bâtiment / installations, budget) ont-ils été exécutés comme programmé ?	Réalisation des intrants	Documents de projet / experts / homologues
	Degré d'accomplissement des résultats attendus	Résultat 1 : Le système de gestion et de maintenance des infrastructures hydrauliques (IH) est établi dans les communes cibles conformément à la Réforme.	1-1 Plus de 90% des agents des ZAT et UAT des communes cibles suivent la formation. Plus de 80% d'eux réussissent au test de confirmation. 1-2 Les Associations des Usagers de l'Eau (AUE) sont constituées dans tous les villages des 3 communes pilotes avant la fin de mai 2010. 1-3 La convention de délégation de gestion des PMH est signée entre les 3 communes pilotes et 80% de leurs AUE avant février 2010. 1-4 Les AUE des communes de l'Oubritenga excepté la commune pilote sont constituées avant juin 2011. 1-5 La convention de délégation de gestion des PMH est signée entre les communes de l'Oubritenga excepté la commune pilote et 80% de leurs AUE avant février 2012. 1-6 Les AUE sont constituées dans tous les villages des 11 communes supplémentaires avant la fin de mai 2012. 1-7 La convention de délégation de gestion des PMH est signée entre les communes supplémentaires et les AUE avant décembre 2012. 1-8 Le contrat relatif à la maintenance et aux tournées de suivi des PMH est passé entre les communes cibles et 80% de leurs maintenanciers avant février 2013.	Documents de projet / experts / homologues
		Résultat 2 : Les capacités des organisations villageoises dans la gestion et la maintenance des IH sont renforcées.	2-1 Plus de 70% des AUE des communes pilotes arrivent à payer la redevance aux communes et plus de 70% des gestionnaires parviennent à effectuer le recouvrement à 70% avant la fin de novembre 2011. 2-2 Plus de 70% des AUE des communes cibles de l'Oubritenga arrivent à payer la redevance aux communes et plus de 70% des gestionnaires parviennent à effectuer le recouvrement à 70% avant la fin de projet. 2-3 Plus de 70% des AUE des communes supplémentaires démarre leurs activités telles que le recouvrement de frais d'eau et la gestion financière avant la fin de projet.	
Résultat 3 : En ce qui concerne la gestion et la maintenance des IH, le système d'approvisionnement en pièces détachées et celui de réparation sont amélioré.	3-1 Les maintenanciers arrivent à répondre à plus de 60% des besoins de maintenance et de tournées de suivi demandés par les communes avant octobre 2012. 3-2 Toutes les 20 communes de la région du Plateau Central possèdent les informations nécessaires pour la procurement de pièces de rechange (magasins, procédure de commande, etc.) 3-3 Le délai de réparation simple est réduit à moins d'un mois.			

A7-56

	Rubriques		Indicateurs, activités, informations, données à vérifier	Sources d'information, méthode d'étude (voir la note)
	Subdivision	Point de vue / Points d'étude		
		Résultat 4 : Dans les 3 communes cibles du Plateau Central, le comportement en matière d'hygiène et d'assainissement des populations sont améliorées.	<p>4-1 Le programme et les manuels de la sensibilisation et de l'éducation en matière de l'amélioration d'hygiène et d'assainissement sont élaborés.</p> <p>4-2 Dans les villages des 3 communes pilote, plus de 600 agents s'occupant du programme de promotion de l'hygiène et de l'assainissement ou celui de l'enseignement (enseignants, agents du centre de santé, agents chargés de l'hygiène et de l'assainissement aux services techniques, animateurs villageois) sont formés.</p> <p>4-3 Dans les villages des 3 communes pilotes, les activités de sensibilisation sont mises en œuvre au moins 6 fois par an par les agents s'occupant du programme de promotion de l'hygiène et de l'assainissement ou celui de l'enseignement.</p> <p>4-4 Le guide pour le monitoring des activités en hygiène et l'entretien des infrastructures sanitaires est élaboré et le système de gestion des infrastructures sanitaires publiques est mis en place.</p> <p>4-5 Sur la base du guide pour le monitoring des activités en hygiène et l'entretien des infrastructures sanitaires, le suivi-évaluation sur la gestion des infrastructures sanitaires et le comportement en matière d'hygiène et d'assainissement est mené dans chaque site au moins 2 fois par an.</p> <p>4-6 Les infrastructures sanitaires publiques sont gérées par les populations.</p>	
		Résultat 5 : Chaque Direction provinciale de l'Agriculture et de l'Hydraulique (DPAH) arrive à : effectuer le suivi-évaluation de l'état d'approvisionnement en eau, d'hygiène et d'assainissement : accorder des appuis-conseils aux communes.	<p>5-1 Le suivi-évaluation sur les éléments suivants sont effectué 2 fois par an par chaque DPAH à partir de 2010 : le taux de fonctionnement des IH, l'état financier des AUE, le taux de recouvrement par les gestionnaires, l'état de maintenance et de gestion des IH par les maintenanciers.</p> <p>5-2 Le suivi-évaluation sur l'état d'hygiène et d'assainissement est effectué 2 fois par an par chaque DPAH à partir de 2010.</p> <p>5-3 A la suite du suivi-évaluation, 70% d'appui-conseils nécessaires sont accordés suivant les moyens de chaque DPAH.</p>	
	Degré d'accomplissement de l'objectif de projet	L'état de gestion et de maintenance des IH et le comportement en matière d'hygiène et d'assainissement des populations sont améliorés dans les communes cibles.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Le taux de fonctionnement des IH dans les 9 communes cibles progresse de 70% à 80%.</li> <li>2. Le système de la gestion des IH conformément à la Réforme est mis en place dans les 11 communes supplémentaires.</li> <li>3. Le comportement des populations des communes pilotes sur les pratiques en matière de l'approvisionnement en eau potable, d'hygiène et d'assainissement (10 articles) est amélioré au moins 60%.</li> </ol>	Documents de projet / experts / homologues
	Degré d'accomplissement du But global	Dans la région du Plateau Central, l'environnement en matière de santé, d'hygiène et d'assainissement est amélioré.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Le taux de population pouvant se servir durablement de points d'eau améliorés passe de 70% à 80% avant 2015.</li> <li>2. Le taux de fonctionnement des IH passe de 70% à 80% avant 2015.</li> <li>3. La situation sur l'approvisionnement en eau potable, l'hygiène et l'assainissement des populations est améliorée avant 2015.</li> </ol>	Documents de projet / experts / homologues
Processus de mise en œuvre	Etat d'avancement du plan d'activités	Le plan d'activités est-il mis en œuvre comme prévu ?	Plan d'activités ; état d'exécution des activités ; avancement prévu	Documents de projet / experts / homologues
	Dispositif d'exécution	Le dispositif d'exécution du projet fonctionne-t-il correctement ?	Dispositif d'exécution ; état d'exécution des activités ; compréhension des parties prenantes	Documents de projet / experts / homologues
		Les homologues sont-ils affectés correctement ?	Etat d'affectation des homologues ; degré de satisfaction des parties prenantes	
		Le système d'envoi des experts est-il approprié ?	Compréhension des parties prenantes	
Suivi-monitoring	Comment le suivi-monitoring est-il assuré ?	Etat de planification et de mise en œuvre du suivi-monitoring sur le déroulement des activités et les résultats ; état d'organisation du comité de pilotage	PV du comité de pilotage / Experts / homologues	
	La collecte des informations pour le suivi-monitoring utilisant le portable est-elle pratiquée ?	Réalité des informations collectées	Experts / homologues	

	Rubriques		Indicateurs, activités, informations, données à vérifier	Sources d'information, méthode d'étude (voir la note)	
	Subdivision	Point de vue / Points d'étude			
	Communication	La communication entre les différentes parties prenantes du projet est-elle suffisante ?	Méthodes adaptées pour le partage d'informations et l'échange de points de vues ; degré de satisfaction sur la communication	Experts / homologues	
	Prise de décision	La prise de décision pour la planification et la mise en œuvre du projet est-elle appropriée ?	Méthodes adoptées pour la prise de décision ; degré de satisfaction sur la prise de décision	Experts / homologues	
	Appropriation	Les hauts cadres de l'administration et les homologues s'intéressent-ils, sont-ils impliqués suffisamment au projet ?	Compréhension des parties prenantes	Experts / homologues	
	Transfert de technologie	Les méthodologies du transfert de technologie sont-elles appropriées ?	Degré de satisfaction des homologues	Homologues	
	Recommandations formulées lors de la revue à mi-parcours	Concernant les activités d'amélioration du comportement en matière d'hygiène et d'assainissement	Concernant l'élargissement des communes cibles	Situation des dispositions prises concernant l'affectation des personnels et le budget	Experts / homologues / experts du secteur de l'éducation
		Concernant la durabilité à assurer après la fin du projet		Communes faisant l'objet des activités	Documents de projet
				Situation des dispositions budgétaires	Experts / homologues
	Pertinence par rapport aux politiques et besoins		Le projet s'aligne-t-il sur les politiques du Burkina Faso ?	Grandes lignes des politiques du secteur de l'AEPA	Documents administratifs / experts / homologues
			Eu égard à l'objectif du PN-AEPA : «la fourniture d'un accès adéquat à l'eau potable (...) qui fera progresser le taux d'accès à l'eau potable de 60% en 2005 à 80% en 2015», quel est le sens de l'objectif du projet de faire passer le taux de fonctionnement des IH de 70% à 80% ?	Compréhension des parties prenantes	Experts / homologues
			Le projet s'aligne-t-il sur les politiques de l'aide au développement du Japon ?	Orientations de l'aide japonaise au Burkina Faso et de ses projets	Documents administratifs / experts / Bureau JICA
		Le projet répond-t-il aux besoins des bénéficiaires ?	Besoins de l'organisme homologue en coopération technique ; intérêt des populations villageoises	Documents de projet / homologues / populations villageoises	
Pertinence	Stratégies et approches	La conception des approches du projet est-elle appropriée pour atteindre l'objectif du projet ?	Etat d'avancement du projet ; compréhension des parties prenantes	Documents de projet / experts / homologues / cadres administratifs	
		Le choix des bénéficiaires est-il juste ? (cibles, dimensions)	Compréhension des parties prenantes		
		Le choix de l'organisme homologue est-il juste ?	Compréhension des parties prenantes		
		Le projet est-il adéquatement planifié par rapport à l'organisation, aux dimensions et à la situation financière de l'organisme homologue ?	Organisation, personnel, budget de l'organisme homologue ; planification et dispositif d'exécution du projet		
		Eu égard au fait que les ZAT et UAT sont originellement en charge de la vulgarisation des techniques agricoles, l'approche qui consiste à considérer la pratique du suivi-monitoring régulière par chaque DPAH comme un des résultats à atteindre est-elle pertinente ?	Compréhension des parties prenantes		
		Le présent projet se conforme à la politique du gouvernement burkinabè sur la réforme du système de gestion des IH d'AEP, le projet a-t-il été formulé sur la base des analyses de la signification et les effets attendus de la réforme institutionnelle ? (problématique liée au système de CPE, la nécessité de la création des AEU)	Documents sur la formulation du projet ; compréhension des parties prenantes		

	Rubriques		Indicateurs, activités, informations, données à vérifier	Sources d'information, méthode d'étude (voir la note)
	Subdivision	Point de vue / Points d'étude		
Efficacité	Prévision sur l'accomplissement de l'objectif du projet	L'objectif du projet sera-t-il atteint avant la fin du projet ?	Confirmation des données collectées	Documents de projet / experts / homologues
		Existe-t-il des facteurs facilitant ou entravant l'atteinte de l'objectif du projet ?	Compréhension des parties prenantes	
Efficacité	Relation causale entre les résultats et l'objectif du projet	Les 5 résultats sont-ils suffisants pour atteindre l'objectif du projet ?	Etat d'avancement du projet ; compréhension des parties prenantes	Experts / homologues
		L'indicateur 2 de l'objectif du projet, à savoir la mise en place du système de la gestion des IH, signifie concrètement : (1) la constitution des AUE (1-6) ; (2) la conclusion du contrat de la gestion et la maintenance entre les AUE et les communes (1-7), n'est-il pas identique à l'indicateur des résultats ?	Documents de projet ; compréhension des parties prenantes	Experts / homologues
Efficience	Degré d'accomplissement des résultats	L'état d'avancement de l'accomplissement des résultats est-il satisfaisant ?	Etat d'accomplissement des résultats	Documents de projet / experts / homologues
		L'indicateur 4-4 du résultat 4 : «Le guide pour le monitoring des activités en hygiène et l'entretien des infrastructures sanitaires est élaboré et le système de gestion des infrastructures sanitaires publiques est mis en place.» est-il bien claire ?	Compréhension des parties prenantes	Experts / homologues
		Existe-t-il des facteurs facilitant ou entravant l'accomplissement des résultats ?	Compréhension des parties prenantes sur l'avancement du projet	Experts / homologues
		Les intrants pour l'accomplissement des résultats sont-ils appropriés ? (calendrier, quantité/coût, qualité)	Etat d'avancement du projet ; compréhension des parties prenantes sur l'avancement du projet	Documents de projet / homologues
		L'échange d'informations et la collaboration avec les autres partenaires techniques et financiers sont-ils effectifs ?	Etat d'échanges et de collaboration avec d'autres PTF	Experts / homologues
Impacts	Possibilité de la réalisation du but global	Le but global sera-t-il atteint ?	Compréhension des parties prenantes sur l'atteinte du but global	Experts / homologues
		Les moyens pour atteindre le but global sont-ils adéquatement planifiés ?	Stratégie, planification sur l'atteinte du but global	
		Existe-t-il des facteurs facilitant ou entravant l'atteinte du but global ?	Compréhension des parties prenantes sur l'atteinte du but global	
	Effets de répercussion	Le projet a-t-il des impacts sur les aspects politique, économique et socioculturel et l'environnement ?	Confirmation des cas en question	
La réalisation du projet a-t-elle des impacts négatifs ? Les mesures sont-elles prises pour atténuer ces impacts ?		Confirmation des cas en question		
Relation causale	Les hypothèses extérieures assurant la réalisation du but global à partir de l'objectif du projet restent-elles pertinentes ?	Etat de changement des hypothèses extérieures		
Durabilité	Sur le plan politique	Quelles sont les orientations politiques du gouvernement pour le secteur de l'AEPA ? Quelles sont les positions des cadres administratifs ?	Tendances des politiques et réglementations afférentes ; compréhension des cadres administratifs	Documents administratifs / cadres administratifs / experts
	Sur le plan organisationnel	Pour atteindre le but global, les dispositions organisationnelles, budgétaires et liées aux ressources humaines seront-elles prises au sein de l'organisme homologue ?	Tendances des dispositions organisationnelles, de personnels, budgétaires au sein des organismes homologues (planning pour l'exercice suivant, dispositions de personnels, budgétaires)	Cadres administratifs / experts / homologues
		Le budget des affaires courantes pris en charge par la partie japonaise pourra-t-il être pris en charge par le budget de contrepartie après la fin du projet ?	Système d'exécution des mairies, état d'affectation du personnel, de dispositions budgétaires, compréhension des parties prenantes	
		L'administration communale qui constitue le noyau administratif dans la gestion des IH est-elle fonctionnelle ?		

Rubriques		Point de vue / Points d'étude	Indicateurs, activités, informations, données à vérifier	Sources d'information, méthode d'étude (voir la note)
Subdivision				
		Le maire élu par les élections possède-t-il la volonté de prendre les mesures nécessaires sur le plan budgétaire et de personnel pour la gestion des IH ?	Avis des maires, perspectives sur le recours à l'ABS (appui budgétaire sectoriel)	Cadres administratifs / maires
	Sur le plan technique	Les équipements mis en place dans le cadre du projet sont-ils correctement gérés ?	Capacité de gestion/maintenance des équipements du 2iE ; état de gestion/maintenance	Experts / homologues
	Facteurs entravant	Existe-t-il des impacts négatifs affectant la durabilité ?	Compréhension des parties prenantes	Experts / homologues

Note : « Documents de projet » comprennent des rapports de l'avant-projet détaillé, rapports d'exécution, rapports intermédiaires, différents compte-rendu présentés par les experts, d'autres rapports et documents élaborés de manière ad hoc. La méthodologie d'étude consiste principalement en revue des documents, en questionnaires et en interview.